

厚生労働省  
平成24年度  
障害者総合福祉推進事業

盲ろう者に関する実態調査  
報告書

社会福祉法人  
全国盲ろう者協会

厚生労働省  
平成24年度 障害者総合福祉推進事業

# 盲ろう者に関する実態調査 報告書

平成25年3月

～日本のヘレン・ケラーを支援する会®～  
社会福祉法人 全国盲ろう者協会

# 目次

はじめに .....	1
第1部 視覚・聴覚の身体障害者手帳の交付状況についての調査 .....	3
第1章 調査の概要 .....	3
1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の対象 .....	3
3. 調査の基準日 .....	3
4. 調査の方法 .....	3
5. 回収結果 .....	3
6. 調査の項目 .....	3
7. 利用上の注意 .....	3
第2章 結果の概要 .....	4
1. 基本的属性 .....	4
(1) 性別・年齢階級 .....	4
(2) 視覚障害等級 .....	5
(3) 聴覚障害等級 .....	5
(4) 総合障害等級 .....	6
(5) 視覚障害等級 - 聴覚障害等級 .....	6
2. 性別ごとの障害等級 .....	7
(1) 視覚障害等級 - 性別 .....	7
(2) 聴覚障害等級 - 性別 .....	8
(3) 総合障害等級 - 性別 .....	8
(4) 視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 性別 .....	9
3. 年齢階級ごとの障害等級 .....	10
(1) 視覚障害等級 - 年齢階級 .....	10
(2) 聴覚障害等級 - 年齢階級 .....	11
(3) 総合障害等級 - 年齢階級 .....	12
(4) 視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 年齢階級 .....	13
4. 自治体ごとの状況 .....	14
(1) 性別、年齢階層(3分類)、視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 自治体 .....	14
(2) 都道府県ごとの身体障害者手帳交付率と推計手帳交付盲ろう者数 .....	18
第2部 目と耳の両方に障害のある方の生活状況に関する調査 .....	20
第1章 調査の概要 .....	20
1. 調査の目的 .....	20
2. 調査の対象 .....	20
3. 調査の基準日 .....	20

4. 調査の方法	20
5. 回収結果	20
6. 調査項目	20
7. 利用上の注意	20
第2章 結果の概要	23
1. 調査協力者の基本的属性	23
(1) 年齢(階級・平均)、性別	23
(2) 視聴覚障害組み合わせ(等級)	24
(3) 視聴覚障害組み合わせ(状態・程度)	25
(4) 視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ	27
(5) 可能および最も円滑な発信コミュニケーション方法	29
(6) 可能および最も円滑な受信コミュニケーション方法	31
(7) 性別、年齢階層(3段階)、視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 自治体	33
2. 回答者	39
(1) 回答者	39
(2) 回答代行者	45
3. 住まい	50
(1) 住居の種類	50
(2) 同居者(複数回答)	55
(3) 暮らしの希望	59
4. 生活しづらさ	64
(1) 生活しづらさの発症年齢(階級・平均)	64
(2) 生活しづらさの変化	68
(3) 生活しづらさの頻度	73
5. 視覚障害	78
(1) 視覚障害の発症年齢(階級・平均)	78
(2) 視覚障害の進行	82
(3) 視力の状態(下位項目)	86
(4) 視野の状態	90
(5) 視覚障害等級	94
6. 聴覚障害	98
(1) 聴覚障害の発症年齢(階級・平均)	98
(2) 聴覚障害の進行	102
(3) 聴力の状態	106
(4) 聴覚障害等級	111
7. 障害全般	115
(1) 視覚・聴覚以外の障害の有無	115
(2) 視覚・聴覚以外の障害の種類(複数回答・下位項目)	119
(3) 視覚・聴覚以外の障害の等級(下位項目)	123
(4) 総合等級	143

(5) 障害程度区分認定	147
(6) 障害程度区分（下位項目）	151
8. コミュニケーション	155
(1) 可能な発信コミュニケーション方法（複数回答）	155
(2) 最も円滑な発信コミュニケーション方法	159
(3) 独力での発信能力	164
(4) 可能な受信コミュニケーション方法（複数回答）	168
(5) 最も円滑な受信コミュニケーション方法	172
(6) 独力での受信能力	177
(7) 会話頻度	181
(8) 相手別会話頻度	185
9. 外出	200
(1) 単独移動能力	200
(2) 外出頻度	205
(3) 目的別外出頻度	209
(4) 相手別外出頻度	214
10. 情報入手	224
(1) 使用文字（複数回答）	224
(2) 独力での情報入手能力	228
(3) 情報入手頻度	232
(4) 手段別情報入手頻度	236
11. 福祉サービス	241
(1) 福祉サービス利用有無	241
(2) 福祉サービス利用頻度（下位項目）	245
(3) 福祉サービス不利用理由（複数回答）	265
(4) 福祉サービス利用希望有無	269
(5) 福祉サービス利用希望頻度（下位項目）	273
(6) 介護保険サービス利用有無	283
(7) 介護保険の要支援・要介護度（下位項目）	287
(8) 補装具・日常生活用具の支給給付有無	291
(9) 給付・支給済の補装具・日常生活用具（複数回答）	295
12. 日中活動の状況と希望	299
(1) 日中の過ごし方（複数回答）	299
(2) 日中の過ごし方の変化の希望有無	303
(3) 希望する日中の過ごし方（複数回答・下位項目）	307
13. 生活全般の困難・ニーズ	311
(1) 生活満足度	311
(2) 生活全般の困難・ニーズ（自由記述）	315

第3部 盲ろう者地域団体の活動状況に関する調査 .....	331
第1章 調査の概要 .....	331
1. 調査の目的 .....	331
2. 調査の対象 .....	331
3. 調査の基準日 .....	331
4. 調査の方法 .....	331
5. 回収結果 .....	331
6. 調査項目 .....	331
7. 利用上の注意 .....	331
第2章 結果の概要 .....	333
1. 団体の概要 .....	333
(1) 設立時期 .....	333
(2) 法人格 .....	333
2. 運営の状況 .....	334
(1) 事務所の形態 .....	334
(2) 会員制度 .....	334
(3) 会員数 .....	335
(4) 運営スタッフ数 .....	336
(5) 役員選出規則 .....	338
(6) 役員数 .....	339
(7) 団体意思決定方法 .....	341
3. 活動の実態 .....	342
(1) 活動内容・実績 .....	342
(2) 支援提供人数 .....	344
(3) 連携団体・機関 .....	344
(4) 注力している活動 .....	346
(5) 将来的な活動希望 .....	350
(6) 予算規模 .....	353
(7) 財源比率 .....	354
(8) 財政状況 .....	356
4. 課題とニーズ .....	356
(1) 運営における困難 .....	356
(2) 支援ニーズ .....	360
第4部 付録 .....	364
検討委員会 .....	379

## はじめに

わが国における視覚と聴覚の両方に障害を併せ持つ盲ろう者への社会的支援が本格的に始まったのは、平成3年の当協会設立時からといえる。それから、20年余をかけて、当初は当協会独自事業として、「盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業、同養成事業」をはじめとするさまざまな事業を展開してきた。その結果、種々の変遷を経て、平成25年4月より施行される「障害者総合支援法」において、都道府県（政令指定都市・中核市を含む）の地域生活支援事業の必須事業として位置づけられることとなった。盲ろう者にとって、通訳・介助員は、社会参加を図る上で必要不可欠な存在であり、聴覚障害者への手話通訳・要約筆記派遣と同様に、盲ろう者向け通訳・介助員の必要性がようやく法的に位置づけられたことは、大きな前進であり、私ども関係者としては感慨もひとしおである。

しかしながら、必須化されるとはいえ、通訳・介助員派遣および養成事業においては、地域間格差の是正はもとより、さらなる制度の充実が望まれるところであり、「障害者総合支援法」の3年後の見直しに向けて、盲ろう者福祉の向上に取り組む必要性も痛感している。

これらの状況を踏まえて、平成24年度「障害者総合福祉推進事業（厚生労働省補助事業）」の一環として、「盲ろう者に関する実態調査」を実施した。当協会では、平成16・17年度に実施した「盲ろう者生活実態調査」以来の、全国規模での大掛かりな調査となった。

本調査は、全国規模での盲ろう者の実数把握、また、盲ろう者の生活状況やニーズ、地域における支援の状況などの基礎資料を得ることにより、盲ろう者の福祉の改善のために必要な施策のあり方を検討することを目的として行ったものである。

各都道府県・政令指定都市・中核市のご協力の下、身体障害者手帳に視覚と聴覚の両方の障害が記載されている者（盲ろう者）が、全国で、約1万4千人いることが確認できたほか、これら盲ろう者に対して、その生活実態や社会資源の利用状況、生活上のニーズなどについて、郵送による調査を行ったところ、2800弱の回答が得られるなど、大変有意義な調査となり、本調査で得られた結果は、今後の盲ろう者福祉施策を考えていく上で、これまでにない貴重な資料となると考えている。

最後に、本調査を実施するに当たり、厚生労働省をはじめ、検討委員会の委員各位、また調査にご協力いただいた各都道府県・指定都市・中核市の担当部局、アンケート調査にご回答いただいた盲ろう者の皆様、各地域の盲ろう者友の会等、関係者の皆様に、心よりお礼申し上げますとともに、本報告書が、今後の盲ろう者福祉の進展に寄与することを期待するものである。

社会福祉法人 全国盲ろう者協会  
理事長 阪田 雅裕



# 第1部 視覚・聴覚の身体障害者手帳の交付状況についての調査

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳を交付されている者の性別、年齢、障害の状態・程度等の状況を把握することで、今後の盲ろう者支援の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の対象

47 都道府県、20 政令指定都市、41 中核市の合計 108 箇所の障害福祉主管課。

### 3. 調査の基準日

平成 24 年 10 月 30 日

### 4. 調査の方法

郵送による質問紙調査を実施した。また、質問紙については、Microsoft Excel 形式の電子データを社会福祉法人全国盲ろう者協会のウェブサイトよりダウンロードできるようにした。

回収については、①電子データ版の調査票を電子メールで送付、②電子データ版の調査票を印刷し郵送で返送、③同封の調査票に直接記入したものを郵送で返送、のいずれかの方法で行った。

調査票発送日は平成 24 年 10 月 15 日、調査票締切日平成 24 年 12 月 7 日であった。

### 5. 回収結果

45 都道府県、20 政令指定都市、41 中核市の合計 106 箇所の障害福祉主管課より回答が得られた（回収率：98.1%）。なお、協力が得られた 45 都道府県のうち、1 都 1 府 7 県については、身体障害者手帳交付事務の市区町村への権限移譲等の理由で、都府県として手帳・データベースを持っておらず、都府県から各市区町村に台帳・データベースからのデータの抽出を依頼してもらった。都府県から抽出を依頼した 412 市区町村のうち、協力が得られたのは 380 市区町村であった（回収率：92.2%）

### 6. 調査の項目

各自治体で「視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳を交付している者」について、①性別、②年齢、③視覚障害等級、④聴覚障害等級、⑤総合等級、を調査した。

### 7. 利用上の注意

百分率は、小数点以下第 2 位を四捨五入したため、総数・合計欄が 100 になっていても、内訳の合計が 100% とならない場合がある。

## 第2章 結果の概要

### 1. 基本的属性

#### (1) 性別・年齢階級

##### ■ 年齢階級と性別のクロス

**「男性」41.8%、「女性」57.0%**

- ・年齢階層は、男女ともに「80歳代」が最も多くなっている。
- ・20歳代までは「男性」の割合が高く、「30歳代」以降になると「女性」の割合が高くなっている。

表 1-2-1 年齢階級と性別のクロス

	総数	男性	女性	不明・無回答
総数	13952	5826	7953	173
	100.0%	41.8%	57.0%	1.2%
10歳未満	59	35	24	0
	100.0%	59.3%	40.7%	0.0%
10歳代	119	68	51	0
	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
20歳代	204	115	89	0
	100.0%	56.4%	43.6%	0.0%
30歳代	258	125	133	0
	100.0%	48.4%	51.6%	0.0%
40歳代	431	205	226	0
	100.0%	47.6%	52.4%	0.0%
50歳代	808	455	353	0
	100.0%	56.3%	43.7%	0.0%
60歳代	1617	791	826	0
	100.0%	48.9%	51.1%	0.0%
70歳代	3217	1366	1851	0
	100.0%	42.5%	57.5%	0.0%
80歳代	4201	1621	2580	0
	100.0%	38.6%	61.4%	0.0%
90歳以上	2520	908	1612	0
	100.0%	36.0%	64.0%	0.0%
不明・無回答	518	137	208	173
	100.0%	26.4%	40.2%	33.4%

■ 年齢階層（3分類）

「老年人口（65歳～）」が77.4%、「生産年齢人口（15～65歳）」が18.1%、「年少人口（～15歳）」が0.8%

表 1-2-2 年齢階層（3分類）

	人数	割合
年少人口（～15歳）	109	0.8%
生産年齢人口（15～65）	2527	18.1%
老年人口（65歳～）	10798	77.4%
不明・無回答	518	3.7%
合計	13952	100.0%

（2）視覚障害等級

「1級」が28.0%、「2級」が27.3%

・「1級」の割合が28.0%と最も高く、次に高いのは「2級」の27.3%となっており、これらを合わせると5割を超えている。

表 1-2-3 視覚障害等級

	人数	割合
視覚1級	3906	28.0%
視覚2級	3815	27.3%
視覚3級	1176	8.4%
視覚4級	1083	7.8%
視覚5級	1536	11.0%
視覚6級	1380	9.9%
不明・無回答	1056	7.6%
合計	13952	100.0%

（3）聴覚障害等級

「6級」が34.9%、「2級」が22.2%、「4級」が19.9%

・「1級」は1.6%となっており、「5級」に次いで低い。

表 1-2-4 聴覚障害等級

	人数	割合
聴覚1級	218	1.6%
聴覚2級	3098	22.2%
聴覚3級	1843	13.2%
聴覚4級	2777	19.9%
聴覚5級	77	0.6%
聴覚6級	4866	34.9%
不明・無回答	1073	7.7%
合計	13952	100.0%

#### (4) 総合障害等級

「1級」が49.5%、「2級」が25.6%

・「1級」が49.5%と最も高く、次いで「2級」が25.6%、これらを合わせると7割を超えている。

表 1-2-5 総合障害等級

	人数	割合
総合1級	6913	49.5%
総合2級	3571	25.6%
総合3級	1074	7.7%
総合4級	903	6.5%
総合5級	1020	7.3%
総合6級	18	0.1%
不明・無回答	453	3.2%
合計	13952	100.0%

#### (5) 視覚障害等級 - 聴覚障害等級

##### ■ 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

「聴覚6級」が最も多い

・どの視覚の等級においても「聴覚6級」を重複している者が最も多い割合となっており、「視覚1級・聴覚6級」は最も多く、次いで「視覚2級・聴覚6級」となっている。

表 1-2-6 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

	総数	聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚5級	聴覚6級	不明・無回答
総数	13952	218	3098	1843	2777	77	4866	1073
	100.0%	1.6%	22.2%	13.2%	19.9%	0.6%	34.9%	7.7%
視覚1級	3906	180	975	543	786	8	1396	18
	100.0%	4.6%	25.0%	13.9%	20.1%	0.2%	35.7%	0.5%
視覚2級	3815	22	986	575	805	20	1387	20
	100.0%	0.6%	25.8%	15.1%	21.1%	0.5%	36.4%	0.5%
視覚3級	1176	3	285	212	274	7	392	3
	100.0%	0.3%	24.2%	18.0%	23.3%	0.6%	33.3%	0.3%
視覚4級	1083	3	245	153	272	10	398	2
	100.0%	0.3%	22.6%	14.1%	25.1%	0.9%	36.7%	0.2%
視覚5級	1536	4	349	181	311	25	657	9
	100.0%	0.3%	22.7%	11.8%	20.2%	1.6%	42.8%	0.6%
視覚6級	1380	6	247	174	315	7	629	2
	100.0%	0.4%	17.9%	12.6%	22.8%	0.5%	45.6%	0.1%
不明・無回答	1056	0	11	5	14	0	7	1019
	100.0%	0.0%	1.0%	0.5%	1.3%	0.0%	0.7%	96.5%

■ 視覚障害等級（2分類）と聴覚障害等級（2分類）のクロス

「視覚1・2級」と「聴覚1・2級」を重複している者は、約2000人  
 「視覚3-6級」と「聴覚3-6級」を重複している者は、約4000人

表 1-2-7 視覚障害等級（2分類）と聴覚障害等級（2分類）のクロス

	総数	聴覚 1 ・ 2 級	聴覚 3 - 6 級	そ の 他 ・ 無 回 答
総数	13952 100.0%	3316 23.8%	9563 68.5%	1073 7.7%
視覚1・2級	7721 100.0%	2163 28.0%	5520 71.5%	38 0.5%
視覚3-6級	5175 100.0%	1142 22.1%	4017 77.6%	16 0.3%
不明・無回答	1056 100.0%	11 1.0%	26 2.5%	1019 96.5%

2. 性別ごとの障害等級

(1) 視覚障害等級 - 性別

最も回答総数が多い「視覚1級」は、男性43.4%、女性56.6%

表 1-2-8 視覚障害等級と性別のクロス

	総数	男性	女性	不明・無回答
総数	13952 100.0%	5826 41.8%	7953 57.0%	173 1.2%
視覚1級	3906 100.0%	1695 43.4%	2210 56.6%	1 0.0%
視覚2級	3815 100.0%	1540 40.4%	2272 59.6%	3 0.1%
視覚3級	1176 100.0%	465 39.5%	710 60.4%	1 0.1%
視覚4級	1083 100.0%	442 40.8%	640 59.1%	1 0.1%
視覚5級	1536 100.0%	668 43.5%	868 56.5%	0 0.0%
視覚6級	1380 100.0%	638 46.2%	741 53.7%	1 0.1%
不明・無回答	1056 100.0%	378 35.8%	512 48.5%	166 15.7%

(2) 聴覚障害等級 - 性別

最も回答が多い聴覚6級は、男性42.3%、女性57.6%

表 1-2-2 聴覚障害等級と性別のクロス

	総数	男性	女性	不明・無回答
総数	13952	5826	7953	173
	100.0%	41.8%	57.0%	1.2%
聴覚1級	218	97	121	0
	100.0%	44.5%	55.5%	0.0%
聴覚2級	3098	1314	1781	3
	100.0%	42.4%	57.5%	0.1%
聴覚3級	1843	720	1123	0
	100.0%	39.1%	60.9%	0.0%
聴覚4級	2777	1219	1557	1
	100.0%	43.9%	56.1%	0.0%
聴覚5級	77	34	43	0
	100.0%	44.2%	55.8%	0.0%
聴覚6級	4866	2059	2804	3
	100.0%	42.3%	57.6%	0.1%
不明・無回答	1073	383	524	166
	100.0%	35.7%	48.8%	15.5%

(3) 総合障害等級 - 性別

最も多い総合1級は、男性42.9%、女性57.1%

表 1-2-9 総合障害等級と性別のクロス

	総数	男性	女性	不明・無回答
総数	13952	5826	7953	173
	100.0%	41.8%	57.0%	1.2%
総合1級	6913	2964	3947	2
	100.0%	42.9%	57.1%	0.0%
総合2級	3571	1402	2166	3
	100.0%	39.3%	60.7%	0.1%
総合3級	1074	442	632	0
	100.0%	41.2%	58.8%	0.0%
総合4級	903	409	493	1
	100.0%	45.3%	54.6%	0.1%
総合5級	1020	476	544	0
	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%
総合6級	18	9	9	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
不明・無回答	453	124	162	167
	100.0%	27.4%	35.8%	36.9%

(4) 視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 性別

最も多い「視覚1-2級・聴覚3-6級」は、男性41.6%、女性58.4%

表 1-2-10 視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類)と性別のクロス

	総数	男性	女性	不明・無回答
総数	13944	5826	7953	165
	100.0%	41.8%	57.0%	1.2%
視覚1-2級 聴覚1-2級	2161	926	1235	0
	100.0%	42.9%	57.1%	0.0%
視覚1-2級 聴覚3-6級	5518	2294	3224	0
	100.0%	41.6%	58.4%	0.0%
視覚3-6級 聴覚1-2級	1141	479	662	0
	100.0%	42.0%	58.0%	0.0%
視覚3-6級 聴覚3-6級	4015	1727	2288	0
	100.0%	43.0%	57.0%	0.0%
不明・無回答	1109	400	544	165
	100.0%	36.1%	49.1%	14.9%

### 3. 年齢階級ごとの障害等級

#### (1) 視覚障害等級 - 年齢階級

##### どの年代においても「1級」「2級」が約6割以上

- ・「20歳代」まで「1級」が4～5割と高い割合となっているが、「30歳代」以上になると2～3割となっている。
- ・「2級」の割合は、「10歳代」までは約2割程度となっているが、「20歳代」以上は2～3割となっている。

表 1-2-11 年齢階級と視覚障害等級のクロス

	総数	視覚 1 級	視覚 2 級	視覚 3 級	視覚 4 級	視覚 5 級	視覚 6 級	不明 ・ 無 回 答
総数	13952 100.0%	3906 28.0%	3815 27.3%	1176 8.4%	1083 7.8%	1536 11.0%	1380 9.9%	1056 7.6%
10歳未満	59 100.0%	32 54.2%	7 11.9%	5 8.5%	4 6.8%	9 15.3%	2 3.4%	0 0.0%
10歳代	119 100.0%	54 45.4%	19 16.0%	12 10.1%	9 7.6%	16 13.4%	7 5.9%	2 1.7%
20歳代	204 100.0%	85 41.7%	43 21.1%	20 9.8%	20 9.8%	26 12.7%	7 3.4%	3 1.5%
30歳代	258 100.0%	84 32.6%	84 32.6%	17 6.6%	17 6.6%	28 10.9%	16 6.2%	12 4.7%
40歳代	431 100.0%	120 27.8%	165 38.3%	33 7.7%	25 5.8%	47 10.9%	28 6.5%	13 3.0%
50歳代	808 100.0%	239 29.6%	296 36.6%	50 6.2%	52 6.4%	98 12.1%	41 5.1%	32 4.0%
60歳代	1617 100.0%	535 33.1%	501 31.0%	122 7.5%	114 7.1%	163 10.1%	119 7.4%	63 3.9%
70歳代	3217 100.0%	964 30.0%	883 27.4%	294 9.1%	248 7.7%	370 11.5%	301 9.4%	157 4.9%
80歳代	4201 100.0%	1125 26.8%	1185 28.2%	371 8.8%	353 8.4%	499 11.9%	480 11.4%	188 4.5%
90歳以上	2520 100.0%	609 24.2%	588 23.3%	230 9.1%	228 9.0%	271 10.8%	357 14.2%	237 9.4%
不明・無回答	518 100.0%	59 11.4%	44 8.5%	22 4.2%	13 2.5%	9 1.7%	22 4.2%	349 67.4%

(2) 聴覚障害等級 - 年齢階級

「10歳代」から「60歳代」までは「2級」の割合が最も多く「70歳代」以上では「6級」の割合が最も多い

表 1-2-12 年齢階級と聴覚障害等級のクロス

	総数	聴覚 1 級	聴覚 2 級	聴覚 3 級	聴覚 4 級	聴覚 5 級	聴覚 6 級	不明・ 無回答
10歳未満	59 100.0%	1 1.7%	8 13.6%	24 40.7%	6 10.2%	1 1.7%	19 32.2%	0 0.0%
10歳代	119 100.0%	6 5.0%	40 33.6%	21 17.6%	19 16.0%	1 0.8%	30 25.2%	2 1.7%
20歳代	204 100.0%	7 3.4%	84 41.2%	32 15.7%	24 11.8%	1 0.5%	53 26.0%	3 1.5%
30歳代	258 100.0%	5 1.9%	102 39.5%	32 12.4%	43 16.7%	1 0.4%	62 24.0%	13 5.0%
40歳代	431 100.0%	11 2.6%	194 45.0%	46 10.7%	57 13.2%	4 0.9%	102 23.7%	17 3.9%
50歳代	808 100.0%	20 2.5%	366 45.3%	79 9.8%	92 11.4%	3 0.4%	211 26.1%	37 4.6%
60歳代	1617 100.0%	39 2.4%	549 34.0%	211 13.0%	257 15.9%	6 0.4%	488 30.2%	67 4.1%
70歳代	3217 100.0%	64 2.0%	786 24.4%	437 13.6%	596 18.5%	24 0.7%	1159 36.0%	151 4.7%
80歳代	4201 100.0%	42 1.0%	650 15.5%	597 14.2%	1004 23.9%	19 0.5%	1691 40.3%	198 4.7%
90歳以上	2520 100.0%	23 0.9%	290 11.5%	342 13.6%	632 25.1%	17 0.7%	980 38.9%	236 9.4%
不明・無回答	518 100.0%	0 0.0%	29 5.6%	22 4.2%	47 9.1%	0 0.0%	71 13.7%	349 67.4%
総数	13952 100.0%	218 1.6%	3098 22.2%	1843 13.2%	2777 19.9%	77 0.6%	4866 34.9%	1073 7.7%

(3) 総合障害等級 - 年齢階級

全ての年齢階級において「1級」「2級」で6割以上を占める

・「60歳代」までは「1級」「2級」が8割以上となっている。

表 1-2-13 年齢階級と総合障害等級のクロス

	総 数	総 合 1 級	総 合 2 級	総 合 3 級	総 合 4 級	総 合 5 級	総 合 6 級	不 明 ・ 無 回 答
総数	13952 100.0%	6913 49.5%	3571 25.6%	1074 7.7%	903 6.5%	1020 7.3%	18 0.1%	453 3.2%
10歳未満	59 100.0%	42 71.2%	7 11.9%	5 8.5%	1 1.7%	4 6.8%	0 0.0%	0 0.0%
10歳代	119 100.0%	84 70.6%	20 16.8%	6 5.0%	2 1.7%	4 3.4%	0 0.0%	3 2.5%
20歳代	204 100.0%	136 66.7%	42 20.6%	14 6.9%	4 2.0%	4 2.0%	0 0.0%	4 2.0%
30歳代	258 100.0%	172 66.7%	51 19.8%	16 6.2%	8 3.1%	7 2.7%	0 0.0%	4 1.6%
40歳代	431 100.0%	267 61.9%	123 28.5%	10 2.3%	5 1.2%	22 5.1%	1 0.2%	3 0.7%
50歳代	808 100.0%	513 63.5%	198 24.5%	31 3.8%	24 3.0%	36 4.5%	0 0.0%	6 0.7%
60歳代	1617 100.0%	1008 62.3%	342 21.2%	90 5.6%	80 4.9%	78 4.8%	1 0.1%	18 1.1%
70歳代	3217 100.0%	1677 52.1%	860 26.7%	239 7.4%	185 5.8%	231 7.2%	5 0.2%	20 0.6%
80歳代	4201 100.0%	1927 45.9%	1184 28.2%	368 8.8%	335 8.0%	360 8.6%	3 0.1%	24 0.6%
90歳以上	2520 100.0%	1004 39.8%	693 27.5%	283 11.2%	247 9.8%	264 10.5%	8 0.3%	21 0.8%
不明・無回答	518 100.0%	83 16.0%	51 9.8%	12 2.3%	12 2.3%	10 1.9%	0 0.0%	350 67.6%

(4) 視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 年齢階級

「視覚1-2級・聴覚3-6級」が39.6%と最も高い

- ・次いで「視覚3-6級・聴覚3-6級」28.8%、「視覚1-2級・聴覚1-2級」15.5%、「視覚3-6級・聴覚1-2級」8.2%と続いている。
- ・「視覚1-2級・聴覚3-6級」はどの年代でも3割以上となっている。

表 1-2-14 年齢階級と視覚・聴覚障害等級組み合わせ(4分類)のクロス

	総数	聴覚1級 視覚1級	聴覚3級 視覚1級	聴覚1級 視覚3級	聴覚3級 視覚3級	不明・無回答
総数	13952 100.0%	2163 15.5%	5520 39.6%	1142 8.2%	4017 28.8%	1110 8.0%
10歳未満	59 100.0%	5 8.5%	34 57.6%	4 6.8%	16 27.1%	0 0.0%
10歳代	119 100.0%	27 22.7%	46 38.7%	19 16.0%	25 21.0%	2 1.7%
20歳代	204 100.0%	60 29.4%	68 33.3%	31 15.2%	42 20.6%	3 1.5%
30歳代	258 100.0%	76 29.5%	91 35.3%	31 12.0%	47 18.2%	13 5.0%
40歳代	431 100.0%	139 32.3%	143 33.2%	66 15.3%	66 15.3%	17 3.9%
50歳代	808 100.0%	271 33.5%	256 31.7%	114 14.1%	126 15.6%	41 5.1%
60歳代	1617 100.0%	422 26.1%	609 37.7%	164 10.1%	351 21.7%	71 4.4%
70歳代	3217 100.0%	548 17.0%	1294 40.2%	298 9.3%	913 28.4%	164 5.1%
80歳代	4201 100.0%	419 10.0%	1879 44.7%	271 6.5%	1428 34.0%	204 4.9%
90歳以上	2520 100.0%	180 7.1%	1013 40.2%	131 5.2%	950 37.7%	246 9.8%
不明・無回答	518 100.0%	16 3.1%	87 16.8%	13 2.5%	53 10.2%	349 67.4%

#### 4. 自治体ごとの状況

##### (1) 性別、年齢階層(3分類)、視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 自治体

- ・「男性」が「女性」の割合を越す自治体は、「秋田市」「千葉市」「相模原市」「富山市」「金沢市」「岐阜県」「金沢市」「豊田市」「奈良市」「沖縄県」のみである。
- ・年少人口(15歳未満の盲ろう児)は割合の高い順から「豊橋市」9.5%、「前橋市」6.7%、「静岡市」6.2%となっており、10%を超える自治体はない。
- ・生産年齢人口(15歳～65歳未満の盲ろう児・者)が30%を超えているのは、「仙台市」「川崎市」「千葉市」「豊田市」「滋賀県」である。
- ・「仙台市」「川崎市」「千葉市」「豊田市」「滋賀県」「東京都」以外の自治体では、老年人口(65歳以上の盲ろう者)の割合が7割を超えている。

表 1-2-15 自治体ごとの性別、年齢階層（3分類）、視覚・聴覚障害等級の組み合わせ（4分類）クロス

	総数	男性	女性	不明・無回答	年少人口	生産年齢人口	老年人口	不明・無回答	視覚重度・聴覚	非視覚重度・聴覚	覚視覚非重度・聴	覚視覚非重度・聴	不明・無回答
	13952	5826	7953	173	109	2527	10798	518	2163	5520	1142	4017	1110
	100.0%	41.8%	57.0%	1.2%	0.8%	18.1%	77.4%	3.7%	15.5%	39.6%	8.2%	28.8%	8.0%
北海道	625	265	360	0	1	72	552	0	20	113	19	87	386
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%	0.2%	11.5%	88.3%	0.0%	3.2%	18.1%	3.0%	13.9%	61.8%
札幌市	152	51	101	0	0	32	120	0	25	62	22	43	0
	100.0%	33.6%	66.4%	0.0%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%	16.4%	40.8%	14.5%	28.3%	0.0%
函館市	44	13	31	0	0	6	38	0	7	24	2	11	0
	100.0%	29.5%	70.5%	0.0%	0.0%	13.6%	86.4%	0.0%	15.9%	54.5%	4.5%	25.0%	0.0%
旭川市	63	22	41	0	0	8	55	0	6	21	7	29	0
	100.0%	34.9%	65.1%	0.0%	0.0%	12.7%	87.3%	0.0%	9.5%	33.3%	11.1%	46.0%	0.0%
青森県	123	48	75	0	0	20	103	0	15	56	9	38	5
	100.0%	39.0%	61.0%	0.0%	0.0%	16.3%	83.7%	0.0%	12.2%	45.5%	7.3%	30.9%	4.1%
青森市	27	12	15	0	0	7	20	0	7	10	3	7	0
	100.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	25.9%	74.1%	0.0%	25.9%	37.0%	11.1%	25.9%	0.0%
岩手県	145	72	73	0	0	26	119	0	17	62	18	48	0
	100.0%	49.7%	50.3%	0.0%	0.0%	17.9%	82.1%	0.0%	11.7%	42.8%	12.4%	33.1%	0.0%
盛岡市	22	10	12	0	0	6	16	0	3	13	3	3	0
	100.0%	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	13.6%	59.1%	13.6%	13.6%	0.0%
宮城県	123	54	69	0	0	25	98	0	17	48	14	44	0
	100.0%	43.9%	56.1%	0.0%	0.0%	20.3%	79.7%	0.0%	13.8%	39.0%	11.4%	35.8%	0.0%
仙台市	56	19	37	0	1	17	38	0	7	32	5	12	0
	100.0%	33.9%	66.1%	0.0%	1.8%	30.4%	67.9%	0.0%	12.5%	57.1%	8.9%	21.4%	0.0%
秋田県	73	28	45	0	1	13	59	0	10	37	6	20	0
	100.0%	38.4%	61.6%	0.0%	1.4%	17.8%	80.8%	0.0%	13.7%	50.7%	8.2%	27.4%	0.0%
秋田市	39	22	17	0	0	7	32	0	8	14	6	11	0
	100.0%	56.4%	43.6%	0.0%	0.0%	17.9%	82.1%	0.0%	20.5%	35.9%	15.4%	28.2%	0.0%
山形県	162	67	95	0	0	0	0	162	14	85	12	51	0
	100.0%	41.4%	58.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	8.6%	52.5%	7.4%	31.5%	0.0%
福島県	103	43	60	0	0	21	82	0	16	46	4	29	8
	100.0%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	20.4%	79.6%	0.0%	15.5%	44.7%	3.9%	28.2%	7.8%
郡山市	22	9	13	0	0	4	18	0	5	12	0	5	0
	100.0%	40.9%	59.1%	0.0%	0.0%	18.2%	81.8%	0.0%	22.7%	54.5%	0.0%	22.7%	0.0%
いわき市	43	17	26	0	1	4	38	0	6	22	3	12	0
	100.0%	39.5%	60.5%	0.0%	2.3%	9.3%	88.4%	0.0%	14.0%	51.2%	7.0%	27.9%	0.0%
茨城県	159	56	103	0	1	34	124	0	32	62	23	42	0
	100.0%	35.2%	64.8%	0.0%	0.6%	21.4%	78.0%	0.0%	20.1%	39.0%	14.5%	26.4%	0.0%
栃木県	135	55	80	0	3	22	110	0	18	71	13	33	0
	100.0%	40.7%	59.3%	0.0%	2.2%	16.3%	81.5%	0.0%	13.3%	52.6%	9.6%	24.4%	0.0%
宇都宮市	36	18	18	0	1	7	28	0	8	18	3	7	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2.8%	19.4%	77.8%	0.0%	22.2%	50.0%	8.3%	19.4%	0.0%
前橋市	45	21	24	0	3	8	34	0	11	19	3	12	0
	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%	6.7%	17.8%	75.6%	0.0%	24.4%	42.2%	6.7%	26.7%	0.0%
高崎市	17	8	9	0	1	2	14	0	4	8	0	5	0
	100.0%	47.1%	52.9%	0.0%	5.9%	11.8%	82.4%	0.0%	23.5%	47.1%	0.0%	29.4%	0.0%
埼玉県	271	113	158	0	2	73	196	0	48	120	24	79	0
	100.0%	41.7%	58.3%	0.0%	0.7%	26.9%	72.3%	0.0%	17.7%	44.3%	8.9%	29.2%	0.0%
さいたま市	44	22	22	0	1	6	37	0	4	22	4	14	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2.3%	13.6%	84.1%	0.0%	9.1%	50.0%	9.1%	31.8%	0.0%
川越市	19	8	11	0	1	6	12	0	2	9	4	4	0
	100.0%	42.1%	57.9%	0.0%	5.3%	31.6%	63.2%	0.0%	10.5%	47.4%	21.1%	21.1%	0.0%
千葉県	190	92	98	0	1	48	141	0	24	80	22	51	13
	100.0%	48.4%	51.6%	0.0%	0.5%	25.3%	74.2%	0.0%	12.6%	42.1%	11.6%	26.8%	6.8%
千葉市	49	29	20	0	0	16	33	0	10	22	6	11	0
	100.0%	59.2%	40.8%	0.0%	0.0%	32.7%	67.3%	0.0%	20.4%	44.9%	12.2%	22.4%	0.0%
船橋市	22	11	11	0	1	3	18	0	6	12	2	2	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	4.5%	13.6%	81.8%	0.0%	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	0.0%
柏市	17	4	13	0	0	1	16	0	1	10	0	6	0
	100.0%	23.5%	76.5%	0.0%	0.0%	5.9%	94.1%	0.0%	5.9%	58.8%	0.0%	35.3%	0.0%

	総数	男性	女性	不明・無回答	年少人口	生産年齢人口	老年人口	不明・無回答	視覚重度・聴覚	非視覚重度・聴覚	覚視覚非重度・聴	覚視覚非重度・聴	不明・無回答
東京都	840	350	421	69	9	198	564	69	117	297	63	221	142
	100.0%	41.7%	50.1%	8.2%	1.1%	23.6%	67.1%	8.2%	13.9%	35.4%	7.5%	26.3%	16.9%
神奈川県	189	84	105	0	0	49	140	0	22	91	23	53	0
	100.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	25.9%	74.1%	0.0%	11.6%	48.1%	12.2%	28.0%	0.0%
横浜市	260	107	153	0	7	74	179	0	45	105	24	83	3
	100.0%	41.2%	58.8%	0.0%	2.7%	28.5%	68.8%	0.0%	17.3%	40.4%	9.2%	31.9%	1.2%
川崎市	81	42	39	0	4	17	60	0	15	36	5	25	0
	100.0%	51.9%	48.1%	0.0%	4.9%	21.0%	74.1%	0.0%	18.5%	44.4%	6.2%	30.9%	0.0%
相模原市	43	26	17	0	0	6	37	0	7	18	2	16	0
	100.0%	60.5%	39.5%	0.0%	0.0%	14.0%	86.0%	0.0%	16.3%	41.9%	4.7%	37.2%	0.0%
横須賀市	44	21	23	0	0	6	38	0	2	25	5	10	2
	100.0%	47.7%	52.3%	0.0%	0.0%	13.6%	86.4%	0.0%	4.5%	56.8%	11.4%	22.7%	4.5%
新潟県	185	73	112	0	2	43	140	0	30	81	15	59	0
	100.0%	39.5%	60.5%	0.0%	1.1%	23.2%	75.7%	0.0%	16.2%	43.8%	8.1%	31.9%	0.0%
新潟市	90	37	53	0	3	16	71	0	13	37	8	30	2
	100.0%	41.1%	58.9%	0.0%	3.3%	17.8%	78.9%	0.0%	14.4%	41.1%	8.9%	33.3%	2.2%
富山県	95	37	58	0	0	10	85	0	9	47	8	31	0
	100.0%	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%	10.5%	89.5%	0.0%	9.5%	49.5%	8.4%	32.6%	0.0%
富山市	52	30	22	0	0	8	44	0	5	25	2	20	0
	100.0%	57.7%	42.3%	0.0%	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%	9.6%	48.1%	3.8%	38.5%	0.0%
石川県	55	22	33	0	0	15	40	0	8	27	7	13	0
	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%	14.5%	49.1%	12.7%	23.6%	0.0%
金沢市	45	23	22	0	1	11	33	0	0	0	0	0	45
	100.0%	51.1%	48.9%	0.0%	2.2%	24.4%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
福井県	139	64	75	0	0	22	117	0	22	60	14	43	0
	100.0%	46.0%	54.0%	0.0%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	15.8%	43.2%	10.1%	30.9%	0.0%
山梨県	98	43	55	0	0	21	77	0	15	51	9	23	0
	100.0%	43.9%	56.1%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%	15.3%	52.0%	9.2%	23.5%	0.0%
長野県	171	72	99	0	3	37	131	0	31	65	18	57	0
	100.0%	42.1%	57.9%	0.0%	1.8%	21.6%	76.6%	0.0%	18.1%	38.0%	10.5%	33.3%	0.0%
長野市	33	14	19	0	2	8	23	0	6	15	1	11	0
	100.0%	42.4%	57.6%	0.0%	6.1%	24.2%	69.7%	0.0%	18.2%	45.5%	3.0%	33.3%	0.0%
岐阜県	165	87	78	0	1	39	125	0	22	83	17	43	0
	100.0%	52.7%	47.3%	0.0%	0.6%	23.6%	75.8%	0.0%	13.3%	50.3%	10.3%	26.1%	0.0%
岐阜市	35	12	23	0	0	9	26	0	5	18	4	8	0
	100.0%	34.3%	65.7%	0.0%	0.0%	25.7%	74.3%	0.0%	14.3%	51.4%	11.4%	22.9%	0.0%
静岡県	150	70	80	0	2	32	116	0	28	55	15	52	0
	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%	1.3%	21.3%	77.3%	0.0%	18.7%	36.7%	10.0%	34.7%	0.0%
静岡市	65	28	37	0	4	17	44	0	18	22	7	18	0
	100.0%	43.1%	56.9%	0.0%	6.2%	26.2%	67.7%	0.0%	27.7%	33.8%	10.8%	27.7%	0.0%
浜松市	54	18	36	0	2	12	40	0	12	28	4	10	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	3.7%	22.2%	74.1%	0.0%	22.2%	51.9%	7.4%	18.5%	0.0%
愛知県	246	104	142	0	2	40	204	0	135	48	0	63	0
	100.0%	42.3%	57.7%	0.0%	0.8%	16.3%	82.9%	0.0%	54.9%	19.5%	0.0%	25.6%	0.0%
名古屋市	625	311	314	0	13	131	481	0	93	261	64	207	0
	100.0%	49.8%	50.2%	0.0%	2.1%	21.0%	77.0%	0.0%	14.9%	41.8%	10.2%	33.1%	0.0%
豊橋市	21	9	12	0	2	3	16	0	2	12	2	5	0
	100.0%	42.9%	57.1%	0.0%	9.5%	14.3%	76.2%	0.0%	9.5%	57.1%	9.5%	23.8%	0.0%
岡崎市	28	14	14	0	0	2	26	0	3	11	4	10	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	0.0%	10.7%	39.3%	14.3%	35.7%	0.0%
豊田市	33	17	16	0	0	11	22	0	4	12	3	14	0
	100.0%	51.5%	48.5%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	12.1%	36.4%	9.1%	42.4%	0.0%
三重県	223	107	116	0	0	36	187	0	50	100	14	59	0
	100.0%	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	16.1%	83.9%	0.0%	22.4%	44.8%	6.3%	26.5%	0.0%
滋賀県	112	49	63	0	1	35	76	0	33	49	7	23	0
	100.0%	43.8%	56.3%	0.0%	0.9%	31.3%	67.9%	0.0%	29.5%	43.8%	6.3%	20.5%	0.0%
大津市	22	11	11	0	0	5	17	0	4	10	2	6	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	22.7%	77.3%	0.0%	18.2%	45.5%	9.1%	27.3%	0.0%

	総数	男性	女性	不明・無回答	年少人口	生産年齢人口	老年人口	不明・無回答	視覚重度・聴覚	非視覚重度・聴覚	覚視覚非重度・聴覚	覚視覚非重度・聴覚	不明・無回答
京都府	255	109	146	0	2	42	211	0	37	111	16	66	25
京都市	183	70	113	0	0	0	0	183	0	0	0	0	183
大阪府	130	39	91	0	1	29	100	0	28	44	14	44	0
大阪市	718	298	420	0	6	143	569	0	104	291	70	253	0
堺市	103	45	58	0	2	18	83	0	21	31	9	42	0
豊中市	31	11	20	0	1	3	27	0	6	11	3	11	0
高槻市	44	16	28	0	0	8	36	0	10	19	4	11	0
東大阪市	50	20	30	0	1	9	40	0	12	22	4	12	0
兵庫県	312	135	177	0	2	52	258	0	21	78	9	54	150
神戸市	96	0	0	96	0	0	0	96	0	0	0	0	96
姫路市	36	16	20	0	0	7	29	0	4	11	4	17	0
尼崎市	50	21	29	0	0	12	38	0	8	29	3	10	0
西宮市	33	12	21	0	0	5	28	0	6	15	1	11	0
奈良県	319	125	194	0	1	41	277	0	42	132	31	114	0
奈良市	39	20	19	0	0	4	35	0	3	18	3	15	0
和歌山県	144	65	79	0	0	21	123	0	21	53	10	60	0
和歌山市	79	34	45	0	2	9	68	0	15	32	7	25	0
鳥取県	70	31	39	0	2	11	57	0	4	36	7	20	3
島根県	180	73	107	0	0	29	151	0	28	72	20	60	0
岡山県	85	41	44	0	0	17	68	0	11	42	5	27	0
岡山市	52	21	31	0	2	7	43	0	3	23	6	20	0
倉敷市	36	15	21	0	1	6	29	0	4	17	5	10	0
広島県	160	75	85	0	0	31	129	0	30	56	12	60	2
広島市	153	60	93	0	0	36	117	0	90	30	0	32	1
福山市	58	20	38	0	0	7	51	0	6	22	5	25	0
下関市	57	20	37	0	1	12	44	0	7	27	11	12	0
徳島県	76	35	41	0	0	11	65	0	13	35	5	23	0
香川県	120	55	65	0	0	20	100	0	13	51	16	40	0
高松市	62	18	44	0	0	15	47	0	20	21	4	17	0
		29.0%	71.0%	0.0%	0.0%	24.2%	75.8%	0.0%	32.3%	33.9%	6.5%	27.4%	0.0%

	総数	男性	女性	不明・無回答	年少人口	生産年齢人口	老年人口	不明・無回答	重 度 視 覚 重 度 ・ 聴 覚	非 重 度 視 覚 重 度 ・ 聴 覚	覚 重 度 視 覚 非 重 度 ・ 聴 覚	覚 非 重 度 視 覚 非 重 度 ・ 聴 覚	不明・無回答
愛媛県	189	76	113	0	0	15	174	0	22	85	17	65	0
松山市	55	24	31	0	0	13	42	0	7	33	2	13	0
高知県	83	35	48	0	0	10	73	0	16	35	10	20	2
高知市	39	15	24	0	0	11	28	0	5	15	6	11	2
福岡県	321	106	207	8	2	46	265	8	48	119	24	106	24
北九州市	206	63	143	0	1	25	180	0	36	83	13	66	8
福岡市	166	68	98	0	1	44	121	0	29	74	12	51	0
久留米市	48	12	36	0	0	8	40	0	9	18	3	18	0
佐賀県	156	55	101	0	1	21	134	0	21	55	23	57	0
長崎県	244	92	152	0	0	34	210	0	33	106	25	78	2
長崎市	119	39	80	0	0	21	98	0	14	46	11	48	0
熊本県	285	112	173	0	0	35	250	0	47	119	32	87	0
熊本市	87	37	50	0	0	22	65	0	17	38	12	20	0
大分県	157	66	91	0	0	15	142	0	23	72	14	48	0
大分市	68	28	40	0	0	15	53	0	15	22	8	23	0
宮崎県	105	43	62	0	0	25	80	0	21	57	0	21	6
宮崎市	56	28	28	0	0	12	44	0	11	30	1	14	0
鹿児島県	460	193	267	0	2	59	399	0	63	208	39	150	0
鹿児島市	143	58	85	0	0	31	112	0	23	67	10	43	0
沖縄県	209	105	104	0	1	53	155	0	29	110	12	58	0

(2) 都道府県ごとの身体障害者手帳交付率と推計手帳交付盲ろう者数

人口10万人当たりの身体障害者手帳交付率が最も高いのは、「鹿児島県」の35.34。

・最も低いのは「埼玉県」の4.67。

表 1-2-16 都道府県ごとの身体障害者手帳交付率と推計手帳交付盲ろう者数

自治体名	人口	自治体把握 盲ろう者数	交付率 (10万人対)	推計手帳交付 盲ろう者数	推計交付率 (10万人対)
全国	126,659,683	13,952	11.02		11.31
北海道	5,474,216	884	16.15	884	16.15
青森県	1,383,043	150	10.85	150	10.85
岩手県	1,317,795	167	12.67	167	12.67
宮城県	2,302,706	179	7.77	179	7.77
秋田県*	1,086,018	112		114	10.5
山形県	1,160,204	162	13.96	162	13.96
福島県*	1,991,865	168		171	8.58
茨城県	2,960,010	159	5.37	159	5.37
栃木県	1,988,755	171	8.6	171	8.6
群馬県*	1,990,944	62		241	12.1
埼玉県	7,149,503	334	4.67	334	4.67
千葉県*	6,147,619	278		296	4.81
東京都*	12,699,271	840		854	6.72
神奈川県	8,917,368	617	6.92	617	6.92
新潟県	2,364,632	275	11.63	275	11.63
富山県	1,087,544	147	13.52	147	13.52
石川県	1,156,730	100	8.65	100	8.65
福井県	803,180	139	17.31	139	17.31
山梨県	855,746	98	11.45	98	11.45
長野県	2,145,962	204	9.51	204	9.51
岐阜県	2,068,942	200	9.67	200	9.67
静岡県	3,750,571	269	7.17	269	7.17
愛知県	7,263,173	953	13.12	953	13.12
三重県	1,838,613	223	12.13	223	12.13
滋賀県	1,394,472	134	9.61	134	9.61
京都府	2,542,740	438	17.23	438	17.23
大阪府	8,679,933	1,076	12.4	1076	12.4
兵庫県	5,572,405	527	9.46	527	9.46
奈良県	1,401,243	358	25.55	358	25.55
和歌山県	1,018,668	223	21.89	223	21.89
鳥取県	588,715	70	11.89	70	11.89
島根県	713,056	180	25.24	180	25.24
岡山県	1,931,586	173	8.96	173	8.96
広島県	2,846,680	371	13.03	371	13.03
山口県*	1,445,473	57		189	13.08
徳島県	786,640	76	9.66	76	9.66
香川県	1,006,488	182	18.08	182	18.08
愛媛県	1,441,291	244	16.93	244	16.93
高知県	759,680	122	16.06	122	16.06
福岡県*	5,049,457	741		770	15.25
佐賀県	853,363	156	18.28	156	18.28
長崎県	1,431,485	363	25.36	363	25.36
熊本県	1,822,331	372	20.41	372	20.41
大分県	1,196,804	225	18.8	225	18.8
宮崎県	1,143,744	161	14.08	161	14.08
鹿児島県	1,706,081	603	35.34	603	35.34
沖縄県	1,422,938	209	14.69	209	14.69

1) \*印は推計。2) 人口は「住民基本台帳に基づく人口、人口動態および世帯数（平成 24 年 3 月 31 日現在）」（総務省自治行政局住民制度課）を参照した。

## 第2部 目と耳の両方に障害のある方の生活状況に関する調査

### 第1章 調査の概要

#### 1. 調査の目的

盲ろう者の生活実態や社会参加の状況、生活上のニーズを把握することで、今後の盲ろう者支援の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

#### 2. 調査の対象

第1部の「視覚・聴覚の身体障害者手帳の交付状況についての調査」で把握した視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳が交付されている者

#### 3. 調査の基準日

平成25年1月1日

#### 4. 調査の方法

調査票の配布協力が得られた40都道府県、17政令指定都市、40中核市を通じ、対象者12,813人に対し郵送による質問紙調査を実施した。なお、調査協力者からの希望により、点字版、拡大文字版、電子データ版等の調査票を提供した。

回収については、郵送のほか、電子データ版を提供した調査協力者については、電子メールでの送付も可能とした。

協力自治体への調査票発送日は平成25年1月7日～11日、調査票締切日平成25年2月15日であった。

#### 5. 回収結果

2,875通の回答が得られ（回収率：22.4%）、有効回答は2,744通であった（有効回答率：21.4%）。

#### 6. 調査項目

調査項目は、別表のとおりである。

#### 7. 利用上の注意

百分率は、小数点以下第2位を四捨五入したため、総数・合計欄が100になっても、内訳の合計が100%とならない場合がある。

表 2-1-1 目と耳の両方に障害のある方の生活状況に関する調査項目

大項目		設問要約	設問
基本的属性	問1	回答者	このアンケートはどなたがお答えになっていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問1-(1)	回答代行者	代わりに記入しているのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問2	年齢	あなた（視覚と聴覚の両方に障害のある方ご本人）の年齢をお答えください。
	問3	性別	性別について、あてはまる方に○をしてください。
住まい	問4	都道府県	お住まいの都道府県をお答えください。
	問5	住居の種類	お住まいの種類について、あてはまるもの1つに○をしてください。
	問6	同居者〔複〕	誰と一緒に暮らしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。※グループホーム・ケアホームや入所型施設等で暮らしている人は回答する必要はありません。
	問7	暮らしの希望	今後、どのように暮らしたいと考えていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
生活のしづらさ	問8	生活しづらさの発症年齢	日常生活を送る上で、目と耳の両方の障害による生活のしづらさが生じはじめた（生活のしづらさがあると気づいた）のは何歳ごろですか。※日常生活の中で、ご自身が不自由と感じた年齢、又は家族が気付いた年齢を記入してください。
	問9	生活しづらさの変化	日常生活を送る上で、目と耳の両方の障害による生活のしづらさが生じはじめた（生活のしづらさがあると気づいた）後、生活のしづらさはどのように変化していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問10	生活しづらさの頻度	おおむねこの6ヶ月（平成24年7月1日～平成24年12月31日）の間に、目と耳の両方の障害による日常生活を送る上での生活のしづらさはどの程度生じましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。※障害に関係のない生活のしづらさ（風邪やけが等の一時的なもの）は含めないでください。
視覚障害	問11	視覚障害の発症年齢	目（視覚）の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。
	問12	視覚障害の進行	目（視覚）の障害が生じ始めてから、障害の状態は進行（悪化）していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問13	視力の状態	現在の視力の状態について、あてはまるもの1つに○をしてください。※眼鏡などを使用している場合は、使用している状態で答えてください。
	問13-(1)	視野の状態	現在の視野の状態について、あてはまるもの1つに○をしてください。
問14	視覚障害等級	身体障害者手帳に記載してある視覚障害の等級をお答えください。	
聴覚障害	問15	聴覚障害の発症年齢	耳（聴覚）の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。
	問16	聴覚障害の進行	耳（聴覚）の障害が生じ始めてから、聞こえの状態は進行（悪化）していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問17	聴力の状態	現在の耳（聴覚）の状態について、あてはまるもの1つに○をしてください。※補聴器などを使用している場合は、使用している状態で答えてください。
	問18	聴覚障害等級	あなたの身体障害者手帳に記載してある聴覚障害の等級をお答えください。
障害全般	問19	視覚・聴覚以外の障害の有無	視覚と聴覚以外に障害はありますか。いずれか1つに○をしてください。
	問19-(1)	視覚・聴覚以外の障害の種類・等級	（視覚と聴覚以外に障害のある方）該当する障害の種類に○をして、障害者手帳に記載されている等級をお答えください。
	問20	総合等級	あなたの身体障害者手帳に記載してある総合等級（すべての障害を合わせた等級）をお答えください。
	問21	障害程度区分認定	障害者自立支援法の障害程度区分の認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問21-(1)	障害程度区分	（障害程度区分の認定を受けている方）障害程度区分はいくつですか。
コミュニケーション	問22	可能な発信コミュニケーション方法	あなたの言葉を相手に伝えるとき（話すとき）に使っているコミュニケーション方法について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問23	最も円滑な発信コミュニケーション方法〔複〕	問22でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまるもの1つに○をしてください。
	問24	独力での発信能力	初めて会う人（手話や指文字、点字などを知らない健常者）に、自分の言いたいことを、おひとりでのどの程度、伝えることができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問25	可能な受信コミュニケーション方法	あなたが相手の言葉を受け取るとき（聞くとき）に使っているコミュニケーション方法について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問26	最も円滑な受信コミュニケーション方法	問25でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまるもの1つに○をしてください。
	問27	独力での受信能力	初めて会う人（手話や指文字、点字などを知らない健常者）の言いたいことを、おひとりでのどの程度、理解することができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。

コミュニケーション	問28	会話頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間にどの程度、他者と会話をしましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問29	相手別会話頻度	あなたはおおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、次にあげる方と、どの程度会話をしましたか。それぞれについて、「よく会話する」を“1”、「ときどき会話する」を“2”、「まったく会話しない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく会話していない方は、回答する必要はありません。
外出	問30	単独移動能力	他者や盲導犬などの支援を受けずに、おひとりでのどの程度、移動することができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問31	外出頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、どの程度外出しましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問32	目的別外出頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）について、「よくある」を“1”、「ときどきある」を“2”、「まったくない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく外出していない方は、回答する必要はありません。
	問33	相手別外出頻度	あなたはおおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、次にあげる方と、どの程度、一緒に外出をしましたか。それぞれについて、「よく外出する」を“1”、「ときどき外出する」を“2”、「まったく外出しない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく外出していない方は、回答する必要はありません。
情報入手	問34	使用文字[複]	文章を読むときに使うことのできる方法について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問35	独力での情報入手能力	他者の支援を受けずに、おひとりでのどの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ることができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問36	情報入手頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、どの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問37	手段別情報入手頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、次にあげるところから、どの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ていますか。それぞれについて、「よく情報を得る」を“1”、「ときどき情報を得る」を“2”、「まったく情報を得ない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく情報を得ていない方は、回答する必要はありません。
福祉サービス	問38	福祉サービス利用有無	あなたは日常生活を送るうえで、人的支援による福祉サービスを利用していますか。いずれか1つに○をしてください。
	問38-(1)	福祉サービス利用頻度	以下にあげる人的支援による福祉サービスそれぞれについて、受けている回数にもっとも近いもの1つに○をしてください。
	問38-(2)	福祉サービス不利用理由[複]	人的支援による福祉サービスを利用していない理由について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問39	福祉サービス利用希望有無	あなたは日常生活を送るうえで、今後、人的支援による福祉サービスの利用を希望しますか。いずれか1つに○をしてください。
	問39-(1)	福祉サービス利用希望頻度	以下にあげる人的支援による福祉サービスそれぞれについて、今後、利用を希望する回数にもっとも近いもの1つに○をしてください。
	問40	介護保険サービス利用有無	介護保険法によるサービスを利用していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問40-(1)		要支援・要介護度はいくつですか。該当する要支援・要介護度1つに○をしてください。
	問41	補装具・日常生活用具の支給給付有無	あなたは行政から補装具や日常生活用具の支給・給付を受けていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
問41-(1)	給付・支給済の補装具・日常生活用具[複]	次のうち、支給・給付を受けている補装具や日常生活用具すべてに○をしてください。	
日中活動の状況と希望	問42	日中の過ごし方	平日の日中は、おもにどのように過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
	問43	日中の過ごし方の変化の希望有無	平日の日中はどのように過ごしたいと考えていますか。いずれか1つに○をしてください。
	問43-(1)	希望する日中の過ごし方	（今までとは違う平日日中の過ごし方をしたい方）どのように過ごしたいですか。あてはまるものすべてに○をしてください。
生活全般の困難・ニーズ	問44	生活満足度	あなたは現在の生活に満足していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問45	生活全般の困難・ニーズ	あなたが生活をしている中で困っていることや必要だと感じる支援があれば、ご自由にお書きください。

## 第2章 結果の概要

### 1. 調査協力者の基本的属性

#### (1) 年齢（階級・平均）、性別

**回答者総計 2744 人中、男性 1205 人 (43.9%)、女性 1539 人 (56.1%)**

- ・男性の割合は 60 歳代 48.8%、70 歳代 43.9%、80 歳代 42.0%、90 歳以上 31.9%と徐々に低くなっている。
- ・女性の割合は 60 歳代 51.2%、70 歳代 56.1%、80 歳代 58.0%、90 歳以上 68.1%と徐々に高くなっている。

表 2-2-1 年齢階級と性別のクロス

	総計	男性	女性
総計	2744 100.0%	1205 43.9%	1539 56.1%
10歳未満	24 100.0%	12 50.0%	12 50.0%
10歳代	30 100.0%	18 60.0%	12 40.0%
20歳代	51 100.0%	26 51.0%	25 49.0%
30歳代	76 100.0%	34 44.7%	42 55.3%
40歳代	126 100.0%	59 46.8%	67 53.2%
50歳代	226 100.0%	113 50.0%	113 50.0%
60歳代	426 100.0%	208 48.8%	218 51.2%
70歳代	724 100.0%	318 43.9%	406 56.1%
80歳代	779 100.0%	327 42.0%	452 58.0%
90歳以上	282 100.0%	90 31.9%	192 68.1%

## (2) 視聴覚障害組み合わせ（等級）

### ■ 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

「視覚2級・聴覚2級」が最も多く約350人

・次いで「視覚1級・聴覚2級」が約300人となっている。

表 2-2-2a 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

	総計	聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚5級	聴覚6級	無回答
総計	2744	237	813	339	416	57	611	271
	100.0%	8.6%	29.6%	12.4%	15.2%	2.1%	22.3%	9.9%
視覚1級	1013	199	299	88	111	8	169	139
	100.0%	19.6%	29.5%	8.7%	11.0%	0.8%	16.7%	13.7%
視覚2級	785	13	349	83	113	3	187	37
	100.0%	1.7%	44.5%	10.6%	14.4%	0.4%	23.8%	4.7%
視覚3級	226	6	48	92	29	1	45	5
	100.0%	2.7%	21.2%	40.7%	12.8%	0.4%	19.9%	2.2%
視覚4級	174	0	30	21	76	1	41	5
	100.0%	0.0%	17.2%	12.1%	43.7%	0.6%	23.6%	2.9%
視覚5級	241	4	35	21	44	38	92	7
	100.0%	1.7%	14.5%	8.7%	18.3%	15.8%	38.2%	2.9%
視覚6級	120	1	17	12	31	2	56	1
	100.0%	0.8%	14.2%	10.0%	25.8%	1.7%	46.7%	0.8%
無回答	185	14	35	22	12	4	21	77
	100.0%	7.6%	18.9%	11.9%	6.5%	2.2%	11.4%	41.6%

### ■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）

「視覚1・2級、聴覚1・2級」が最も高く31.3%

・次いで、「視覚1・2級、聴覚3-6級」27.8%、「視覚3-6級、聴覚3-6級」21.9%と続く

・最も低い割合は「視覚3-6級、聴覚1・2級」5.1%となっている。

表 2-2-2b 視聴覚障害組み合わせ（等級）

	人数	割合
視覚1・2級 聴覚1・2級	860	31.3%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762	27.8%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141	5.1%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602	21.9%
無回答	379	13.8%
合計	2744	100.0%

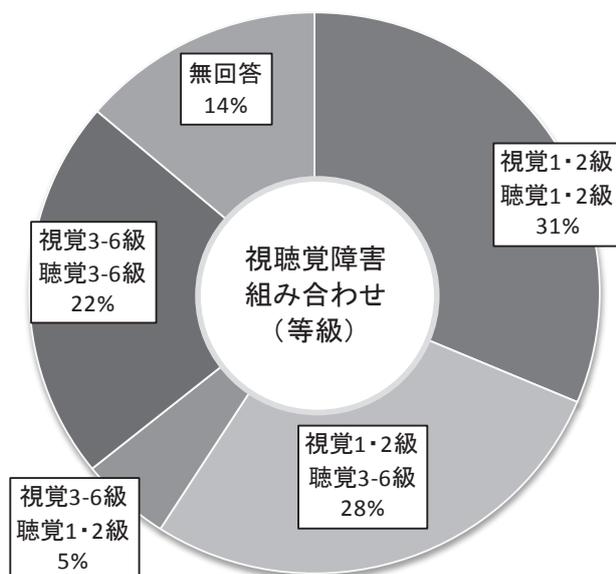


図 2-2-1 視聴覚障害組み合わせ（等級）

(3) 視聴覚障害組み合わせ（状態・程度）

■ 視力の状態と聴覚の状態のクロス

**「耳元で大きな話し声なら聞き取れる」が最も高く 40.2%**

- ・「話し声をまったく聞き取れない」の中では、「光を感じない」31.6%、「明るい光は見える」32.3%と高い割合となっている。
- ・「大きな文字を読める」の中では、「少し離れても大きな話し声なら聞き取れる」35.2%、「耳元で大きな話し声なら聞き取れる」34.1%、「小さな文字を読める」の中では「少し離れても大きな話し声なら聞き取れる」44.8%、「話し声をまったく聞き取れない」24.4%となっている。

表 2-2-3a 視力の状態と聴覚の状態のクロス

	総計	聞き取れない 話し声をまったく	耳元で大きな話し 声なら聞き取れる	少し離れても聞き 取れない話し声なら 聞き取れる	少し離れても聞き 取れる話し声なら 聞き取れる	無回答
総計	2744 100.0%	701 25.5%	1104 40.2%	733 26.7%	148 5.4%	58 2.1%
光も感じない	488 100.0%	154 31.6%	210 43.0%	89 18.2%	21 4.3%	14 2.9%
明るい光は見える	498 100.0%	161 32.3%	218 43.8%	91 18.3%	16 3.2%	12 2.4%
目の前で手を動か せばわかる	355 100.0%	77 21.7%	168 47.3%	79 22.3%	23 6.5%	8 2.3%
目の前の指の本数 が数えられる	266 100.0%	45 16.9%	134 50.4%	72 27.1%	9 3.4%	6 2.3%
大きな文字を読め る	779 100.0%	169 21.7%	266 34.1%	274 35.2%	55 7.1%	15 1.9%
小さな文字を読め る	172 100.0%	42 24.4%	34 19.8%	77 44.8%	16 9.3%	3 1.7%
無回答	186 100.0%	53 28.5%	74 39.8%	51 27.4%	8 4.3%	0 0.0%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）

「全盲難聴」が最も高く41.2%。

- ・次いで、「弱視難聴」26.3%、「全盲ろう」15.9%と続いている。
- ・最も低い割合は「弱視ろう」7.7%となっている。

表 2-2-3b 視覚障害組み合わせ（状態）

	人数	割合
全盲ろう	437	15.9%
全盲難聴	1130	41.2%
弱視ろう	211	7.7%
弱視難聴	722	26.3%
無回答	244	8.9%
合計	2744	100.0%

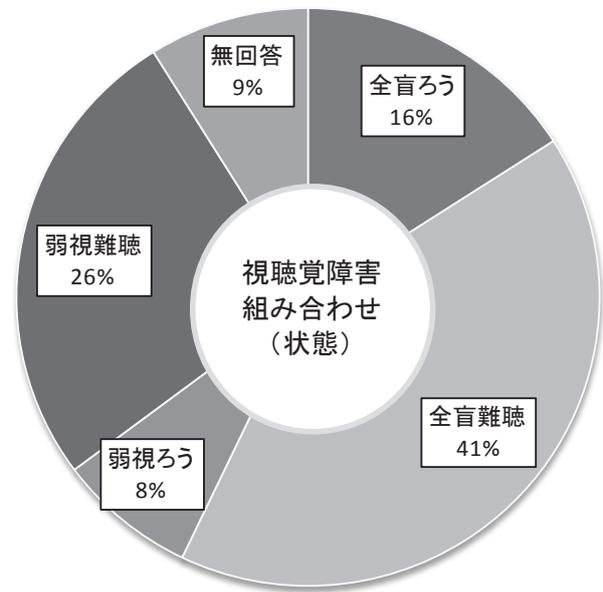


図 2-2-2 視覚障害組み合わせ（状態）

（注）視聴覚障害の組み合わせについては、「視力の状態」と「聴覚の状態」を、以下のように操作的に定義をして、組み合わせたものである。

- ・全盲：「光も感じない」～「目の前の指の本数がわかる」
- ・弱視：「大きな文字を読める」～「小さな文字を読める」
- ・ろう：「話し声を全く聞き取れない」
- ・難聴：「耳元で大きな話声なら聞き取れる」～「少し離れても普通の大きさの声を聞きとれる」

#### (4) 視聴覚障害の受障経緯の組み合わせ

##### ■ 視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期のクロス

**視覚障害受障時期「0-3歳」、聴覚障害受障時期「0-3歳」が最も高く58.1%**

- ・視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期は互いの受障時期に近い年齢で受障している傾向にある。
- ・受障時期別で同時期に最も高い割合を見ると、「視覚4-12歳・聴覚4-12歳」36.1%、「視覚18-29歳・聴覚18-29歳」20.0%、「視覚50-59歳・聴覚50-59歳」25.7%、「視覚60-64歳・聴覚60-64歳」28.2%、「視覚65-74歳・聴覚65-74歳」39.1%、「視覚75歳以上・聴覚75歳以上」47.3%となっており、視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期が同時期の傾向となっている。

表 2-2-4a 視覚障害受障時期と聴覚障害受障時期のクロス

		総計	聴覚障害受障時期										
			0-3歳	4-12歳	13-17歳	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-74歳	75歳以上	無回答
総計		2744 100.0%	572 20.8%	334 12.2%	111 4.0%	145 5.3%	171 6.2%	208 7.6%	255 9.3%	210 7.7%	318 11.6%	237 8.6%	183 6.7%
視覚障害受障時期	0-3歳	377 100.0%	219 58.1%	41 10.9%	16 4.2%	13 3.4%	11 2.9%	14 3.7%	19 5.0%	8 2.1%	12 3.2%	9 2.4%	15 4.0%
	4-12歳	352 100.0%	67 19.0%	127 36.1%	23 6.5%	17 4.8%	16 4.5%	21 6.0%	21 6.0%	17 4.8%	23 6.5%	11 3.1%	9 2.6%
	13-17歳	136 100.0%	36 26.5%	19 14.0%	26 19.1%	6 4.4%	10 7.4%	7 5.1%	8 5.9%	6 4.4%	8 5.9%	6 4.4%	4 2.9%
	18-29歳	205 100.0%	36 17.6%	21 10.2%	10 4.9%	41 20.0%	24 11.7%	15 7.3%	11 5.4%	10 4.9%	13 6.3%	13 6.3%	11 5.4%
	30-39歳	186 100.0%	41 22.0%	21 11.3%	5 2.7%	19 10.2%	36 19.4%	18 9.7%	16 8.6%	6 3.2%	10 5.4%	6 3.2%	8 4.3%
	40-49歳	304 100.0%	76 25.0%	29 9.5%	7 2.3%	9 3.0%	30 9.9%	56 18.4%	27 8.9%	15 4.9%	25 8.2%	15 4.9%	15 4.9%
	50-59歳	338 100.0%	39 11.5%	28 8.3%	10 3.0%	15 4.4%	19 5.6%	39 11.5%	87 25.7%	35 10.4%	37 10.9%	18 5.3%	11 3.3%
	60-64歳	209 100.0%	18 8.6%	17 8.1%	10 4.8%	8 3.8%	4 1.9%	11 5.3%	22 10.5%	59 28.2%	33 15.8%	16 7.7%	11 5.3%
	65-74歳	281 100.0%	17 6.0%	13 4.6%	4 1.4%	8 2.8%	12 4.3%	15 5.3%	16 5.7%	34 12.1%	110 39.1%	43 15.3%	9 3.2%
	75歳以上	188 100.0%	5 2.7%	5 2.7%	0 0.0%	5 2.7%	4 2.1%	8 4.3%	16 8.5%	15 8.0%	34 18.1%	89 47.3%	7 3.7%
	無回答	168 100.0%	18 10.7%	13 7.7%	0 0.0%	4 2.4%	5 3.0%	4 2.4%	12 7.1%	5 3.0%	13 7.7%	11 6.5%	83 49.4%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）

「後天性（成人期）」が最も高く 54.8%

・「ろうベース」は 12.2%、「盲ベース」は 5.2%となっている。

表 2-2-4b 視覚障害経緯（5分類）

	人数	割合
先天性	219	8.0%
盲ベース	143	5.2%
ろうベース	335	12.2%
後天性（成人期）	1503	54.8%
後天性（高齢期）	276	10.1%
無回答	268	9.8%
合計	2744	100.0%

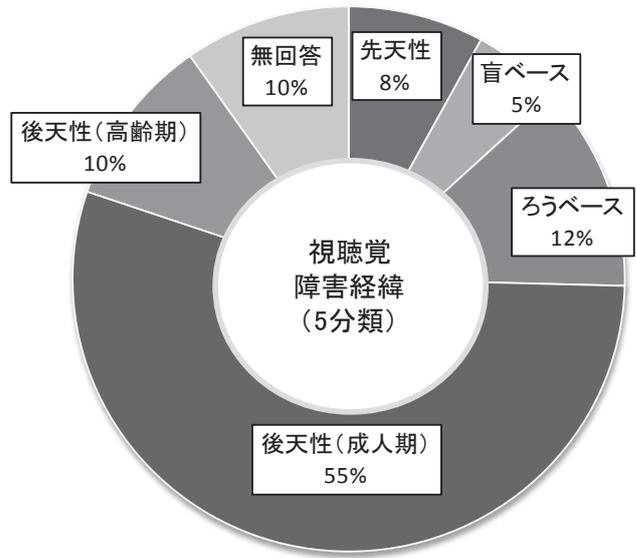


図 2-2-3 視覚障害経緯（5分類）

（注）視聴覚障害の受障経緯の組み合わせについては、「視覚障害受障時期」と「聴覚障害受障時期」を以下のように組み合わせ、操作的に定義をしたものである。

- ・先天性：視覚・聴覚とも 4 歳未満で受障
- ・盲ベース：視覚は 4 歳未満、聴覚は 4 歳以後に受障
- ・ろうベース：聴覚は 4 歳未満、視覚は 4 歳以後に受障
- ・後天性（成人期）：視覚・聴覚とも 4 歳以後、65 歳未満で受障
- ・後天性（高齢期）：視覚・聴覚とも 65 歳以後に受障

## (5) 可能および最も円滑な発信コミュニケーション方法

### ■ 可能な発信コミュニケーション方法

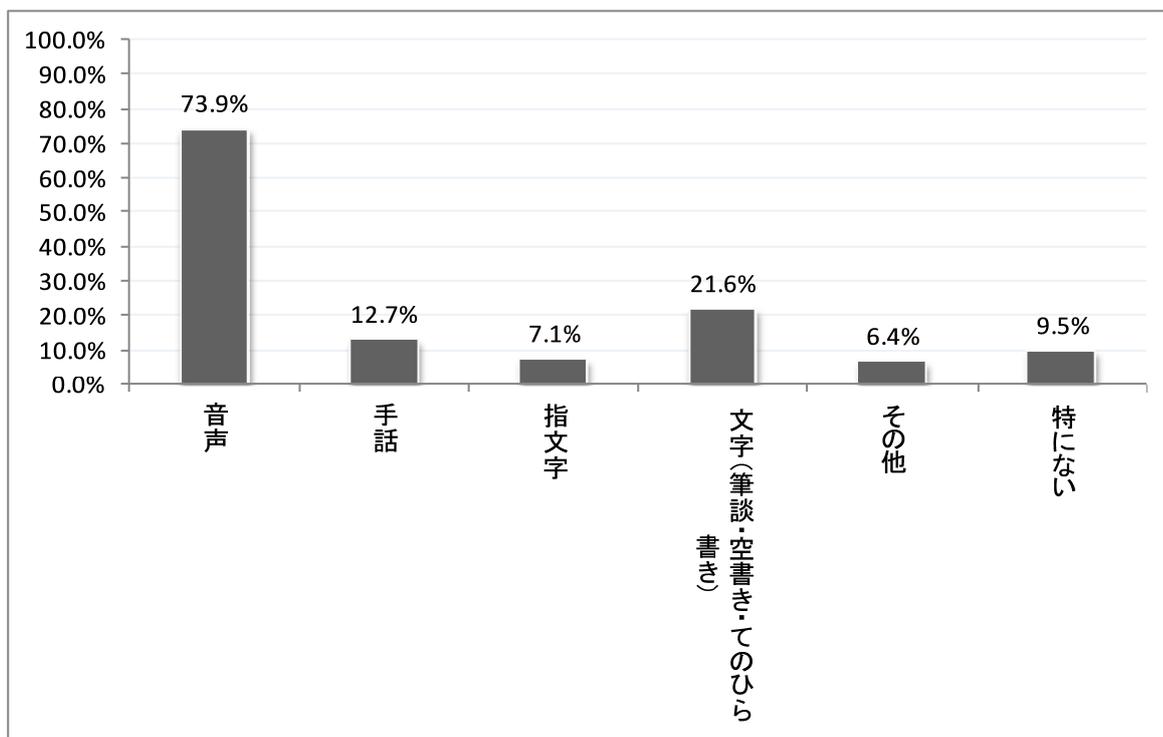
可能な発信コミュニケーション方法では、「音声」の割合が最も高く73.9%。

・次いで、「文字（筆談、空書き、てのひら書き）」21.6%、「手話」12.7%となっている。

表 2-2-5a 可能な発信コミュニケーション方法

	人数	割合
音声	2006	73.9%
手話	345	12.7%
指文字	193	7.1%
文字（筆談・空書き・ てのひら書き）	587	21.6%
その他	173	6.4%
特にない	257	9.5%

図 2-2-4 可能な発信コミュニケーション方法



■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法

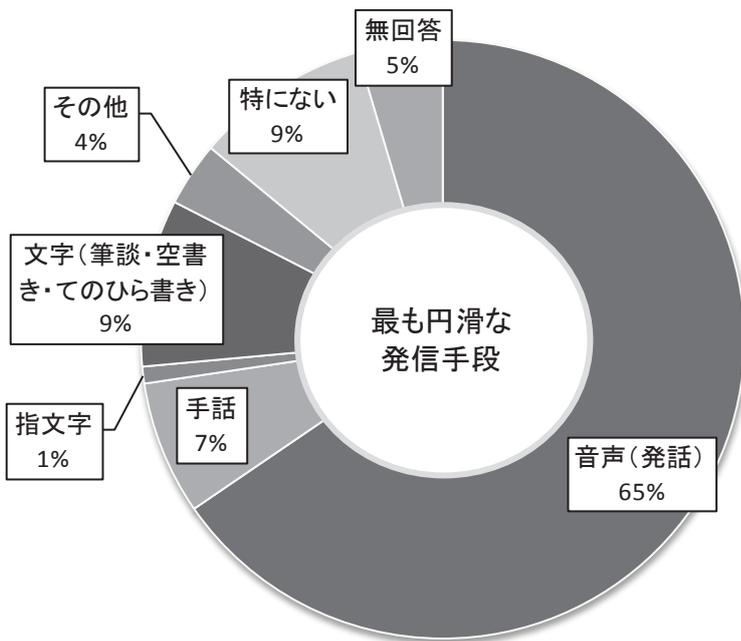
「音声（発話）」が最も高く 65.4%。

- ・次いで、「文字（筆談・空書き・てのひら書き）」9.0%、「手話」7.2%と続く。
- ・「指文字」が最も低く 0.9%となっている。

表 2-2-5b 最も円滑な発信コミュニケーション方法

	人数	割合
音声（発話）	1795	65.4%
手話	198	7.2%
指文字	25	0.9%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	248	9.0%
その他	95	3.5%
特にない	258	9.4%
無回答	125	4.6%
合計	2744	100.0%

図 2-2-5 最も円滑な発信コミュニケーション方法



## (6) 可能および最も円滑な受信コミュニケーション方法

### ■ 可能な受信コミュニケーション方法

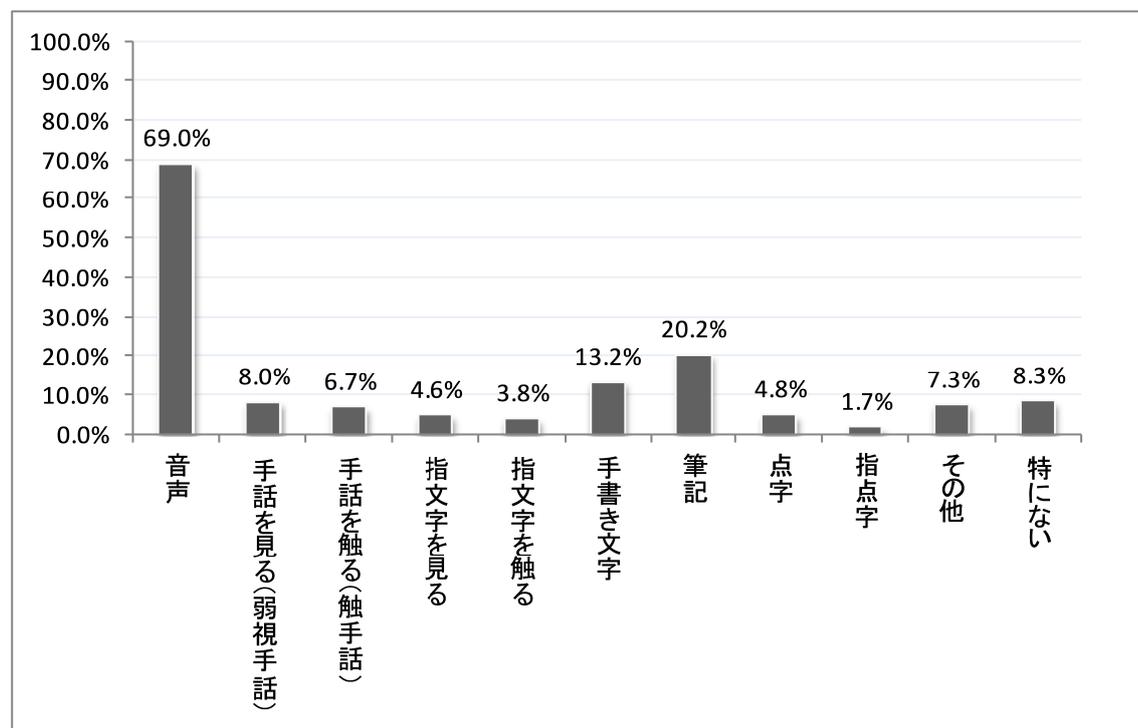
可能な受信コミュニケーション方法では、「音声」の割合が最も高く 69.0%。

・次いで、「筆記」20.2%、「手書き文字」13.2%となっている。

表 2-2-6a 可能な受信コミュニケーション方法

	人数	割合
音声	1870	69.0%
手話を見る(弱視手話)	218	8.0%
手話を触る(触手話)	182	6.7%
指文字を見る	126	4.6%
指文字を触る	103	3.8%
手書き文字	358	13.2%
筆記	549	20.2%
点字	131	4.8%
指点字	45	1.7%
その他	198	7.3%
特にない	225	8.3%

図 2-2-6 可能な受信コミュニケーション



■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法

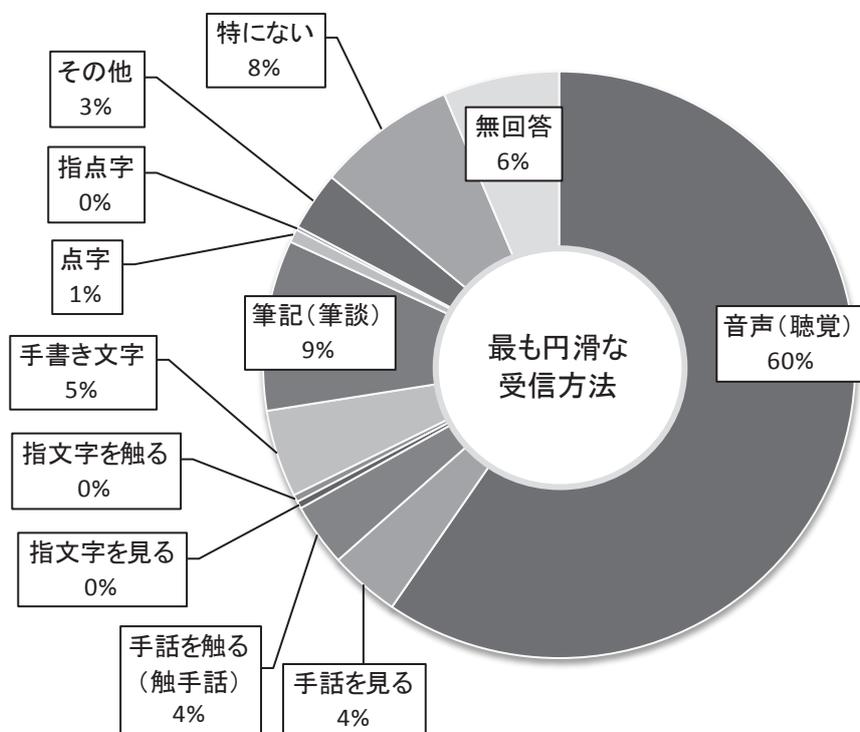
「音声（聴覚）」が最も高く 59.5%。

- ・次いで、「筆記（筆談）」9.4%、「手書き文字」4.8%と続く。
- ・指点字が最も低く 0.2%となっている。

表 2-2-6b 最も円滑な受信コミュニケーション方法

	人数	割合
音声（聴覚）	1634	59.5%
手話を見る	106	3.9%
手話を触る（触手話）	95	3.5%
指文字を見る	11	0.4%
指文字を触る	11	0.4%
手書き文字	132	4.8%
筆記（筆談）	258	9.4%
点字	20	0.7%
指点字	5	0.2%
その他	89	3.2%
特にない	209	7.6%
無回答	174	6.3%
合計	2744	100.0%

図 2-2-7 最も円滑な受信コミュニケーション方法



(7) 性別、年齢階層(3段階)、視覚・聴覚障害等級の組み合わせ(4分類) - 自治体

■ 都道府県と性別のクロス

**回答者の多い上位3都道府県は大阪府、東京都、北海道である。**

- ・回答者の少ない上位3都道府県は茨城県、滋賀県、京都府である。
- ・男女比に30%以上差がある都道府県は岩手県、宮城県、茨城県、富山県、滋賀県、京都府、香川県、高知県となっている。

表 2-2-7a 都道府県と性別のクロス

	総計	男性	女性		総計	男性	女性
総計	2744	1205	1539	京都府	3	1	2
	100.0%	43.9%	56.1%		100.0%	33.3%	66.7%
北海道	192	70	122	大阪府	271	106	165
	100.0%	36.5%	63.5%		100.0%	39.1%	60.9%
青森県	43	18	25	兵庫県	105	47	58
	100.0%	41.9%	58.1%		100.0%	44.8%	55.2%
岩手県	33	22	11	奈良県	27	16	11
	100.0%	66.7%	33.3%		100.0%	59.3%	40.7%
宮城県	28	9	19	和歌山県	14	7	7
	100.0%	32.1%	67.9%		100.0%	50.0%	50.0%
秋田県	21	12	9	鳥取県	13	6	7
	100.0%	57.1%	42.9%		100.0%	46.2%	53.8%
福島県	53	24	29	島根県	37	21	16
	100.0%	45.3%	54.7%		100.0%	56.8%	43.2%
茨城県	2	0	2	岡山県	54	25	29
	100.0%	0.0%	100.0%		100.0%	46.3%	53.7%
栃木県	56	29	27	広島県	85	38	47
	100.0%	51.8%	48.2%		100.0%	44.7%	55.3%
群馬県	20	8	12	山口県	16	6	10
	100.0%	40.0%	60.0%		100.0%	37.5%	62.5%
埼玉県	72	34	38	徳島県	18	8	10
	100.0%	47.2%	52.8%		100.0%	44.4%	55.6%
千葉県	70	37	33	香川県	43	14	29
	100.0%	52.9%	47.1%		100.0%	32.6%	67.4%
東京都	236	111	125	愛媛県	27	14	13
	100.0%	47.0%	53.0%		100.0%	51.9%	48.1%
神奈川県	155	73	82	高知県	19	5	14
	100.0%	47.1%	52.9%		100.0%	26.3%	73.7%
新潟県	66	26	40	福岡県	186	70	116
	100.0%	39.4%	60.6%		100.0%	37.6%	62.4%
富山県	43	15	28	佐賀県	26	10	16
	100.0%	34.9%	65.1%		100.0%	38.5%	61.5%
石川県	17	10	7	長崎県	77	32	45
	100.0%	58.8%	41.2%		100.0%	41.6%	58.4%
福井県	39	20	19	熊本県	58	22	36
	100.0%	51.3%	48.7%		100.0%	37.9%	62.1%
長野県	38	18	20	大分県	60	24	36
	100.0%	47.4%	52.6%		100.0%	40.0%	60.0%
岐阜県	49	25	24	宮崎県	45	21	24
	100.0%	51.0%	49.0%		100.0%	46.7%	53.3%
静岡県	49	23	26	鹿児島県	82	40	42
	100.0%	46.9%	53.1%		100.0%	48.8%	51.2%
愛知県	88	39	49	沖縄県	43	23	20
	100.0%	44.3%	55.7%		100.0%	53.5%	46.5%
三重県	36	17	19	無回答	27	9	18
	100.0%	47.2%	52.8%		100.0%	33.3%	66.7%
滋賀県	2	0	2				
	100.0%	0.0%	100.0%				

■ 都道府県と年齢階層（3段階）のクロス

表 2-2-7b 都道府県と年齢階層（3段階）のクロス

	総計	年少人口	生産年齢人口	老年人口	無回答
総計	2744 100.0%	42 1.5%	684 24.9%	2017 73.5%	1 0.0%
北海道	192 100.0%	1 0.5%	35 18.2%	156 81.3%	0 0.0%
青森県	43 100.0%	0 0.0%	10 23.3%	33 76.7%	0 0.0%
岩手県	33 100.0%	0 0.0%	11 33.3%	22 66.7%	0 0.0%
宮城県	28 100.0%	0 0.0%	10 35.7%	18 64.3%	0 0.0%
秋田県	21 100.0%	0 0.0%	7 33.3%	14 66.7%	0 0.0%
福島県	53 100.0%	1 1.9%	13 24.5%	39 73.6%	0 0.0%
茨城県	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
栃木県	56 100.0%	0 0.0%	11 19.6%	45 80.4%	0 0.0%
群馬県	20 100.0%	1 5.0%	3 15.0%	16 80.0%	0 0.0%
埼玉県	72 100.0%	4 5.6%	23 31.9%	45 62.5%	0 0.0%
千葉県	70 100.0%	1 1.4%	15 21.4%	54 77.1%	0 0.0%
東京都	236 100.0%	5 2.1%	70 29.7%	160 67.8%	1 0.4%
神奈川県	155 100.0%	4 2.6%	48 31.0%	103 66.5%	0 0.0%
新潟県	66 100.0%	3 4.5%	21 31.8%	42 63.6%	0 0.0%
富山県	43 100.0%	0 0.0%	6 14.0%	37 86.0%	0 0.0%
石川県	17 100.0%	0 0.0%	5 29.4%	12 70.6%	0 0.0%
福井県	39 100.0%	0 0.0%	11 28.2%	28 71.8%	0 0.0%
長野県	38 100.0%	1 2.6%	10 26.3%	27 71.1%	0 0.0%
岐阜県	49 100.0%	1 2.0%	18 36.7%	30 61.2%	0 0.0%
静岡県	49 100.0%	3 6.1%	12 24.5%	34 69.4%	0 0.0%
愛知県	88 100.0%	3 3.4%	28 31.8%	57 64.8%	0 0.0%
三重県	36 100.0%	0 0.0%	7 19.4%	29 80.6%	0 0.0%
滋賀県	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

	総計	年少人口	生産年齢人口	老年人口	無回答
京都府	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
大阪府	271 100.0%	3 1.1%	58 21.4%	210 77.5%	0 0.0%
兵庫県	105 100.0%	2 1.9%	26 24.8%	77 73.3%	0 0.0%
奈良県	27 100.0%	0 0.0%	11 40.7%	16 59.3%	0 0.0%
和歌山県	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	0 0.0%
鳥取県	13 100.0%	1 7.7%	3 23.1%	9 69.2%	0 0.0%
島根県	37 100.0%	0 0.0%	7 18.9%	30 81.1%	0 0.0%
岡山県	54 100.0%	2 3.7%	10 18.5%	42 77.8%	0 0.0%
広島県	85 100.0%	0 0.0%	15 17.6%	70 82.4%	0 0.0%
山口県	16 100.0%	0 0.0%	4 25.0%	12 75.0%	0 0.0%
徳島県	18 100.0%	0 0.0%	3 16.7%	15 83.3%	0 0.0%
香川県	43 100.0%	0 0.0%	12 27.9%	31 72.1%	0 0.0%
愛媛県	27 100.0%	1 3.7%	4 14.8%	22 81.5%	0 0.0%
高知県	19 100.0%	0 0.0%	4 21.1%	15 78.9%	0 0.0%
福岡県	186 100.0%	4 2.2%	47 25.3%	135 72.6%	0 0.0%
佐賀県	26 100.0%	1 3.8%	4 15.4%	21 80.8%	0 0.0%
長崎県	77 100.0%	0 0.0%	14 18.2%	63 81.8%	0 0.0%
熊本県	58 100.0%	0 0.0%	16 27.6%	42 72.4%	0 0.0%
大分県	60 100.0%	0 0.0%	11 18.3%	49 81.7%	0 0.0%
宮崎県	45 100.0%	0 0.0%	16 35.6%	29 64.4%	0 0.0%
鹿児島県	82 100.0%	0 0.0%	21 25.6%	61 74.4%	0 0.0%
沖縄県	43 100.0%	0 0.0%	17 39.5%	26 60.5%	0 0.0%
無回答	27 100.0%	0 0.0%	4 14.8%	23 85.2%	0 0.0%

## ■ 都道府県と視聴覚障害組み合わせ（等級）のクロス

**総計では「視覚1・2級、聴覚1・2級」の回答者が最も高く31.3%となっている。**

- ・各障害組み合わせで割合の高い上位3位の都道府県は「視覚1級・2級、聴覚1級・2級」茨城県100%、福島県58.5%、石川県52.9%、「視覚1・2級、聴覚3-6級」奈良県51.9%、滋賀県50.0%、静岡県42.9%、「視覚3-6級、聴覚1・2級」山口県25.0%、和歌山県21.4%、高知県10.5%、「視覚3-6級、聴覚3-6級」和歌山県35.7%、富山県34.9%、岩手県、京都府33.3%となっている。
- ・各障害組み合わせで割合の高い下位3位の都道府県は「視覚1級・2級、聴覚1級・2級」京都府0.0%、山口県6.3%、鳥取県15.4%、「視覚1・2級、聴覚3-6級」茨城県、石川県0.0%、熊本県10.3%、高知県10.5%、「視覚3-6級、聴覚1・2級」宮城県、秋田県、福島県、茨城県、滋賀県、京都府、奈良県、鳥取県、徳島県、熊本県、宮崎県0.0%、長崎県1.3%、埼玉県1.4%、「視覚3-6級、聴覚3-6級」茨城県、滋賀県0.0%、富山県34.9%、岩手県、京都府33.3%となっている。

表 2-2-7c 都道府県と視聴覚障害組み合わせ（等級）のクロス

	総計	視覚1・2級 聴覚1・2級	視覚1・2級 聴覚3-6級	視覚3-6級 聴覚1・2級	視覚3-6級 聴覚3-6級	無回答
総計	2744 100.0%	860 31.3%	762 27.8%	141 5.1%	602 21.9%	379 13.8%
北海道	192 100.0%	51 26.6%	50 26.0%	16 8.3%	39 20.3%	36 18.8%
青森県	43 100.0%	15 34.9%	13 30.2%	3 7.0%	9 20.9%	3 7.0%
岩手県	33 100.0%	6 18.2%	13 39.4%	2 6.1%	11 33.3%	1 3.0%
宮城県	28 100.0%	12 42.9%	5 17.9%	0 0.0%	6 21.4%	5 17.9%
秋田県	21 100.0%	9 42.9%	5 23.8%	0 0.0%	4 19.0%	3 14.3%
福島県	53 100.0%	31 58.5%	8 15.1%	0 0.0%	4 7.5%	10 18.9%
茨城県	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
栃木県	56 100.0%	21 37.5%	8 14.3%	3 5.4%	11 19.6%	13 23.2%
群馬県	20 100.0%	8 40.0%	6 30.0%	1 5.0%	2 10.0%	3 15.0%
埼玉県	72 100.0%	31 43.1%	14 19.4%	1 1.4%	12 16.7%	14 19.4%
千葉県	70 100.0%	17 24.3%	24 34.3%	5 7.1%	16 22.9%	8 11.4%
東京都	236 100.0%	66 28.0%	81 34.3%	14 5.9%	57 24.2%	18 7.6%
神奈川県	155 100.0%	37 23.9%	61 39.4%	12 7.7%	35 22.6%	10 6.5%
新潟県	66 100.0%	20 30.3%	21 31.8%	5 7.6%	12 18.2%	8 12.1%
富山県	43 100.0%	11 25.6%	14 32.6%	1 2.3%	15 34.9%	2 4.7%
石川県	17 100.0%	9 52.9%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	6 35.3%
福井県	39 100.0%	11 28.2%	6 15.4%	1 2.6%	10 25.6%	11 28.2%
長野県	38 100.0%	10 26.3%	10 26.3%	1 2.6%	11 28.9%	6 15.8%
岐阜県	49 100.0%	18 36.7%	14 28.6%	2 4.1%	8 16.3%	7 14.3%
静岡県	49 100.0%	12 24.5%	21 42.9%	4 8.2%	11 22.4%	1 2.0%
愛知県	88 100.0%	33 37.5%	22 25.0%	7 8.0%	16 18.2%	10 11.4%
三重県	36 100.0%	13 36.1%	11 30.6%	1 2.8%	6 16.7%	5 13.9%
滋賀県	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

	総計	視覚1・2級 聴覚1・2級	視覚1・2級 聴覚3-6級	視覚3-6級 聴覚1・2級	視覚3-6級 聴覚3-6級	無回答
京都府	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
大阪府	271 100.0%	72 26.6%	78 28.8%	18 6.6%	77 28.4%	26 9.6%
兵庫県	105 100.0%	32 30.5%	26 24.8%	4 3.8%	21 20.0%	22 21.0%
奈良県	27 100.0%	7 25.9%	14 51.9%	0 0.0%	5 18.5%	1 3.7%
和歌山県	14 100.0%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	5 35.7%	0 0.0%
鳥取県	13 100.0%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%
島根県	37 100.0%	14 37.8%	7 18.9%	2 5.4%	11 29.7%	3 8.1%
岡山県	54 100.0%	10 18.5%	21 38.9%	2 3.7%	12 22.2%	9 16.7%
広島県	85 100.0%	26 30.6%	22 25.9%	4 4.7%	20 23.5%	13 15.3%
山口県	16 100.0%	1 6.3%	6 37.5%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%
徳島県	18 100.0%	6 33.3%	5 27.8%	0 0.0%	4 22.2%	3 16.7%
香川県	43 100.0%	15 34.9%	13 30.2%	3 7.0%	7 16.3%	5 11.6%
愛媛県	27 100.0%	7 25.9%	11 40.7%	1 3.7%	5 18.5%	3 11.1%
高知県	19 100.0%	9 47.4%	2 10.5%	2 10.5%	5 26.3%	1 5.3%
福岡県	186 100.0%	65 34.9%	47 25.3%	4 2.2%	37 19.9%	33 17.7%
佐賀県	26 100.0%	10 38.5%	4 15.4%	1 3.8%	6 23.1%	5 19.2%
長崎県	77 100.0%	26 33.8%	20 26.0%	1 1.3%	19 24.7%	11 14.3%
熊本県	58 100.0%	26 44.8%	6 10.3%	0 0.0%	9 15.5%	17 29.3%
大分県	60 100.0%	21 35.0%	11 18.3%	3 5.0%	14 23.3%	11 18.3%
宮崎県	45 100.0%	12 26.7%	19 42.2%	0 0.0%	7 15.6%	7 15.6%
鹿児島県	82 100.0%	28 34.1%	18 22.0%	5 6.1%	19 23.2%	12 14.6%
沖縄県	43 100.0%	12 27.9%	13 30.2%	3 7.0%	9 20.9%	6 14.0%
無回答	27 100.0%	12 44.4%	2 7.4%	1 3.7%	6 22.2%	6 22.2%

## 2. 回答者

### (1) 回答者

#### ■ 年齢階級と回答者のクロス

##### 「意見を聞いて本人以外が代筆」が最も高く 32.5%

- ・次いで、「本人」26.1%、「意向をくみ取って、本人以外が記入」25.8%となっている。
- ・「本人」では高い割合上位3は「40歳代」46.8%、「30歳代」43.4%、「50歳代」35.8%となっている。
- ・「意見を聞いて、本人以外が代筆」では高い割合上位3は「80歳代」38.6%、「70歳代」35.1%、「60歳代」34.7%となっている。
- ・「本人の意向をくみ取って、本人以外が記入」では「10歳未満」70.8%、「10歳代」70.0%、「20歳代」43.1%となっている。

表 2-2-8a 年齢階級と回答者のクロス

	総 数	本 人	本 意 人 見 以 外 を 聞 が い て 、 代 筆	記 て 意 入 、 向 本 を 人 く 以 み 外 取 が つ	無 回 答
総数	2744 100.0%	716 26.1%	892 32.5%	707 25.8%	429 15.6%
10歳未満	24 100.0%	1 4.2%	3 12.5%	17 70.8%	3 12.5%
10歳代	30 100.0%	3 10.0%	2 6.7%	21 70.0%	4 13.3%
20歳代	51 100.0%	16 31.4%	10 19.6%	22 43.1%	3 5.9%
30歳代	76 100.0%	33 43.4%	13 17.1%	21 27.6%	9 11.8%
40歳代	126 100.0%	59 46.8%	23 18.3%	22 17.5%	22 17.5%
50歳代	226 100.0%	81 35.8%	72 31.9%	49 21.7%	24 10.6%
60歳代	426 100.0%	147 34.5%	148 34.7%	80 18.8%	51 12.0%
70歳代	724 100.0%	200 27.6%	254 35.1%	141 19.5%	129 17.8%
80歳代	779 100.0%	144 18.5%	301 38.6%	200 25.7%	134 17.2%
90歳以上	282 100.0%	32 11.3%	66 23.4%	134 47.5%	50 17.7%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と回答者のクロス

**「本人」の中では「視覚3-6級、聴覚3-6級」が最も高く40.9%**

・「視覚3-6級、聴覚1・2級」、「視覚3-6級、聴覚3-6級」では「本人」35.5%、40.9%がそれぞれ最も高いが、「視覚1・2級、聴覚1・2級」では「意見を聞いて、本人以外が代筆」30.8%が最も高く、「視覚1・2級、聴覚3-6級」では「意向をくみ取って、本人以外が記入」の31.4%となっており、本人が記入と本人以外が代筆・記入の最も高いの境目は「視覚1・2級、聴覚3-6級」となっている。

表 2-2-8b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と回答者のクロス

	総 数	本 人	本 意 人 見 以 外 を 聞 が い て 、 代 筆	記 て 意 入 、 向 本 を 人 く 以 み 外 取 が つ	無 回 答
総数	2744 100.0%	716 26.1%	892 32.5%	707 25.8%	429 15.6%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	193 22.4%	265 30.8%	270 31.4%	132 15.3%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	159 20.9%	311 40.8%	172 22.6%	120 15.7%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	50 35.5%	38 27.0%	35 24.8%	18 12.8%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	246 40.9%	158 26.2%	111 18.4%	87 14.5%
無回答	379 100.0%	68 17.9%	120 31.7%	119 31.4%	72 19.0%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と回答者のクロス

**「弱視ろう」と「本人」の組み合わせが最も高く 51.2%**

- ・「全盲難聴」の中では「意見を聞いて、本人以外が代筆」が最も高く 41.9%となっている。
- ・「全盲ろう」の中では「意向をくみ取って、本人以外が記入」が最も高く 45.8%となっている。

表 2-2-8c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と回答者のクロス

	総 数	本 人	本 人 意 見 以 外 が 代 筆	本 人 意 向 を く み 取 っ て 、 記 入	無 回 答
総数	2744 100.0%	716 26.1%	892 32.5%	707 25.8%	429 15.6%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	193 22.4%	265 30.8%	270 31.4%	132 15.3%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	159 20.9%	311 40.8%	172 22.6%	120 15.7%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	50 35.5%	38 27.0%	35 24.8%	18 12.8%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	246 40.9%	158 26.2%	111 18.4%	87 14.5%
無回答	379 100.0%	68 17.9%	120 31.7%	119 31.4%	72 19.0%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と回答者のクロス

**「盲ベース」と「本人」の組み合わせが最も高く39.9%**

- ・「ろうベース」の中では回答者間の差が最も小さく、「本人」29.0%、「意見を聞いて、本人以外が代筆」30.7%、「意向をくみ取って、本人以外が記入」27.8%となっている。
- ・「意見を聞いて、本人以外が代筆」において、「先天性」19.2%を除き「盲ベース」31.5%、「ろうベース」30.7%、「後天性（成人期）」35.1%、「後天性（高齢期）」37.7%と30%を超えている。

表 2-2-8d 視聴覚障害経緯（5分類）と回答者のクロス

	総数	本人	本人見 以外を 代筆 がいて、	本人向 以外を くみ取 って、	無 回 答
総数	2744 100.0%	716 26.1%	892 32.5%	707 25.8%	429 15.6%
先天性	219 100.0%	50 22.8%	42 19.2%	87 39.7%	40 18.3%
盲ベース	143 100.0%	57 39.9%	45 31.5%	27 18.9%	14 9.8%
ろうベース	335 100.0%	97 29.0%	103 30.7%	93 27.8%	42 12.5%
後天性（成人期）	1503 100.0%	410 27.3%	527 35.1%	336 22.4%	230 15.3%
後天性（高齢期）	276 100.0%	41 14.9%	104 37.7%	76 27.5%	55 19.9%
無回答	268 100.0%	61 22.8%	71 26.5%	88 32.8%	48 17.9%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と回答者のクロス

「意見を聞いて、本人以外が代筆」と「音声（発話）」の組み合わせが最も高く 38.7%

・「本人」、「意向をくみ取って、本人以外が記入」の中では、全ての発信コミュニケーション方法で 20%を超えている。

表 2-2-8e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と回答者のクロス

	総 数	本 人	本 意 人 以 外 が 代 筆	本 意 人 以 外 が 記 入	無 回 答
総数	2744 100.0%	716 26.1%	892 32.5%	707 25.8%	429 15.6%
音声（発話）	1795 100.0%	424 23.6%	695 38.7%	435 24.2%	241 13.4%
手話	198 100.0%	59 29.8%	67 33.8%	45 22.7%	27 13.6%
指文字	25 100.0%	5 20.0%	4 16.0%	7 28.0%	9 36.0%
文字（筆談・ 空書き・ての ひら書き）	248 100.0%	79 31.9%	49 19.8%	74 29.8%	46 18.5%
その他	95 100.0%	11 11.6%	11 11.6%	60 63.2%	13 13.7%
特にない	258 100.0%	91 35.3%	47 18.2%	57 22.1%	63 24.4%
無回答	125 100.0%	47 37.6%	19 15.2%	29 23.2%	30 24.0%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と回答者のクロス

「筆記（筆談）」の中では「本人」が最も高く48.1%

- ・「意向をくみ取って、本人以外が記入」の中では「手書き文字」が最も高く51.5%となっている。
- ・「意見を聞いて、本人以外が代筆」では「筆談（筆記）」の18.6%を除き、全てのもっとも円滑な受信コミュニケーション方法において20%を超えている。

表 2-2-8f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と回答者のクロス

	総数	本人	本人意見を聞いて、 本人以外が代筆	本人意向をくみ取って、 本人以外が記入	無回答
総数	2744 100.0%	716 26.1%	892 32.5%	707 25.8%	429 15.6%
音声（聴覚）	1634 100.0%	370 22.6%	638 39.0%	390 23.9%	236 14.4%
手話を見る	106 100.0%	48 45.3%	26 24.5%	16 15.1%	16 15.1%
手話を触る （触手話）	95 100.0%	13 13.7%	39 41.1%	31 32.6%	12 12.6%
指文字を見る	11 100.0%	4 36.4%	4 36.4%	3 27.3%	0 0.0%
指文字を触る	11 100.0%	2 18.2%	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%
手書き文字	132 100.0%	11 8.3%	31 23.5%	68 51.5%	22 16.7%
筆記（筆談）	258 100.0%	124 48.1%	48 18.6%	56 21.7%	30 11.6%
点字・指点字	25 100.0%	10 40.0%	8 32.0%	7 28.0%	0 0.0%
その他	89 100.0%	12 13.5%	12 13.5%	51 57.3%	14 15.7%
特にない	209 100.0%	61 29.2%	39 18.7%	53 25.4%	56 26.8%
無回答	174 100.0%	61 35.1%	43 24.7%	30 17.2%	40 23.0%

## (2) 回答代行者

### ■ 年齢階級と回答代行者のクロス

#### 「子」が最も高く 35.5%

- ・「子」では「70歳代」30.5%を境に割合が高くなり、「80歳代」57.0%、「90歳以上」61.9%となっている。
- ・「配偶者」の中では「60歳代」20.0%、「70歳代」19.9%、「50歳代」14.3%が上位3となっている。
- ・「親」では「10歳未満-10歳代」はいずれも100.0%となっており、「40歳代」では過半数の68.2%、「60歳代-70歳代」および「90歳以上」では0.0%となっており、「60歳代」を境に低くなっていく。

表 2-2-9a 年齢階級と回答代行者のクロス

	総数	配偶者	親	子	兄弟姉妹	親戚	ホームヘルパー	通訳・介助員	施設職員	友人・知人	その他	無回答
総数	707	77	100	251	64	15	11	14	116	4	48	7
	100.0%	10.9%	14.1%	35.5%	9.1%	2.1%	1.6%	2.0%	16.4%	0.6%	6.8%	1.0%
10歳未満	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10歳代	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	22	0	19	0	1	0	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	86.4%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	21	0	18	0	1	0	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	85.7%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代	22	2	15	0	0	0	1	0	3	0	1	0
	100.0%	9.1%	68.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%
50歳代	49	7	9	3	10	0	1	4	13	0	1	1
	100.0%	14.3%	18.4%	6.1%	20.4%	0.0%	2.0%	8.2%	26.5%	0.0%	2.0%	2.0%
60歳代	80	16	0	8	25	2	1	4	17	1	5	1
	100.0%	20.0%	0.0%	10.0%	31.3%	2.5%	1.3%	5.0%	21.3%	1.3%	6.3%	1.3%
70歳代	141	28	0	43	20	8	2	5	23	3	9	0
	100.0%	19.9%	0.0%	30.5%	14.2%	5.7%	1.4%	3.5%	16.3%	2.1%	6.4%	0.0%
80歳代	200	20	1	114	6	3	4	1	30	0	17	4
	100.0%	10.0%	0.5%	57.0%	3.0%	1.5%	2.0%	0.5%	15.0%	0.0%	8.5%	2.0%
90歳以上	134	4	0	83	1	2	2	0	26	0	15	1
	100.0%	3.0%	0.0%	61.9%	0.7%	1.5%	1.5%	0.0%	19.4%	0.0%	11.2%	0.7%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と回答代行者のクロス

「視覚3-6、聴覚3-6」と「子」の組み合わせが最も高く49.5%

・「子」の中では「視覚1・2級、聴覚1・2級」26.7%、「視覚1・2級、聴覚3-6級」14.0%、「視覚3-6級、聴覚1・2級」31.4%となっており、他の回答代行者と比べて最も高くなっている。

表 2-2-9b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と回答代行者のクロス

	総数	配偶者	親	子	兄弟姉妹	親戚	ホームヘルパー	通訳・介助員	施設職員	友人・知人	その他	無回答
総数	707	77	100	251	64	15	11	14	116	4	48	7
	100.0%	10.9%	14.1%	35.5%	9.1%	2.1%	1.6%	2.0%	16.4%	0.6%	6.8%	1.0%
視覚1・2級	270	24	45	72	31	8	7	11	50	1	19	2
聴覚1・2級	100.0%	8.9%	16.7%	26.7%	11.5%	3.0%	2.6%	4.1%	18.5%	0.4%	7.0%	0.7%
視覚1・2級	172	26	24	74	10	1	1	3	22	1	10	0
聴覚3-6級	100.0%	15.1%	14.0%	43.0%	5.8%	0.6%	0.6%	1.7%	12.8%	0.6%	5.8%	0.0%
視覚3-6級	35	1	8	11	5	0	0	0	6	0	2	2
聴覚1・2級	100.0%	2.9%	22.9%	31.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	0.0%	5.7%	5.7%
視覚3-6級	111	11	14	55	4	3	2	0	12	1	9	0
聴覚3-6級	100.0%	9.9%	12.6%	49.5%	3.6%	2.7%	1.8%	0.0%	10.8%	0.9%	8.1%	0.0%
無回答	119	15	9	39	14	3	1	0	26	1	8	3
	100.0%	12.6%	7.6%	32.8%	11.8%	2.5%	0.8%	0.0%	21.8%	0.8%	6.7%	2.5%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と回答代行者のクロス

「子」の割合が全ての障害組み合わせにおいて最も高く、「全盲ろう」21.1%、「全盲難聴」42.9%、「弱視ろう」28.1%、「弱視難聴」47.6%

・「全盲ろう」の中では「親」20.0%、「兄弟姉妹」15.5%、「全盲難聴」の中では「親」10.2%、「兄弟姉妹」5.7%、「弱視ろう」の中では「親」18.8%、「兄弟姉妹」18.8%、「弱視難聴」中では「親」13.3%、「兄弟姉妹」4.8%となっており、視聴覚障害組み合わせ間の割合の増減が類似している。

表 2-2-9c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と回答代行者のクロス

	総数	配偶者	親	子	兄弟姉妹	親戚	ホームヘルパー	通訳・介助員	施設職員	友人・知人	その他	無回答
総数	707	77	100	251	64	15	11	14	116	4	48	7
	100.0%	10.9%	14.1%	35.5%	9.1%	2.1%	1.6%	2.0%	16.4%	0.6%	6.8%	1.0%
全盲ろう	200	16	40	42	31	6	0	10	39	0	12	4
	100.0%	8.0%	20.0%	21.0%	15.5%	3.0%	0.0%	5.0%	19.5%	0.0%	6.0%	2.0%
全盲難聴	333	43	34	143	19	5	6	2	52	1	26	2
	100.0%	12.9%	10.2%	42.9%	5.7%	1.5%	1.8%	0.6%	15.6%	0.3%	7.8%	0.6%
弱視ろう	32	2	6	9	6	1	0	2	6	0	0	0
	100.0%	6.3%	18.8%	28.1%	18.8%	3.1%	0.0%	6.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
弱視難聴	105	12	14	50	5	2	4	0	10	2	5	1
	100.0%	11.4%	13.3%	47.6%	4.8%	1.9%	3.8%	0.0%	9.5%	1.9%	4.8%	1.0%
無回答	37	4	6	7	3	1	1	0	9	1	5	0
	100.0%	10.8%	16.2%	18.9%	8.1%	2.7%	2.7%	0.0%	24.3%	2.7%	13.5%	0.0%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と回答代行者のクロス

**「先天性」と「親」の組み合わせが最も高く 66.7%**

- ・「後天性（成人期）」「後天性（高齢期）」では「子」の割合が高く、「後天性（成人期）」47.9%、「後天性（高齢期）」68.4%となっている。
- ・「兄弟姉妹」の中では「ろうベース」が最も高く 21.5%となっており、次いで、「盲ベース」14.8%となっている。
- ・「通訳・介助員」の中では「ろうベース」11.8%が最も高くなっている。

表 2-2-9d 視聴覚障害経緯（5分類）と回答代行者のクロス

	総数	配偶者	親	子	兄弟姉妹	親戚	ホームヘルパー	通訳・介助員	施設職員	友人・知人	その他	無回答
総数	707 100.0%	77 10.9%	100 14.1%	251 35.5%	64 9.1%	15 2.1%	11 1.6%	14 2.0%	116 16.4%	4 0.6%	48 6.8%	7 1.0%
先天性	87 100.0%	0 0.0%	58 66.7%	1 1.1%	8 9.2%	2 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	17 19.5%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%
盲ベース	27 100.0%	5 18.5%	4 14.8%	3 11.1%	4 14.8%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	4 14.8%	0 0.0%	5 18.5%	0 0.0%
ろうベース	93 100.0%	9 9.7%	19 20.4%	9 9.7%	20 21.5%	5 5.4%	0 0.0%	11 11.8%	13 14.0%	0 0.0%	6 6.5%	1 1.1%
後天性（成人期）	336 100.0%	47 14.0%	14 4.2%	161 47.9%	27 8.0%	5 1.5%	7 2.1%	3 0.9%	42 12.5%	4 1.2%	23 6.8%	3 0.9%
後天性（高齢期）	76 100.0%	8 10.5%	0 0.0%	52 68.4%	0 0.0%	1 1.3%	3 3.9%	0 0.0%	6 7.9%	0 0.0%	5 6.6%	1 1.3%
無回答	88 100.0%	8 9.1%	5 5.7%	25 28.4%	5 5.7%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	34 38.6%	0 0.0%	8 9.1%	2 2.3%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と回答代行者のクロス

「文字（筆談・空書き・てのひら書き）」と「子」の組み合わせが最も高く 32.4%

・「通訳・介助員」の中では「手話」が最も高く 22.2%となっている。

表 2-2-9e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と回答代行者のクロス

	総数	配偶者	親	子	兄弟姉妹	親戚	ホームヘルパー	通訳・介助員	施設職員	友人・知人	その他	無回答
総数	707 100.0%	77 10.9%	100 14.1%	251 35.5%	64 9.1%	15 2.1%	11 1.6%	14 2.0%	116 16.4%	4 0.6%	48 6.8%	7 1.0%
音声（発話）	435 100.0%	51 11.7%	30 6.9%	198 45.5%	26 6.0%	8 1.8%	11 2.5%	1 0.2%	69 15.9%	4 0.9%	31 7.1%	6 1.4%
手話	45 100.0%	4 8.9%	11 24.4%	7 15.6%	6 13.3%	1 2.2%	0 0.0%	10 22.2%	4 8.9%	0 0.0%	2 4.4%	0 0.0%
指文字	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	74 100.0%	4 5.4%	9 12.2%	24 32.4%	14 18.9%	4 5.4%	0 0.0%	3 4.1%	13 17.6%	0 0.0%	2 2.7%	1 1.4%
その他	60 100.0%	3 5.0%	25 41.7%	7 11.7%	6 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 26.7%	0 0.0%	3 5.0%	0 0.0%
特になし	57 100.0%	7 12.3%	14 24.6%	9 15.8%	7 12.3%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	12 21.1%	0 0.0%	7 12.3%	0 0.0%
無回答	29 100.0%	6 20.7%	9 31.0%	6 20.7%	4 13.8%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と回答代行者のクロス

「指文字を見る」と「親」の組み合わせが最も高く 66.7%となっており、次いで、「指文字を触る」と「親」の組み合わせ 50.0%

- ・「子」の中では「音声」46.2%が最も高く、次いで「筆記（筆談）」41.1%、「手話を触る（触手話）」32.3%と続く。
- ・「配偶者」の中では「指点字」が最も高く 42.9%となっている。

表 2-2-9f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と回答代行者のクロス

	総数	配偶者	親	子	兄弟姉妹	親戚	ホームヘルパー	通訳・介助員	施設職員	友人・知人	その他	無回答
総数	707	77	100	251	64	15	11	14	116	4	48	7
	100.0%	10.9%	14.1%	35.5%	9.1%	2.1%	1.6%	2.0%	16.4%	0.6%	6.8%	1.0%
音声（聴覚）	390	46	30	180	21	7	10	1	62	2	29	2
	100.0%	11.8%	7.7%	46.2%	5.4%	1.8%	2.6%	0.3%	15.9%	0.5%	7.4%	0.5%
手話を見る	16	2	6	3	4	0	0	1	0	0	0	0
	100.0%	12.5%	37.5%	18.8%	25.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手話を触る（触手話）	31	2	4	10	1	1	0	8	3	0	2	0
	100.0%	6.5%	12.9%	32.3%	3.2%	3.2%	0.0%	25.8%	9.7%	0.0%	6.5%	0.0%
指文字を見る	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指文字を触る	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手書き文字	68	5	4	15	13	3	0	2	18	0	5	3
	100.0%	7.4%	5.9%	22.1%	19.1%	4.4%	0.0%	2.9%	26.5%	0.0%	7.4%	4.4%
筆記（筆談）	56	5	8	23	8	3	1	1	6	0	1	0
	100.0%	8.9%	14.3%	41.1%	14.3%	5.4%	1.8%	1.8%	10.7%	0.0%	1.8%	0.0%
点字・指点字	7	3	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	100.0%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
その他	51	3	23	2	7	0	0	0	13	0	3	0
	100.0%	5.9%	45.1%	3.9%	13.7%	0.0%	0.0%	0.0%	25.5%	0.0%	5.9%	0.0%
特にない	53	5	14	9	6	1	0	0	11	0	6	1
	100.0%	9.4%	26.4%	17.0%	11.3%	1.9%	0.0%	0.0%	20.8%	0.0%	11.3%	1.9%
無回答	30	6	6	8	3	0	0	1	2	2	1	1
	100.0%	20.0%	20.0%	26.7%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	6.7%	3.3%	3.3%

### 3. 住まい

#### (1) 住居の種類

##### ■ 年齢階級と住まいのクロス

**全ての年齢階級において持ち家を住まいとする割合が半数以上を占める**

- ・40歳代までは、民間賃貸住宅が2番目に割合の多い住まいとなっている。
- ・入所型施設は、50歳代以降より全体の1割から2割を占める。

表 2-2-10a 年齢階級と住まいのクロス

	総数	持ち家	民間賃貸住宅	公営住宅	社宅・ 寄宿舍等 の宿舎・ 職員の 寮	グループ ホーム ・ アパート ・ ホーム	入所型施設	その他	無回答
総数	2744 100.0%	1608 58.6%	285 10.4%	345 12.6%	10 0.4%	66 2.4%	351 12.8%	58 2.1%	21 0.8%
10歳未満	24 100.0%	14 58.3%	7 29.2%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	20 66.7%	8 26.7%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代	51 100.0%	31 60.8%	7 13.7%	5 9.8%	1 2.0%	2 3.9%	5 9.8%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	76 100.0%	47 61.8%	12 15.8%	7 9.2%	1 1.3%	2 2.6%	6 7.9%	0 0.0%	1 1.3%
40歳代	126 100.0%	74 58.7%	18 14.3%	18 14.3%	1 0.8%	1 0.8%	10 7.9%	4 3.2%	0 0.0%
50歳代	226 100.0%	132 58.4%	30 13.3%	33 14.6%	0 0.0%	2 0.9%	25 11.1%	4 1.8%	0 0.0%
60歳代	426 100.0%	241 56.6%	59 13.8%	67 15.7%	0 0.0%	6 1.4%	43 10.1%	7 1.6%	3 0.7%
70歳代	724 100.0%	422 58.3%	73 10.1%	123 17.0%	1 0.1%	7 1.0%	73 10.1%	16 2.2%	9 1.2%
80歳代	779 100.0%	478 61.4%	55 7.1%	78 10.0%	3 0.4%	27 3.5%	110 14.1%	21 2.7%	7 0.9%
90歳以上	282 100.0%	149 52.8%	16 5.7%	11 3.9%	2 0.7%	19 6.7%	78 27.7%	6 2.1%	1 0.4%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と住まいのクロス

表 2-2-10b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と住まいのクロス

	総数	持ち家	民間賃貸住宅	公営住宅	寄社 宿宅 舎等 の職 員寮 ・ 宿 舎	ムグ ル・ ケ ア プ ホ ー ム	入 所 型 施 設	そ の 他	無 回 答
総数	2744 100.0%	1608 58.6%	285 10.4%	345 12.6%	10 0.4%	66 2.4%	351 12.8%	58 2.1%	21 0.8%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	498 57.9%	79 9.2%	118 13.7%	2 0.2%	19 2.2%	119 13.8%	19 2.2%	6 0.7%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	460 60.4%	91 11.9%	89 11.7%	4 0.5%	14 1.8%	87 11.4%	15 2.0%	2 0.3%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	77 54.6%	22 15.6%	21 14.9%	0 0.0%	2 1.4%	14 9.9%	4 2.8%	1 0.7%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	372 61.8%	72 12.0%	69 11.5%	2 0.3%	20 3.3%	51 8.5%	10 1.7%	6 1.0%
無回答	379 100.0%	201 53.0%	21 5.5%	48 12.7%	2 0.5%	11 2.9%	80 21.1%	10 2.6%	6 1.6%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と住まいのクロス

表 2-2-10c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と住まいのクロス

	総数	持ち家	民間賃貸住宅	公営住宅	寄社 宿宅 舎等 の職 員寮 ・ 宿 舎	ムグ ル・ ケ ア プ ホ ー ム	入 所 型 施 設	そ の 他	無 回 答
総数	2744 100.0%	1608 58.6%	285 10.4%	345 12.6%	10 0.4%	66 2.4%	351 12.8%	58 2.1%	21 0.8%
全盲ろう	437 100.0%	235 53.8%	37 8.5%	61 14.0%	1 0.2%	5 1.1%	84 19.2%	9 2.1%	5 1.1%
全盲難聴	1130 100.0%	645 57.1%	106 9.4%	138 12.2%	3 0.3%	34 3.0%	174 15.4%	24 2.1%	6 0.5%
弱視ろう	211 100.0%	134 63.5%	18 8.5%	34 16.1%	1 0.5%	2 0.9%	18 8.5%	4 1.9%	0 0.0%
弱視難聴	722 100.0%	451 62.5%	90 12.5%	85 11.8%	4 0.6%	17 2.4%	52 7.2%	17 2.4%	6 0.8%
無回答	244 100.0%	143 58.6%	34 13.9%	27 11.1%	1 0.4%	8 3.3%	23 9.4%	4 1.6%	4 1.6%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と住まいのクロス

表 2-2-10d 視聴覚障害経緯（5分類）と住まいのクロス

	総数	持ち家	民間賃貸住宅	公営住宅	寄社 宿宅・ 舎等 の職 寮・ 舎・ 舎	ムグ ル・ ケ ア ホ ー ム	入 所 型 施 設	そ の 他	無 回 答
総数	2744 100.0%	1608 58.6%	285 10.4%	345 12.6%	10 0.4%	66 2.4%	351 12.8%	58 2.1%	21 0.8%
先天性	219 100.0%	110 50.2%	26 11.9%	36 16.4%	1 0.5%	7 3.2%	32 14.6%	6 2.7%	1 0.5%
盲ベース	143 100.0%	93 65.0%	15 10.5%	19 13.3%	0 0.0%	3 2.1%	11 7.7%	2 1.4%	0 0.0%
ろうベース	335 100.0%	197 58.8%	46 13.7%	48 14.3%	2 0.6%	1 0.3%	36 10.7%	4 1.2%	1 0.3%
後天性（成人期）	1503 100.0%	908 60.4%	160 10.6%	196 13.0%	4 0.3%	34 2.3%	162 10.8%	28 1.9%	11 0.7%
後天性（高齢期）	276 100.0%	163 59.1%	26 9.4%	23 8.3%	1 0.4%	10 3.6%	42 15.2%	8 2.9%	3 1.1%
無回答	268 100.0%	137 51.1%	12 4.5%	23 8.6%	2 0.7%	11 4.1%	68 25.4%	10 3.7%	5 1.9%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と住まいのクロス

表 2-2-10e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と住まいのクロス

	総 数	持 ち 家	民 間 賃 貸 住 宅	公 営 住 宅	社 宅 ・ 寄 宿 舎 等 の 職 員 寮 ・ 宿 舎	グ ル ー プ ケ ー プ ホ ー ム	入 所 型 施 設	そ の 他	無 回 答
総数	2744 100.0%	1608 58.6%	285 10.4%	345 12.6%	10 0.4%	66 2.4%	351 12.8%	58 2.1%	21 0.8%
音声（発話）	1795 100.0%	1052 58.6%	185 10.3%	211 11.8%	7 0.4%	56 3.1%	230 12.8%	45 2.5%	9 0.5%
手話	198 100.0%	110 55.6%	31 15.7%	38 19.2%	2 1.0%	0 0.0%	13 6.6%	4 2.0%	0 0.0%
指文字	25 100.0%	15 60.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%
文字（筆談・ 空書き・ての その他	248 100.0%	153 61.7%	17 6.9%	31 12.5%	1 0.4%	1 0.4%	38 15.3%	3 1.2%	4 1.6%
	95 100.0%	47 49.5%	7 7.4%	7 7.4%	0 0.0%	3 3.2%	30 31.6%	1 1.1%	0 0.0%
特にない	258 100.0%	148 57.4%	26 10.1%	38 14.7%	0 0.0%	6 2.3%	31 12.0%	3 1.2%	6 2.3%
無回答	125 100.0%	83 66.4%	17 13.6%	19 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.4%	1 0.8%	2 1.6%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と住まいのクロス

表 2-2-10f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と住まいのクロス

	総 数	持 ち 家	民 間 賃 貸 住 宅	公 営 住 宅	社 宅 ・ 寄 宿 舎 等 の 職 員 寮 ・ 宿 舎	グ ル ー プ ケ ア ホ ー ム	入 所 型 施 設	そ の 他	無 回 答
総数	2744 100.0%	1608 58.6%	285 10.4%	345 12.6%	10 0.4%	66 2.4%	351 12.8%	58 2.1%	21 0.8%
音声（聴覚）	1634 100.0%	960 58.8%	167 10.2%	197 12.1%	7 0.4%	46 2.8%	209 12.8%	39 2.4%	9 0.6%
手話を見る	106 100.0%	63 59.4%	17 16.0%	19 17.9%	2 1.9%	0 0.0%	4 3.8%	1 0.9%	0 0.0%
手話を触る （触手話）	95 100.0%	49 51.6%	10 10.5%	23 24.2%	0 0.0%	3 3.2%	7 7.4%	3 3.2%	0 0.0%
指文字を見る	11 100.0%	6 54.5%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
指文字を触る	11 100.0%	6 54.5%	1 9.1%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
手書き文字	132 100.0%	69 52.3%	7 5.3%	11 8.3%	0 0.0%	3 2.3%	35 26.5%	4 3.0%	3 2.3%
筆記（筆談）	258 100.0%	169 65.5%	22 8.5%	32 12.4%	1 0.4%	2 0.8%	28 10.9%	4 1.6%	0 0.0%
点字・指点字	25 100.0%	15 60.0%	3 12.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%
その他	89 100.0%	46 51.7%	8 9.0%	8 9.0%	0 0.0%	4 4.5%	22 24.7%	1 1.1%	0 0.0%
特にない	209 100.0%	114 54.5%	24 11.5%	27 12.9%	0 0.0%	6 2.9%	30 14.4%	3 1.4%	5 2.4%
無回答	174 100.0%	111 63.8%	24 13.8%	21 12.1%	0 0.0%	2 1.1%	11 6.3%	2 1.1%	3 1.7%

## (2) 同居者（複数回答）

### ■ 年齢階級と同居者（複数回答）のクロス

**「10歳代」と「親」の組み合わせが最も高く96.7%**

- ・「親」の中ではでは、「10歳代」から「40歳代」にかけて、50%以上となっている。
- ・「独居」の中では「40歳代」で10%を超え、「60歳代」から「80歳代」では20%を超えている。
- ・「夫婦」の中では「30歳代」で10%を超え、「60歳代」から「70歳代」では約50%となっている。

表 2-2-11a 年齢階級と同居者（複数回答）のクロス

	回答者総数	夫婦	親	子	兄弟姉妹	その他	独居
回答者総数	2279	946 41.5%	296 13.0%	671 29.4%	141 6.2%	124 5.4%	505 22.2%
10歳未満	23	2 8.7%	20 87.0%	1 4.3%	6 26.1%	1 4.3%	0 0.0%
10歳代	30	0 0.0%	29 96.7%	1 3.3%	12 40.0%	2 6.7%	0 0.0%
20歳代	44	1 2.3%	39 88.6%	0 0.0%	6 13.6%	2 4.5%	2 4.5%
30歳代	68	12 17.6%	47 69.1%	8 11.8%	7 10.3%	3 4.4%	6 8.8%
40歳代	112	32 28.6%	65 58.0%	17 15.2%	13 11.6%	2 1.8%	16 14.3%
50歳代	197	83 42.1%	57 28.9%	47 23.9%	20 10.2%	7 3.6%	37 18.8%
60歳代	372	198 53.2%	29 7.8%	87 23.4%	32 8.6%	18 4.8%	93 25.0%
70歳代	629	347 55.2%	5 0.8%	156 24.8%	25 4.0%	23 3.7%	154 24.5%
80歳代	627	239 38.1%	3 0.5%	240 38.3%	17 2.7%	52 8.3%	169 27.0%
90歳以上	177	32 18.1%	2 1.1%	114 64.4%	3 1.7%	14 7.9%	28 15.8%

■ 視聴覚障害等級組み合わせ（等級）と同居者のクロス

表 2-2-11b 視聴覚障害等級組み合わせ（等級）と同居者のクロス

	回答者総数	夫婦	親	子	兄弟姉妹	その他	独居
回答者総数	1997	844 42.3%	275 13.8%	588 29.4%	123 6.2%	104 5.2%	430 21.5%
視覚1・2級 聴覚1・2級	707	292 41.3%	117 16.5%	195 27.6%	59 8.3%	39 5.5%	130 18.4%
視覚1・2級 聴覚3-6級	649	278 42.8%	81 12.5%	204 31.4%	36 5.5%	32 4.9%	144 22.2%
視覚3-6級 聴覚1・2級	123	45 36.6%	24 19.5%	33 26.8%	9 7.3%	5 4.1%	33 26.8%
視覚3-6級 聴覚3-6級	518	229 44.2%	53 10.2%	156 30.1%	19 3.7%	28 5.4%	123 23.7%

■ 視聴覚障害等級組み合わせ（状態）と同居者のクロス

表 2-2-11c 視聴覚障害等級組み合わせ（状態）と同居者のクロス

	回答者総数	夫婦	親	子	兄弟姉妹	その他	独居
回答者総数	2070	863 41.7%	277 13.4%	607 29.3%	133 6.4%	112 5.4%	454 21.9%
全盲ろう	335	131 39.1%	67 20.0%	79 23.6%	49 14.6%	17 5.1%	54 16.1%
全盲難聴	901	383 42.5%	86 9.5%	287 31.9%	49 5.4%	48 5.3%	196 21.8%
弱視ろう	189	76 40.2%	43 22.8%	42 22.2%	14 7.4%	4 2.1%	42 22.2%
弱視難聴	645	273 42.3%	81 12.6%	199 30.9%	21 3.3%	43 6.7%	162 25.1%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と同居者のクロス

表 2-2-11d 視聴覚障害経緯（5分類）と同居者のクロス

	回答者総数	夫婦	親	子	兄弟姉妹	その他	独居
回答者総数	2096	874 41.7%	283 13.5%	618 29.5%	127 6.1%	117 5.6%	455 21.7%
先天性	179	39 21.8%	98 54.7%	18 10.1%	34 19.0%	6 3.4%	29 16.2%
盲ベース	129	49 38.0%	20 15.5%	24 18.6%	10 7.8%	8 6.2%	32 24.8%
ろうベース	293	135 46.1%	68 23.2%	64 21.8%	34 11.6%	14 4.8%	56 19.1%
後天性（成人期）	1282	585 45.6%	96 7.5%	414 32.3%	47 3.7%	72 5.6%	277 21.6%
後天性（高齢期）	213	66 31.0%	1 0.5%	98 46.0%	2 0.9%	17 8.0%	61 28.6%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と同居者のクロス

表 2-2-11e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と同居者のクロス

	回答者総数	夫婦	親	子	兄弟姉妹	その他	独居
回答者総数	2160	893 41.3%	272 12.6%	638 29.5%	135 6.3%	118 5.5%	488 22.6%
音声（発話）	1480	594 40.1%	136 9.2%	465 31.4%	68 4.6%	87 5.9%	379 25.6%
手話	183	97 53.0%	41 22.4%	39 21.3%	18 9.8%	5 2.7%	26 14.2%
指文字	19	7 36.8%	6 31.6%	5 26.3%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	199	82 41.2%	31 15.6%	55 27.6%	21 10.6%	11 5.5%	35 17.6%
その他	61	18 29.5%	29 47.5%	11 18.0%	13 21.3%	4 6.6%	4 6.6%
特にない	218	95 43.6%	29 13.3%	63 28.9%	14 6.4%	9 4.1%	42 19.3%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と同居者のクロス

表 2-2-11f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と同居者のクロス

	回答者総数	夫婦	親	子	兄弟姉妹	その他	独居
回答者総数	1952	799 40.9%	246 12.6%	578 29.6%	120 6.1%	110 5.6%	448 23.0%
音声（聴覚）	1350	556 41.2%	119 8.8%	429 31.8%	58 4.3%	79 5.9%	339 25.1%
手話を見る	101	45 44.6%	24 23.8%	24 23.8%	8 7.9%	1 1.0%	20 19.8%
手話を触る （触手話）	83	44 53.0%	17 20.5%	15 18.1%	7 8.4%	4 4.8%	11 13.3%
指文字を見る	9	4 44.4%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%
指文字を触る	9	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%
手書き文字	91	29 31.9%	16 17.6%	27 29.7%	14 15.4%	7 7.7%	17 18.7%
筆記（筆談）	225	94 41.8%	26 11.6%	64 28.4%	14 6.2%	14 6.2%	48 21.3%
点字・指点字	23	10 43.5%	6 26.1%	5 21.7%	2 8.7%	0 0.0%	4 17.4%
その他	61	16 26.2%	29 47.5%	12 19.7%	15 24.6%	4 6.6%	5 8.2%

### (3) 暮らしの希望

#### ■ 年齢階級と暮らしの希望のクロス

全ての年齢階級において「今までと同じように暮らしたい」の割合が高く、20歳代の5割を除いては、6割以上と高い

- ・入所型施設で暮らしたいと回答した方は年齢階層が上がるにつれ割合が高くなっている。
- ・一人暮らしをしたいと回答した年齢階層は年齢階層が若い方が割合が高くなっている。

表 2-2-12a 年齢階級と暮らしの希望のクロス

	総計	に今 暮ま らし た と 同 じ よ う	い一 人暮 らし を し た	にいま 暮は らな し一 した家 たい族 と一 緒緒 で	でグル 暮ル らプ しホ たいム 等	し入 所型 施設 で暮 ら	その他	無 回 答
総計	2744 100.0%	2097 76.4%	104 3.8%	110 4.0%	60 2.2%	212 7.7%	74 2.7%	87 3.2%
10歳未満	24 100.0%	20 83.3%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	24 80.0%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%
20歳代	51 100.0%	29 56.9%	7 13.7%	3 5.9%	4 7.8%	3 5.9%	3 5.9%	2 3.9%
30歳代	76 100.0%	48 63.2%	4 5.3%	7 9.2%	3 3.9%	7 9.2%	5 6.6%	2 2.6%
40歳代	126 100.0%	83 65.9%	10 7.9%	14 11.1%	7 5.6%	5 4.0%	5 4.0%	2 1.6%
50歳代	226 100.0%	174 77.0%	12 5.3%	13 5.8%	2 0.9%	8 3.5%	10 4.4%	7 3.1%
60歳代	426 100.0%	326 76.5%	19 4.5%	15 3.5%	8 1.9%	32 7.5%	15 3.5%	11 2.6%
70歳代	724 100.0%	564 77.9%	25 3.5%	17 2.3%	10 1.4%	68 9.4%	15 2.1%	25 3.5%
80歳代	779 100.0%	619 79.5%	23 3.0%	26 3.3%	18 2.3%	58 7.4%	14 1.8%	21 2.7%
90歳以上	282 100.0%	210 74.5%	1 0.4%	13 4.6%	8 2.8%	30 10.6%	4 1.4%	16 5.7%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と暮らしの希望のクロス

表 2-2-12b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と暮らしの希望のクロス

	総計	に今 暮まで したと 同じよ う	い一 人暮 らしを した	にい今 暮らない した家 族と一 緒で	でグル 暮らし たいプ ホーム 等	した入 所型 施設 で暮 ら	その他	無 回 答
総数	2744 100.0%	2097 76.4%	104 3.8%	110 4.0%	60 2.2%	212 7.7%	74 2.7%	87 3.2%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	640 74.4%	35 4.1%	31 3.6%	21 2.4%	76 8.8%	29 3.4%	28 3.3%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	601 78.9%	31 4.1%	31 4.1%	15 2.0%	45 5.9%	17 2.2%	22 2.9%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	98 69.5%	8 5.7%	8 5.7%	5 3.5%	14 9.9%	4 2.8%	4 2.8%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	479 79.6%	21 3.5%	24 4.0%	8 1.3%	44 7.3%	9 1.5%	17 2.8%
無回答	379 100.0%	279 73.6%	9 2.4%	16 4.2%	11 2.9%	33 8.7%	15 4.0%	16 4.2%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と暮らしの希望のクロス

表 2-2-12c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と暮らしの希望のクロス

	総計	に今 暮まで したと 同じよ う	い一 人暮 らしを した	にい今 暮らない した家 族と一 緒で	でグル 暮らし たいプ ホーム 等	した入 所型 施設 で暮 ら	その他	無 回 答
総数	2744 100.0%	2097 76.4%	104 3.8%	110 4.0%	60 2.2%	212 7.7%	74 2.7%	87 3.2%
全盲ろう	437 100.0%	303 69.3%	18 4.1%	14 3.2%	15 3.4%	54 12.4%	14 3.2%	19 4.3%
全盲難聴	1130 100.0%	869 76.9%	35 3.1%	39 3.5%	27 2.4%	89 7.9%	33 2.9%	38 3.4%
弱視ろう	211 100.0%	161 76.3%	10 4.7%	11 5.2%	4 1.9%	14 6.6%	7 3.3%	4 1.9%
弱視難聴	722 100.0%	579 80.2%	30 4.2%	39 5.4%	8 1.1%	43 6.0%	9 1.2%	14 1.9%
無回答	244 100.0%	185 75.8%	11 4.5%	7 2.9%	6 2.5%	12 4.9%	11 4.5%	12 4.9%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と暮らしの希望のクロス

表 2-2-12d 視聴覚障害経緯（5分類）と暮らしの希望のクロス

	総計	今までと同じよう	一人暮らしをした	いない家族と一緒に暮らしたい	今は一緒に住んでいない	グループホーム等で暮らしたい	入所型施設で暮らしたい	その他	無回答
総数	2744 100.0%	2097 76.4%	104 3.8%	110 4.0%	60 2.2%	212 7.7%	74 2.7%	87 3.2%	
先天性	219 100.0%	158 72.1%	8 3.7%	12 5.5%	7 3.2%	16 7.3%	8 3.7%	10 4.6%	
盲ベース	143 100.0%	112 78.3%	10 7.0%	3 2.1%	5 3.5%	8 5.6%	2 1.4%	3 2.1%	
ろうベース	335 100.0%	241 71.9%	19 5.7%	20 6.0%	7 2.1%	31 9.3%	10 3.0%	7 2.1%	
後天性（成人期）	1503 100.0%	1171 77.9%	50 3.3%	55 3.7%	31 2.1%	107 7.1%	43 2.9%	46 3.1%	
後天性（高齢期）	276 100.0%	216 78.3%	8 2.9%	13 4.7%	4 1.4%	23 8.3%	4 1.4%	8 2.9%	
無回答	268 100.0%	199 74.3%	9 3.4%	7 2.6%	6 2.2%	27 10.1%	7 2.6%	13 4.9%	

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と暮らしの希望のクロス

表 2-2-12e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と暮らしの希望のクロス

	総計	に今 暮まで らした たい じ よう	い一 人暮 らし をし した	にいま 暮らない は家 らし族 したと たい一 緒	でグル 暮ー らしプ したホ たいム 等	した入 たい所 型施 設で 暮ら	その他	無 回 答
総数	2744 100.0%	2097 76.4%	104 3.8%	110 4.0%	60 2.2%	212 7.7%	74 2.7%	87 3.2%
音声（発話）	1795 100.0%	1403 78.2%	65 3.6%	64 3.6%	38 2.1%	127 7.1%	48 2.7%	50 2.8%
手話	198 100.0%	145 73.2%	12 6.1%	13 6.6%	3 1.5%	14 7.1%	4 2.0%	7 3.5%
指文字	25 100.0%	19 76.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%	1 4.0%
文字（筆談・ 空書き・ての ひら書き）	248 100.0%	177 71.4%	11 4.4%	14 5.6%	6 2.4%	25 10.1%	7 2.8%	8 3.2%
その他	95 100.0%	66 69.5%	2 2.1%	4 4.2%	5 5.3%	10 10.5%	4 4.2%	4 4.2%
特にない	258 100.0%	187 72.5%	10 3.9%	9 3.5%	7 2.7%	28 10.9%	5 1.9%	12 4.7%
無回答	125 100.0%	100 80.0%	4 3.2%	4 3.2%	1 0.8%	5 4.0%	6 4.8%	5 4.0%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と暮らしの希望のクロス

表 2-2-12f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と暮らしの希望のクロス

	総計	に今 暮ら した と 同 じ よ う	い一 人暮 らし を し た	に 暮 ら し た い	い は 一 緒 に 住 ん で	でグ ル ー プ ホ ー ム 等	し入 所 型 施 設 で 暮 ら	そ の 他	無 回 答
総数	2744 100.0%	2097 76.4%	104 3.8%	110 4.0%	60 2.2%	212 7.7%	74 2.7%	87 3.2%	
音声（聴覚）	1634 100.0%	1290 78.9%	52 3.2%	55 3.4%	32 2.0%	117 7.2%	43 2.6%	45 2.8%	
手話を見る	106 100.0%	78 73.6%	5 4.7%	6 5.7%	3 2.8%	8 7.5%	2 1.9%	4 3.8%	
手話を触る （触手話）	95 100.0%	71 74.7%	4 4.2%	5 5.3%	4 4.2%	5 5.3%	2 2.1%	4 4.2%	
指文字を見る	11 100.0%	9 81.8%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	
指文字を触る	11 100.0%	7 63.6%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	
手書き文字	132 100.0%	94 71.2%	2 1.5%	3 2.3%	6 4.5%	17 12.9%	3 2.3%	7 5.3%	
筆記（筆談）	258 100.0%	193 74.8%	13 5.0%	21 8.1%	4 1.6%	14 5.4%	8 3.1%	5 1.9%	
点字・指点字	25 100.0%	17 68.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	
その他	89 100.0%	61 68.5%	3 3.4%	4 4.5%	5 5.6%	11 12.4%	4 4.5%	1 1.1%	
特にない	209 100.0%	153 73.2%	10 4.8%	7 3.3%	5 2.4%	19 9.1%	4 1.9%	11 5.3%	
無回答	174 100.0%	124 71.3%	12 6.9%	6 3.4%	1 0.6%	17 9.8%	6 3.4%	8 4.6%	

#### 4. 生活のしづらさ

##### (1) 生活しづらさの発生年齢（階級・平均）

##### ■ 年齢階級と生活困難発生年齢階級のクロス

・生活困難発生年齢階級では、「60歳代」の割合が最も高く14.2%となっており、次いで、「70歳代」14.2%、「10歳代」11.3%となっている。

表 2-2-13a 年齢階級と生活困難発生年齢階級のクロス

	総計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744 100.0%	310 11.3%	204 7.4%	144 5.2%	174 6.3%	274 10.0%	372 13.6%	451 16.4%	389 14.2%	218 7.9%	30 1.1%	178 6.5%
10歳未満	24 100.0%	21 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	1 4.2%
10歳代	30 100.0%	19 63.3%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 23.3%
20歳代	51 100.0%	28 54.9%	16 31.4%	4 7.8%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%
30歳代	76 100.0%	24 31.6%	18 23.7%	17 22.4%	12 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.3%
40歳代	126 100.0%	34 27.0%	22 17.5%	23 18.3%	24 19.0%	17 13.5%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 4.0%
50歳代	226 100.0%	32 14.2%	30 13.3%	16 7.1%	39 17.3%	59 26.1%	36 15.9%	3 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 4.9%
60歳代	426 100.0%	43 10.1%	33 7.7%	22 5.2%	29 6.8%	82 19.2%	121 28.4%	66 15.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 7.0%
70歳代	724 100.0%	69 9.5%	47 6.5%	30 4.1%	42 5.8%	65 9.0%	121 16.7%	214 29.6%	103 14.2%	0 0.0%	0 0.0%	33 4.6%
80歳代	779 100.0%	37 4.7%	30 3.9%	27 3.5%	27 3.5%	37 4.7%	78 10.0%	135 17.3%	229 29.4%	126 16.2%	0 0.0%	53 6.8%
90歳以上	282 100.0%	3 1.1%	4 1.4%	5 1.8%	1 0.4%	13 4.6%	16 5.7%	31 11.0%	56 19.9%	91 32.3%	30 10.6%	32 11.3%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難発生前年齢階級のクロス

表 2-2-13b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難発生前年齢階級のクロス

	総計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	310	204	144	174	274	372	451	389	218	30	178
	100.0%	11.3%	7.4%	5.2%	6.3%	10.0%	13.6%	16.4%	14.2%	7.9%	1.1%	6.5%
視覚1・2級	860	120	82	62	67	114	126	98	77	53	7	54
聴覚1・2級	100.0%	14.0%	9.5%	7.2%	7.8%	13.3%	14.7%	11.4%	9.0%	6.2%	0.8%	6.3%
視覚1・2級	762	76	52	33	53	75	109	139	114	77	7	27
聴覚3-6級	100.0%	10.0%	6.8%	4.3%	7.0%	9.8%	14.3%	18.2%	15.0%	10.1%	0.9%	3.5%
視覚3-6級	141	27	11	12	5	16	21	22	13	3	0	11
聴覚1・2級	100.0%	19.1%	7.8%	8.5%	3.5%	11.3%	14.9%	15.6%	9.2%	2.1%	0.0%	7.8%
視覚3-6級	602	51	35	24	27	40	61	126	126	60	10	42
聴覚3-6級	100.0%	8.5%	5.8%	4.0%	4.5%	6.6%	10.1%	20.9%	20.9%	10.0%	1.7%	7.0%
無回答	379	36	24	13	22	29	55	66	59	25	6	44
	100.0%	9.5%	6.3%	3.4%	5.8%	7.7%	14.5%	17.4%	15.6%	6.6%	1.6%	11.6%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と生活困難発生前年齢階級のクロス

表 2-2-13c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と生活困難発生前年齢階級のクロス

	総計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	310	204	144	174	274	372	451	389	218	30	178
	100.0%	11.3%	7.4%	5.2%	6.3%	10.0%	13.6%	16.4%	14.2%	7.9%	1.1%	6.5%
全盲ろう	437	74	35	35	34	58	66	51	36	20	1	27
	100.0%	16.9%	8.0%	8.0%	7.8%	13.3%	15.1%	11.7%	8.2%	4.6%	0.2%	6.2%
全盲難聴	1130	95	66	47	65	96	155	205	193	116	22	70
	100.0%	8.4%	5.8%	4.2%	5.8%	8.5%	13.7%	18.1%	17.1%	10.3%	1.9%	6.2%
弱視ろう	211	36	26	19	15	27	26	21	16	7	1	17
	100.0%	17.1%	12.3%	9.0%	7.1%	12.8%	12.3%	10.0%	7.6%	3.3%	0.5%	8.1%
弱視難聴	722	74	60	31	45	68	99	134	116	58	3	34
	100.0%	10.2%	8.3%	4.3%	6.2%	9.4%	13.7%	18.6%	16.1%	8.0%	0.4%	4.7%
無回答	244	31	17	12	15	25	26	40	28	17	3	30
	100.0%	12.7%	7.0%	4.9%	6.1%	10.2%	10.7%	16.4%	11.5%	7.0%	1.2%	12.3%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と生活困難発生年齢階級のクロス

表 2-2-13d 視聴覚障害経緯（5分類）と生活困難発生年齢階級のクロス

	総計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	310	204	144	174	274	372	451	389	218	30	178
	100.0%	11.3%	7.4%	5.2%	6.3%	10.0%	13.6%	16.4%	14.2%	7.9%	1.1%	6.5%
先天性	219	153	16	8	2	4	8	7	2	0	0	19
	100.0%	69.9%	7.3%	3.7%	0.9%	1.8%	3.7%	3.2%	0.9%	0.0%	0.0%	8.7%
盲ベース	143	25	30	8	9	11	19	16	11	11	0	3
	100.0%	17.5%	21.0%	5.6%	6.3%	7.7%	13.3%	11.2%	7.7%	7.7%	0.0%	2.1%
ろうベース	335	35	37	32	41	73	60	28	18	1	0	10
	100.0%	10.4%	11.0%	9.6%	12.2%	21.8%	17.9%	8.4%	5.4%	0.3%	0.0%	3.0%
後天性（成人期）	1503	72	113	82	117	169	259	336	215	89	8	43
	100.0%	4.8%	7.5%	5.5%	7.8%	11.2%	17.2%	22.4%	14.3%	5.9%	0.5%	2.9%
後天性（高齢期）	276	0	0	0	0	0	1	38	114	95	20	8
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	13.8%	41.3%	34.4%	7.2%	2.9%
無回答	268	25	8	14	5	17	25	26	29	22	2	95
	100.0%	9.3%	3.0%	5.2%	1.9%	6.3%	9.3%	9.7%	10.8%	8.2%	0.7%	35.4%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と生活困難発生年齢階級のクロス

表 2-2-13e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と生活困難発生年齢階級のクロス

	総計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	310	204	144	174	274	372	451	389	218	30	178
	100.0%	11.3%	7.4%	5.2%	6.3%	10.0%	13.6%	16.4%	14.2%	7.9%	1.1%	6.5%
音声（発話）	1795	138	124	77	117	162	244	324	297	179	24	109
	100.0%	7.7%	6.9%	4.3%	6.5%	9.0%	13.6%	18.1%	16.5%	10.0%	1.3%	6.1%
手話	198	40	14	23	14	39	37	15	9	0	0	7
	100.0%	20.2%	7.1%	11.6%	7.1%	19.7%	18.7%	7.6%	4.5%	0.0%	0.0%	3.5%
指文字	25	8	2	3	0	3	4	2	2	0	0	1
	100.0%	32.0%	8.0%	12.0%	0.0%	12.0%	16.0%	8.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	248	26	32	12	13	24	39	42	23	11	3	23
	100.0%	10.5%	12.9%	4.8%	5.2%	9.7%	15.7%	16.9%	9.3%	4.4%	1.2%	9.3%
その他	95	36	6	5	8	2	8	7	8	4	0	11
	100.0%	37.9%	6.3%	5.3%	8.4%	2.1%	8.4%	7.4%	8.4%	4.2%	0.0%	11.6%
特にない	258	45	17	14	13	26	25	42	38	17	3	18
	100.0%	17.4%	6.6%	5.4%	5.0%	10.1%	9.7%	16.3%	14.7%	6.6%	1.2%	7.0%
無回答	125	17	9	10	9	18	15	19	12	7	0	9
	100.0%	13.6%	7.2%	8.0%	7.2%	14.4%	12.0%	15.2%	9.6%	5.6%	0.0%	7.2%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と生活困難発生年齢階級のクロス

表 2-2-13f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と生活困難発生年齢階級のクロス

	総計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744 100.0%	310 11.3%	204 7.4%	144 5.2%	174 6.3%	274 10.0%	372 13.6%	451 16.4%	389 14.2%	218 7.9%	30 1.1%	178 6.5%
音声（聴覚）	1634 100.0%	124 7.6%	102 6.2%	69 4.2%	94 5.8%	145 8.9%	224 13.7%	302 18.5%	283 17.3%	172 10.5%	24 1.5%	95 5.8%
手話を見る	106 100.0%	26 24.5%	12 11.3%	16 15.1%	5 4.7%	14 13.2%	14 13.2%	5 4.7%	7 6.6%	1 0.9%	0 0.0%	6 5.7%
手話を触る（触手話）	95 100.0%	10 10.5%	4 4.2%	6 6.3%	13 13.7%	27 28.4%	20 21.1%	6 6.3%	2 2.1%	1 1.1%	1 1.1%	5 5.3%
指文字を見る	11 100.0%	4 36.4%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
指文字を触る	11 100.0%	4 36.4%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%
手書き文字	132 100.0%	13 9.8%	19 14.4%	9 6.8%	16 12.1%	12 9.1%	24 18.2%	20 15.2%	4 3.0%	5 3.8%	0 0.0%	10 7.6%
筆記（筆談）	258 100.0%	28 10.9%	30 11.6%	15 5.8%	16 6.2%	25 9.7%	35 13.6%	53 20.5%	27 10.5%	12 4.7%	3 1.2%	14 5.4%
点字・指点字	25 100.0%	5 20.0%	4 16.0%	3 12.0%	4 16.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%
その他	89 100.0%	38 42.7%	3 3.4%	4 4.5%	4 4.5%	1 1.1%	5 5.6%	4 4.5%	16 18.0%	3 3.4%	0 0.0%	11 12.4%
特にない	209 100.0%	40 19.1%	13 6.2%	9 4.3%	11 5.3%	22 10.5%	22 10.5%	25 12.0%	32 15.3%	17 8.1%	2 1.0%	16 7.7%
無回答	174 100.0%	18 10.3%	14 8.0%	10 5.7%	10 5.7%	21 12.1%	27 15.5%	34 19.5%	17 9.8%	5 2.9%	0 0.0%	18 10.3%

## (2) 生活しづらさの変化

### ■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難変化のクロス

表 2-2-14a 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難変化のクロス

	総計	大生活のなつづてらいるが	変化していない	小生活のなつづてらいるが	良くなつたりしたてり悪くなる	無回答
総計	2744 100.0%	2025 73.8%	354 12.9%	72 2.6%	213 7.8%	80 2.9%
10歳未満	24 100.0%	8 33.3%	8 33.3%	7 29.2%	1 4.2%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	6 20.0%	13 43.3%	3 10.0%	3 10.0%	5 16.7%
20歳代	51 100.0%	28 54.9%	10 19.6%	2 3.9%	8 15.7%	3 5.9%
30歳代	76 100.0%	49 64.5%	14 18.4%	5 6.6%	6 7.9%	2 2.6%
40歳代	126 100.0%	86 68.3%	23 18.3%	3 2.4%	12 9.5%	2 1.6%
50歳代	226 100.0%	146 64.6%	41 18.1%	9 4.0%	26 11.5%	4 1.8%
60歳代	426 100.0%	300 70.4%	62 14.6%	14 3.3%	36 8.5%	14 3.3%
70歳代	724 100.0%	574 79.3%	63 8.7%	13 1.8%	57 7.9%	17 2.3%
80歳代	779 100.0%	610 78.3%	89 11.4%	12 1.5%	50 6.4%	18 2.3%
90歳以上	282 100.0%	218 77.3%	31 11.0%	4 1.4%	14 5.0%	15 5.3%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難変化のクロス

生活困難変化では、「生活のしづらさが大きくなっている」の割合が最も高く73.8%

- ・「生活のしづらさが大きくなっている」では、「視覚1・2級、聴覚1・2級」、「視覚1・2級、聴覚3-6級」、「視覚3-6級、聴覚3-6級」は70%を超えている。
- ・「変化していない」では、全ての視聴覚障害組み合わせにおいて約10%となっている。

表 2-2-14b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難変化のクロス

	総計	大生活のしづらさが	変化していない	小生活のしづらさが	な良つくたりつしたり悪い悪く	無回答
総数	2744 100.0%	2025 73.8%	354 12.9%	72 2.6%	213 7.8%	80 2.9%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	621 72.2%	121 14.1%	17 2.0%	71 8.3%	30 3.5%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	606 79.5%	80 10.5%	20 2.6%	47 6.2%	9 1.2%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	91 64.5%	16 11.3%	8 5.7%	21 14.9%	5 3.5%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	431 71.6%	88 14.6%	15 2.5%	50 8.3%	18 3.0%
無回答	379 100.0%	276 72.8%	49 12.9%	12 3.2%	24 6.3%	18 4.7%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と生活困難変化のクロス

表 2-2-14c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と生活困難変化のクロス

	総計	大生活のなつづてらいさるが	変化していない	小生活のなつづてらいさるが	な良つたりたりして悪くなる	無回答
総数	2744 100.0%	2025 73.8%	354 12.9%	72 2.6%	213 7.8%	80 2.9%
全盲ろう	437 100.0%	329 75.3%	59 13.5%	12 2.7%	21 4.8%	16 3.7%
全盲難聴	1130 100.0%	916 81.1%	106 9.4%	17 1.5%	65 5.8%	26 2.3%
弱視ろう	211 100.0%	125 59.2%	42 19.9%	7 3.3%	30 14.2%	7 3.3%
弱視難聴	722 100.0%	497 68.8%	115 15.9%	28 3.9%	67 9.3%	15 2.1%
無回答	244 100.0%	158 64.8%	32 13.1%	8 3.3%	30 12.3%	16 6.6%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と生活困難変化のクロス

表 2-2-14d 視聴覚障害経緯（5分類）と生活困難変化のクロス

	総計	大生活のなつづてらいさるが	変化していない	小生活のなつづてらいさるが	な良つたりたりして悪くなる	無回答
総数	2744 100.0%	2025 73.8%	354 12.9%	72 2.6%	213 7.8%	80 2.9%
先天性	219 100.0%	110 50.2%	67 30.6%	13 5.9%	20 9.1%	9 4.1%
盲ベース	143 100.0%	102 71.3%	20 14.0%	4 2.8%	15 10.5%	2 1.4%
ろうベース	335 100.0%	234 69.9%	43 12.8%	15 4.5%	35 10.4%	8 2.4%
後天性（成人期）	1503 100.0%	1190 79.2%	149 9.9%	30 2.0%	109 7.3%	25 1.7%
後天性（高齢期）	276 100.0%	229 83.0%	27 9.8%	0 0.0%	12 4.3%	8 2.9%
無回答	268 100.0%	160 59.7%	48 17.9%	10 3.7%	22 8.2%	28 10.4%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と生活困難変化のクロス

表 2-2-14e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と生活困難変化のクロス

	総計	大生活 きくの なつづ てらさ るが	変 化し てい ない	小生活 さくの なつづ てらさ るが	な良 つく たり なつ たり して り悪 く	無 回 答
総数	2744 100.0%	2025 73.8%	354 12.9%	72 2.6%	213 7.8%	80 2.9%
音声（発話）	1795 100.0%	1407 78.4%	197 11.0%	35 1.9%	120 6.7%	36 2.0%
手話	198 100.0%	111 56.1%	40 20.2%	12 6.1%	28 14.1%	7 3.5%
指文字	25 100.0%	18 72.0%	2 8.0%	2 8.0%	3 12.0%	0 0.0%
文字（筆談・ 空書き・ての ひら書き）	248 100.0%	177 71.4%	29 11.7%	6 2.4%	23 9.3%	13 5.2%
その他	95 100.0%	58 61.1%	23 24.2%	4 4.2%	5 5.3%	5 5.3%
特にない	258 100.0%	165 64.0%	49 19.0%	7 2.7%	22 8.5%	15 5.8%
無回答	125 100.0%	89 71.2%	14 11.2%	6 4.8%	12 9.6%	4 3.2%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と生活困難変化のクロス

表 2-2-14f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と生活困難変化のクロス

	総計	大生活 く な し づ つ て ら い さ が	変 化 し て い な い	小生活 く な し づ つ て ら い さ が	な 良 つ く た り な つ た り し た り し て い 悪 く	無 回 答
総数	2744 100.0%	2025 73.8%	354 12.9%	72 2.6%	213 7.8%	80 2.9%
音声（聴覚）	1634 100.0%	1283 78.5%	183 11.2%	36 2.2%	103 6.3%	29 1.8%
手話を見る	106 100.0%	51 48.1%	25 23.6%	6 5.7%	21 19.8%	3 2.8%
手話を触る （触手話）	95 100.0%	65 68.4%	13 13.7%	5 5.3%	8 8.4%	4 4.2%
指文字を見る	11 100.0%	4 36.4%	3 27.3%	1 9.1%	3 27.3%	0 0.0%
指文字を触る	11 100.0%	9 81.8%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
手書き文字	132 100.0%	104 78.8%	15 11.4%	1 0.8%	7 5.3%	5 3.8%
筆記（筆談）	258 100.0%	195 75.6%	22 8.5%	5 1.9%	28 10.9%	8 3.1%
点字・指点字	25 100.0%	17 68.0%	2 8.0%	1 4.0%	4 16.0%	1 4.0%
その他	89 100.0%	54 60.7%	22 24.7%	3 3.4%	4 4.5%	6 6.7%
特にない	209 100.0%	130 62.2%	47 22.5%	5 2.4%	15 7.2%	12 5.7%
無回答	174 100.0%	113 64.9%	21 12.1%	8 4.6%	20 11.5%	12 6.9%

### (3) 生活しづらさの頻度

#### ■ 年齢階級と生活困難頻度のクロス

全年齢階層で「毎日」と回答している割合が平均で6割と高くなっている。また、10歳代は4割であるが、その他の年齢階層間で際立った割合の差は見られない

- ・「ほとんどない」と回答した割合の平均は1割である。
- ・上記の2項目以外の回答は1割以下で推移している。

表 2-2-15a 年齢階級と生活困難頻度のクロス

	総計	毎日	日1程週度に5-6	日1程週度に3-4	日1程週間に1-2	日2程週間に1-2	日1ヶ月に1-2	ほとんどない	まったくくない	無回答
総計	2744 100.0%	1702 62.0%	108 3.9%	169 6.2%	144 5.2%	47 1.7%	94 3.4%	320 11.7%	49 1.8%	111 4.0%
10歳未満	24 100.0%	14 58.3%	1 4.2%	1 4.2%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.5%	1 4.2%	2 8.3%
10歳代	30 100.0%	13 43.3%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%	7 23.3%	2 6.7%	4 13.3%
20歳代	51 100.0%	31 60.8%	1 2.0%	1 2.0%	2 3.9%	1 2.0%	3 5.9%	5 9.8%	2 3.9%	5 9.8%
30歳代	76 100.0%	45 59.2%	3 3.9%	5 6.6%	3 3.9%	1 1.3%	7 9.2%	9 11.8%	2 2.6%	1 1.3%
40歳代	126 100.0%	60 47.6%	5 4.0%	10 7.9%	9 7.1%	3 2.4%	4 3.2%	27 21.4%	2 1.6%	6 4.8%
50歳代	226 100.0%	112 49.6%	11 4.9%	11 4.9%	21 9.3%	7 3.1%	7 3.1%	38 16.8%	10 4.4%	9 4.0%
60歳代	426 100.0%	243 57.0%	16 3.8%	29 6.8%	24 5.6%	9 2.1%	22 5.2%	47 11.0%	17 4.0%	19 4.5%
70歳代	724 100.0%	475 65.6%	29 4.0%	53 7.3%	32 4.4%	12 1.7%	19 2.6%	79 10.9%	4 0.6%	21 2.9%
80歳代	779 100.0%	516 66.2%	33 4.2%	42 5.4%	35 4.5%	9 1.2%	28 3.6%	80 10.3%	8 1.0%	28 3.6%
90歳以上	282 100.0%	193 68.4%	9 3.2%	16 5.7%	15 5.3%	4 1.4%	3 1.1%	25 8.9%	1 0.4%	16 5.7%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難頻度のクロス

表 2-2-15b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と生活困難頻度のクロス

	総計	毎日	日1 程週 度間 に 5 - 6	日1 程週 度間 に 3 - 4	日1 程週 度間 に 1 - 2	日2 程週 度間 に 1 - 2	日1 ケ 月 に 1 - 2	ほと んど ない	ま つ た く な い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1702 62.0%	108 3.9%	169 6.2%	144 5.2%	47 1.7%	94 3.4%	320 11.7%	49 1.8%	111 4.0%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	507 59.0%	35 4.1%	44 5.1%	55 6.4%	16 1.9%	31 3.6%	109 12.7%	18 2.1%	45 5.2%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	512 67.2%	37 4.9%	52 6.8%	32 4.2%	11 1.4%	26 3.4%	67 8.8%	7 0.9%	18 2.4%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	91 64.5%	1 0.7%	8 5.7%	8 5.7%	4 2.8%	7 5.0%	16 11.3%	3 2.1%	3 2.1%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	358 59.5%	24 4.0%	38 6.3%	35 5.8%	10 1.7%	23 3.8%	85 14.1%	11 1.8%	18 3.0%
無回答	379 100.0%	234 61.7%	11 2.9%	27 7.1%	14 3.7%	6 1.6%	7 1.8%	43 11.3%	10 2.6%	27 7.1%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と生活困難頻度のクロス

表 2-2-15c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と生活困難頻度のクロス

	総計	毎日	日1 程週 度間 に 5 - 6	日1 程週 度間 に 3 - 4	日1 程週 度間 に 1 - 2	日2 程週 度間 に 1 - 2	日1 ケ 月 に 1 - 2	ほと んど ない	ま つ た く な い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1702 62.0%	108 3.9%	169 6.2%	144 5.2%	47 1.7%	94 3.4%	320 11.7%	49 1.8%	111 4.0%
全盲ろう	437 100.0%	292 66.8%	16 3.7%	18 4.1%	28 6.4%	6 1.4%	5 1.1%	43 9.8%	7 1.6%	22 5.0%
全盲難聴	1130 100.0%	795 70.4%	46 4.1%	73 6.5%	34 3.0%	12 1.1%	30 2.7%	91 8.1%	11 1.0%	38 3.4%
弱視ろう	211 100.0%	98 46.4%	5 2.4%	13 6.2%	22 10.4%	7 3.3%	17 8.1%	32 15.2%	11 5.2%	6 2.8%
弱視難聴	722 100.0%	395 54.7%	31 4.3%	44 6.1%	48 6.6%	18 2.5%	37 5.1%	116 16.1%	13 1.8%	20 2.8%
無回答	244 100.0%	122 50.0%	10 4.1%	21 8.6%	12 4.9%	4 1.6%	5 2.0%	38 15.6%	7 2.9%	25 10.2%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と生活困難頻度のクロス

表 2-2-15d 視聴覚障害経緯（5分類）と生活困難頻度のクロス

	総計	毎日	日1 程週 間に 5 - 6	日1 程週 間に 3 - 4	日1 程週 間に 1 - 2	日2 程週 間に 1 - 2	日1 ヶ月 に 1 - 2	ほと んど ない	ま つ た く な い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1702 62.0%	108 3.9%	169 6.2%	144 5.2%	47 1.7%	94 3.4%	320 11.7%	49 1.8%	111 4.0%
先天性	219 100.0%	117 53.4%	6 2.7%	11 5.0%	13 5.9%	4 1.8%	8 3.7%	30 13.7%	10 4.6%	20 9.1%
盲ベース	143 100.0%	86 60.1%	1 0.7%	7 4.9%	9 6.3%	1 0.7%	6 4.2%	24 16.8%	5 3.5%	4 2.8%
ろうベース	335 100.0%	182 54.3%	14 4.2%	18 5.4%	27 8.1%	8 2.4%	16 4.8%	53 15.8%	8 2.4%	9 2.7%
後天性（成人期）	1503 100.0%	983 65.4%	69 4.6%	102 6.8%	74 4.9%	28 1.9%	50 3.3%	144 9.6%	17 1.1%	36 2.4%
後天性（高齢期）	276 100.0%	194 70.3%	10 3.6%	17 6.2%	15 5.4%	3 1.1%	9 3.3%	18 6.5%	0 0.0%	10 3.6%
無回答	268 100.0%	140 52.2%	8 3.0%	14 5.2%	6 2.2%	3 1.1%	5 1.9%	51 19.0%	9 3.4%	32 11.9%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と生活困難頻度のクロス

表 2-2-15e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と生活困難頻度のクロス

	総計	毎日	日1 程週 度間 に 5 - 6	日1 程週 度間 に 3 - 4	日1 程週 度間 に 1 - 2	日2 程週 度間 に 1 - 2	日1 ケ 月 に 1 - 2	ほと んど ない	ま つ た く ない	無 回 答
総数	2744 100.0%	1702 62.0%	108 3.9%	169 6.2%	144 5.2%	47 1.7%	94 3.4%	320 11.7%	49 1.8%	111 4.0%
音声（発話）	1795 100.0%	1197 66.7%	64 3.6%	116 6.5%	91 5.1%	20 1.1%	55 3.1%	175 9.7%	24 1.3%	53 3.0%
手話	198 100.0%	79 39.9%	7 3.5%	11 5.6%	24 12.1%	8 4.0%	8 4.0%	41 20.7%	12 6.1%	8 4.0%
指文字	25 100.0%	16 64.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	5 20.0%
文字（筆談・ 空書き・ての ひら書き）	248 100.0%	154 62.1%	5 2.0%	16 6.5%	11 4.4%	7 2.8%	13 5.2%	30 12.1%	2 0.8%	10 4.0%
その他	95 100.0%	50 52.6%	3 3.2%	6 6.3%	7 7.4%	2 2.1%	2 2.1%	11 11.6%	3 3.2%	11 11.6%
特にない	258 100.0%	135 52.3%	17 6.6%	12 4.7%	5 1.9%	6 2.3%	11 4.3%	48 18.6%	5 1.9%	19 7.4%
無回答	125 100.0%	71 56.8%	11 8.8%	7 5.6%	6 4.8%	3 2.4%	5 4.0%	14 11.2%	3 2.4%	5 4.0%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と生活困難頻度のクロス

表 2-2-15f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と生活困難頻度のクロス

	総計	毎日	日1 程週 度に 5 - 6	日1 程週 度に 3 - 4	日1 程週 度に 1 - 2	日2 程週 度に 1 - 2	日1 ケ 月に 1 - 2	ほと んど ない	ま つ た く ない	無 回 答
総数	2744 100.0%	1702 62.0%	108 3.9%	169 6.2%	144 5.2%	47 1.7%	94 3.4%	320 11.7%	49 1.8%	111 4.0%
音声（聴覚）	1634 100.0%	1084 66.3%	59 3.6%	106 6.5%	84 5.1%	20 1.2%	53 3.2%	161 9.9%	22 1.3%	45 2.8%
手話を見る	106 100.0%	36 34.0%	8 7.5%	6 5.7%	15 14.2%	5 4.7%	5 4.7%	21 19.8%	7 6.6%	3 2.8%
手話を触る （触手話）	95 100.0%	48 50.5%	3 3.2%	8 8.4%	8 8.4%	3 3.2%	1 1.1%	17 17.9%	2 2.1%	5 5.3%
指文字を見る	11 100.0%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	5 45.5%	1 9.1%	1 9.1%
指文字を触る	11 100.0%	8 72.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%
手書き文字	132 100.0%	83 62.9%	3 2.3%	6 4.5%	12 9.1%	1 0.8%	4 3.0%	14 10.6%	1 0.8%	8 6.1%
筆記（筆談）	258 100.0%	175 67.8%	10 3.9%	17 6.6%	11 4.3%	4 1.6%	11 4.3%	24 9.3%	1 0.4%	5 1.9%
点字・指点字	25 100.0%	19 76.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%
その他	89 100.0%	49 55.1%	3 3.4%	4 4.5%	6 6.7%	1 1.1%	1 1.1%	15 16.9%	1 1.1%	9 10.1%
特にない	209 100.0%	112 53.6%	14 6.7%	9 4.3%	2 1.0%	3 1.4%	8 3.8%	38 18.2%	8 3.8%	15 7.2%
無回答	174 100.0%	86 49.4%	8 4.6%	12 6.9%	6 3.4%	9 5.2%	8 4.6%	23 13.2%	6 3.4%	16 9.2%

## 5. 視覚障害

### (1) 視覚障害の発症年齢（階級・平均）

#### ■ 年齢階級と視覚障害受障年齢階級のクロス

**視覚障害受障年齢階級では、「10歳未満」の割合が最も高く21.5%**

・視覚障害受障年齢階級「10歳未満」では、年齢階級「10歳未満」から「30歳代」の割合は50%以上となっており、年齢階級が高くなるにつれて、割合が低くなっている。

表 2-2-16a 年齢階級と視覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	視覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744 100.0%	590 21.5%	285 10.4%	195 7.1%	186 6.8%	304 11.1%	338 12.3%	334 12.2%	247 9.0%	83 3.0%	14 0.5%	168 6.1%
10歳未満	24 100.0%	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	25 83.3%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%
20歳代	51 100.0%	38 74.5%	10 19.6%	3 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	76 100.0%	40 52.6%	16 21.1%	6 7.9%	10 13.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.3%
40歳代	126 100.0%	51 40.5%	26 20.6%	17 13.5%	18 14.3%	9 7.1%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.2%
50歳代	226 100.0%	60 26.5%	39 17.3%	21 9.3%	31 13.7%	50 22.1%	14 6.2%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 4.4%
60歳代	426 100.0%	87 20.4%	55 12.9%	31 7.3%	35 8.2%	82 19.2%	86 20.2%	25 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 5.9%
70歳代	724 100.0%	153 21.1%	60 8.3%	53 7.3%	50 6.9%	71 9.8%	113 15.6%	147 20.3%	40 5.5%	1 0.1%	0 0.0%	36 5.0%
80歳代	779 100.0%	99 12.7%	59 7.6%	49 6.3%	36 4.6%	70 9.0%	107 13.7%	113 14.5%	156 20.0%	37 4.7%	0 0.0%	53 6.8%
90歳以上	282 100.0%	13 4.6%	17 6.0%	15 5.3%	6 2.1%	22 7.8%	18 6.4%	47 16.7%	51 18.1%	45 16.0%	14 5.0%	34 12.1%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-16b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	視覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	590	285	195	186	304	338	334	247	83	14	168
	100.0%	21.5%	10.4%	7.1%	6.8%	11.1%	12.3%	12.2%	9.0%	3.0%	0.5%	6.1%
視覚1・2級	860	213	104	73	77	118	98	73	53	14	4	33
聴覚1・2級	100.0%	24.8%	12.1%	8.5%	9.0%	13.7%	11.4%	8.5%	6.2%	1.6%	0.5%	3.8%
視覚1・2級	762	146	83	55	55	73	103	103	81	27	4	32
聴覚3-6級	100.0%	19.2%	10.9%	7.2%	7.2%	9.6%	13.5%	13.5%	10.6%	3.5%	0.5%	4.2%
視覚3-6級	141	41	9	6	6	20	22	19	6	2	0	10
聴覚1・2級	100.0%	29.1%	6.4%	4.3%	4.3%	14.2%	15.6%	13.5%	4.3%	1.4%	0.0%	7.1%
視覚3-6級	602	125	56	32	25	51	74	92	77	31	4	35
聴覚3-6級	100.0%	20.8%	9.3%	5.3%	4.2%	8.5%	12.3%	15.3%	12.8%	5.1%	0.7%	5.8%
無回答	379	65	33	29	23	42	41	47	30	9	2	58
	100.0%	17.2%	8.7%	7.7%	6.1%	11.1%	10.8%	12.4%	7.9%	2.4%	0.5%	15.3%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-16c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	視覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	590	285	195	186	304	338	334	247	83	14	168
	100.0%	21.5%	10.4%	7.1%	6.8%	11.1%	12.3%	12.2%	9.0%	3.0%	0.5%	6.1%
全盲ろう	437	115	48	35	32	70	55	37	23	4	0	18
	100.0%	26.3%	11.0%	8.0%	7.3%	16.0%	12.6%	8.5%	5.3%	0.9%	0.0%	4.1%
全盲難聴	1130	197	104	81	83	115	151	152	123	53	11	60
	100.0%	17.4%	9.2%	7.2%	7.3%	10.2%	13.4%	13.5%	10.9%	4.7%	1.0%	5.3%
弱視ろう	211	68	27	15	17	27	24	13	6	4	0	10
	100.0%	32.2%	12.8%	7.1%	8.1%	12.8%	11.4%	6.2%	2.8%	1.9%	0.0%	4.7%
弱視難聴	722	165	83	45	38	77	79	106	72	19	2	36
	100.0%	22.9%	11.5%	6.2%	5.3%	10.7%	10.9%	14.7%	10.0%	2.6%	0.3%	5.0%
無回答	244	45	23	19	16	15	29	26	23	3	1	44
	100.0%	18.4%	9.4%	7.8%	6.6%	6.1%	11.9%	10.7%	9.4%	1.2%	0.4%	18.0%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と視覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-16d 視聴覚障害経緯（5分類）と視覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	視覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744 100.0%	590 21.5%	285 10.4%	195 7.1%	186 6.8%	304 11.1%	338 12.3%	334 12.2%	247 9.0%	83 3.0%	14 0.5%	168 6.1%
先天性	219 100.0%	219 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
盲ベース	143 100.0%	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ろうベース	335 100.0%	38 11.3%	65 19.4%	36 10.7%	41 12.2%	76 22.7%	39 11.6%	29 8.7%	11 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
後天性（成人期）	1503 100.0%	171 11.4%	210 14.0%	149 9.9%	137 9.1%	213 14.2%	288 19.2%	231 15.4%	79 5.3%	23 1.5%	2 0.1%	0 0.0%
後天性（高齢期）	276 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	60 21.7%	149 54.0%	56 20.3%	11 4.0%	0 0.0%
無回答	268 100.0%	19 7.1%	10 3.7%	10 3.7%	8 3.0%	15 5.6%	11 4.1%	14 5.2%	8 3.0%	4 1.5%	1 0.4%	168 62.7%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-16e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	視覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744 100.0%	590 21.5%	285 10.4%	195 7.1%	186 6.8%	304 11.1%	338 12.3%	334 12.2%	247 9.0%	83 3.0%	14 0.5%	168 6.1%
音声（発話）	1795 100.0%	344 19.2%	172 9.6%	131 7.3%	122 6.8%	178 9.9%	224 12.5%	240 13.4%	194 10.8%	65 3.6%	13 0.7%	112 6.2%
手話	198 100.0%	52 26.3%	29 14.6%	13 6.6%	16 8.1%	40 20.2%	23 11.6%	14 7.1%	6 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.5%
指文字	25 100.0%	10 40.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	3 12.0%	3 12.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	248 100.0%	48 19.4%	32 12.9%	17 6.9%	14 5.6%	28 11.3%	38 15.3%	33 13.3%	14 5.6%	7 2.8%	0 0.0%	17 6.9%
その他	95 100.0%	46 48.4%	9 9.5%	4 4.2%	6 6.3%	6 6.3%	6 6.3%	6 6.3%	4 4.2%	1 1.1%	0 0.0%	7 7.4%
特にない	258 100.0%	60 23.3%	28 10.9%	18 7.0%	14 5.4%	34 13.2%	33 12.8%	29 11.2%	20 7.8%	7 2.7%	1 0.4%	14 5.4%
無回答	125 100.0%	30 24.0%	13 10.4%	9 7.2%	13 10.4%	15 12.0%	11 8.8%	10 8.0%	8 6.4%	3 2.4%	0 0.0%	13 10.4%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-16f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	視覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総数	2744	590	285	195	186	304	338	334	247	83	14	168
	100.0%	21.5%	10.4%	7.1%	6.8%	11.1%	12.3%	12.2%	9.0%	3.0%	0.5%	6.1%
音声（聴覚）	1634	299	163	110	102	163	205	226	184	66	12	104
	100.0%	18.3%	10.0%	6.7%	6.2%	10.0%	12.5%	13.8%	11.3%	4.0%	0.7%	6.4%
手話を見る	106	37	15	10	6	13	9	8	5	0	0	3
	100.0%	34.9%	14.2%	9.4%	5.7%	12.3%	8.5%	7.5%	4.7%	0.0%	0.0%	2.8%
手話を触る（触手話）	95	17	12	5	10	28	11	5	2	0	1	4
	100.0%	17.9%	12.6%	5.3%	10.5%	29.5%	11.6%	5.3%	2.1%	0.0%	1.1%	4.2%
指文字を見る	11	5	0	2	1	1	1	0	0	0	0	1
	100.0%	45.5%	0.0%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
指文字を触る	11	7	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0
	100.0%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手書き文字	132	24	16	13	12	17	26	10	4	2	0	8
	100.0%	18.2%	12.1%	9.8%	9.1%	12.9%	19.7%	7.6%	3.0%	1.5%	0.0%	6.1%
筆記（筆談）	258	64	29	12	21	29	29	36	15	8	0	15
	100.0%	24.8%	11.2%	4.7%	8.1%	11.2%	11.2%	14.0%	5.8%	3.1%	0.0%	5.8%
点字・指点字	25	9	4	4	3	3	1	0	0	0	0	1
	100.0%	36.0%	16.0%	16.0%	12.0%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
その他	89	40	5	5	2	2	8	12	7	1	0	7
	100.0%	44.9%	5.6%	5.6%	2.2%	2.2%	9.0%	13.5%	7.9%	1.1%	0.0%	7.9%
特にない	209	51	19	17	13	24	31	21	19	4	1	9
	100.0%	24.4%	9.1%	8.1%	6.2%	11.5%	14.8%	10.0%	9.1%	1.9%	0.5%	4.3%
無回答	174	37	21	17	16	22	16	16	11	2	0	16
	100.0%	21.3%	12.1%	9.8%	9.2%	12.6%	9.2%	9.2%	6.3%	1.1%	0.0%	9.2%

## (2) 視覚障害の進行

### ■ 年齢階級と視覚障害の進行のクロス

- ・かなり進行していると回答した平均は5割で年齢階層が上がるにつれて、割合は高くなっている。
- ・やや進行していると回答した平均は3割で20歳代-30歳代にかけて高くなっており、若年階層、高齢階層では低くなっている。
- ・進行していないと回答した平均は1割強で10歳代 - 20歳代にかけては7割近くになっている。年齢階層が高くなるにつれて、割合が低くなっている。

表 2-2-17a 年齢階級と視覚障害の進行のクロス

	総計	しか てな い り る 進 行	て や い や る 進 行 し	な 進 行 し て い	無 回 答
総計	2744 100.0%	1526 55.6%	742 27.0%	394 14.4%	82 3.0%
10歳未満	24 100.0%	5 20.8%	2 8.3%	17 70.8%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	5 16.7%	5 16.7%	20 66.7%	0 0.0%
20歳代	51 100.0%	20 39.2%	17 33.3%	13 25.5%	1 2.0%
30歳代	76 100.0%	32 42.1%	31 40.8%	13 17.1%	0 0.0%
40歳代	126 100.0%	51 40.5%	44 34.9%	25 19.8%	6 4.8%
50歳代	226 100.0%	117 51.8%	68 30.1%	37 16.4%	4 1.8%
60歳代	426 100.0%	220 51.6%	116 27.2%	77 18.1%	13 3.1%
70歳代	724 100.0%	439 60.6%	182 25.1%	81 11.2%	22 3.0%
80歳代	779 100.0%	469 60.2%	196 25.2%	85 10.9%	29 3.7%
90歳以上	282 100.0%	168 59.6%	81 28.7%	26 9.2%	7 2.5%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害の進行のクロス

表 2-2-17b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害の進行のクロス

	総計	しか てな いり る進 行	てや いや る進 行し	な進 い行 してい	無 回 答
総数	2744 100.0%	1526 55.6%	742 27.0%	394 14.4%	82 3.0%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	498 57.9%	220 25.6%	122 14.2%	20 2.3%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	504 66.1%	159 20.9%	90 11.8%	9 1.2%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	71 50.4%	53 37.6%	15 10.6%	2 1.4%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	251 41.7%	222 36.9%	117 19.4%	12 2.0%
無回答	379 100.0%	202 53.3%	88 23.2%	50 13.2%	39 10.3%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視覚障害の進行のクロス

表 2-2-17c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視覚障害の進行のクロス

	総計	しか てな いり る進 行	てや いや る進 行し	な進 い行 してい	無 回 答
総数	2744 100.0%	1526 55.6%	742 27.0%	394 14.4%	82 3.0%
全盲ろう	437 100.0%	304 69.6%	68 15.6%	60 13.7%	5 1.1%
全盲難聴	1130 100.0%	753 66.6%	222 19.6%	136 12.0%	19 1.7%
弱視ろう	211 100.0%	76 36.0%	96 45.5%	35 16.6%	4 1.9%
弱視難聴	722 100.0%	290 40.2%	290 40.2%	133 18.4%	9 1.2%
無回答	244 100.0%	103 42.2%	66 27.0%	30 12.3%	45 18.4%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と視覚障害の進行のクロス

表 2-2-17d 視聴覚障害経緯（5分類）と視覚障害の進行のクロス

	総計	しか てな い り る 進 行	て や い や る 進 行 し	な 進 い 行 し て い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1526 55.6%	742 27.0%	394 14.4%	82 3.0%
先天性	219 100.0%	84 38.4%	56 25.6%	75 34.2%	4 1.8%
盲ベース	143 100.0%	77 53.8%	28 19.6%	35 24.5%	3 2.1%
ろうベース	335 100.0%	186 55.5%	103 30.7%	38 11.3%	8 2.4%
後天性（成人期）	1503 100.0%	917 61.0%	395 26.3%	173 11.5%	18 1.2%
後天性（高齢期）	276 100.0%	154 55.8%	94 34.1%	26 9.4%	2 0.7%
無回答	268 100.0%	108 40.3%	66 24.6%	47 17.5%	47 17.5%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視覚障害の進行のクロス

表 2-2-17e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視覚障害の進行のクロス

	総計	しか てな い り る 進 行	て や い や る 進 行 し	な 進 い 行 し て い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1526 55.6%	742 27.0%	394 14.4%	82 3.0%
音声（発話）	1795 100.0%	1071 59.7%	440 24.5%	241 13.4%	43 2.4%
手話	198 100.0%	92 46.5%	68 34.3%	34 17.2%	4 2.0%
指文字	25 100.0%	18 72.0%	2 8.0%	4 16.0%	1 4.0%
文字（筆談・空書き・ての）	248 100.0%	129 52.0%	85 34.3%	22 8.9%	12 4.8%
その他	95 100.0%	44 46.3%	24 25.3%	25 26.3%	2 2.1%
特にない	258 100.0%	111 43.0%	83 32.2%	52 20.2%	12 4.7%
無回答	125 100.0%	61 48.8%	40 32.0%	16 12.8%	8 6.4%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視覚障害の進行のクロス

表 2-2-17f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視覚障害の進行のクロス

	総計	しか てな い り る 進 行	て や い や る 進 行 し	な 進 い 行 し て い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1526 55.6%	742 27.0%	394 14.4%	82 3.0%
音声（聴覚）	1634 100.0%	965 59.1%	400 24.5%	231 14.1%	38 2.3%
手話を見る	106 100.0%	31 29.2%	53 50.0%	19 17.9%	3 2.8%
手話を触る （触手話）	95 100.0%	70 73.7%	13 13.7%	10 10.5%	2 2.1%
指文字を見る	11 100.0%	0 0.0%	3 27.3%	6 54.5%	2 18.2%
指文字を触る	11 100.0%	10 90.9%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
手書き文字	132 100.0%	90 68.2%	26 19.7%	10 7.6%	6 4.5%
筆記（筆談）	258 100.0%	131 50.8%	97 37.6%	23 8.9%	7 2.7%
点字・指点字	25 100.0%	13 52.0%	3 12.0%	7 28.0%	2 8.0%
その他	89 100.0%	43 48.3%	20 22.5%	22 24.7%	4 4.5%
特にない	209 100.0%	95 45.5%	65 31.1%	41 19.6%	8 3.8%
無回答	174 100.0%	78 44.8%	62 35.6%	24 13.8%	10 5.7%

### (3) 視力の状態 (下位項目)

#### ■ 年齢階級と視力の状態のクロス

- ・大きな文字を読めるが平均で約3割と高い割合である。全年齢階層でも割合に大きな変化は見られない。
- ・光も感じない、明るい光は見えるの平均は約2割となっている。全年齢階層でも割合に大きな変化は見られない。
- ・小さな文字を読めるの平均が最も低く1割を切っている。10-40歳代の割合が高く、50歳代以降は徐々に低くなっている。

表 2-2-18a 年齢階級と視力の状態のクロス

	総 数	光 も 感 じ な い	明 る い 光 は 見 え る	目 の 前 で 手 を 動 か せ ば わ か る	目 の 前 の 指 れ の 本 数 が 数 え ら れ る	大 き な 文 字 を 読 め る	小 さ な 文 字 を 読 め る	無 回 答
総数	2744 100.0%	488 17.8%	498 18.1%	355 12.9%	266 9.7%	779 28.4%	172 6.3%	186 6.8%
10歳未満	24 100.0%	4 16.7%	5 20.8%	2 8.3%	3 12.5%	8 33.3%	2 8.3%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	6 20.0%	4 13.3%	5 16.7%	5 16.7%	6 20.0%	3 10.0%	1 3.3%
20歳代	51 100.0%	9 17.6%	15 29.4%	5 9.8%	2 3.9%	11 21.6%	9 17.6%	0 0.0%
30歳代	76 100.0%	15 19.7%	8 10.5%	8 10.5%	3 3.9%	24 31.6%	12 15.8%	6 7.9%
40歳代	126 100.0%	18 14.3%	16 12.7%	13 10.3%	9 7.1%	46 36.5%	17 13.5%	7 5.6%
50歳代	226 100.0%	34 15.0%	40 17.7%	30 13.3%	11 4.9%	78 34.5%	18 8.0%	15 6.6%
60歳代	426 100.0%	75 17.6%	88 20.7%	60 14.1%	34 8.0%	122 28.6%	18 4.2%	29 6.8%
70歳代	724 100.0%	153 21.1%	135 18.6%	79 10.9%	71 9.8%	198 27.3%	39 5.4%	49 6.8%
80歳代	779 100.0%	130 16.7%	125 16.0%	101 13.0%	97 12.5%	217 27.9%	44 5.6%	65 8.3%
90歳以上	282 100.0%	44 15.6%	62 22.0%	52 18.4%	31 11.0%	69 24.5%	10 3.5%	14 5.0%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視力の状態のクロス

表 2-2-18b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視力の状態のクロス

	総 数	光 も 感 じ な い	る 明 る い 光 は 見 え	か 目 の 前 で か 手 を 動	数 目 の 前 の 指 れ の 本	め 大 き な 文 字 を 読	め 小 さ な 文 字 を 読	無 回 答
総数	2744 100.0%	488 17.8%	498 18.1%	355 12.9%	266 9.7%	779 28.4%	172 6.3%	186 6.8%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860 100.0%	194 22.6%	206 24.0%	107 12.4%	67 7.8%	195 22.7%	42 4.9%	49 5.7%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762 100.0%	164 21.5%	163 21.4%	121 15.9%	85 11.2%	179 23.5%	24 3.1%	26 3.4%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141 100.0%	9 6.4%	11 7.8%	27 19.1%	13 9.2%	56 39.7%	15 10.6%	10 7.1%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602 100.0%	36 6.0%	45 7.5%	57 9.5%	64 10.6%	276 45.8%	77 12.8%	47 7.8%
無回答	379 100.0%	85 22.4%	73 19.3%	43 11.3%	37 9.8%	73 19.3%	14 3.7%	54 14.2%

■ 視視聴覚障害組み合わせ（状態）と視力の状態のクロス

表 2-2-18c 視視聴覚障害組み合わせ（状態）と視力の状態のクロス

	総 数	光 も 感 じ な い	る 明 る い 光 は 見 え	か 目 の 前 で か 手 を 動	数 目 の 前 の 指 れ の 本	め 大 き な 文 字 を 読	め 小 さ な 文 字 を 読	無 回 答
総数	2744 100.0%	488 17.8%	498 18.1%	355 12.9%	266 9.7%	779 28.4%	172 6.3%	186 6.8%
全盲ろう	437 100.0%	154 35.2%	161 36.8%	77 17.6%	45 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
全盲難聴	1130 100.0%	320 28.3%	325 28.8%	270 23.9%	215 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
弱視ろう	211 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	169 80.1%	42 19.9%	0 0.0%
弱視難聴	722 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	595 82.4%	127 17.6%	0 0.0%
無回答	244 100.0%	14 5.7%	12 4.9%	8 3.3%	6 2.5%	15 6.1%	3 1.2%	186 76.2%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と視力の状態のクロス

表 2-2-18d 視聴覚障害経緯（5分類）と視力の状態のクロス

	総 数	光 も 感 じ な い	る 明 る い 光 は 見 え	か 目 の 前 で 手 を 動 か せ ば わ か る	数 目 の 前 の 指 れ の 本	め 大 き な 文 字 を 読 める	め 小 さ な 文 字 を 読 める	無 回 答
総数	2744 100.0%	488 17.8%	498 18.1%	355 12.9%	266 9.7%	779 28.4%	172 6.3%	186 6.8%
先天性	219 100.0%	52 23.7%	42 19.2%	16 7.3%	19 8.7%	62 28.3%	17 7.8%	11 5.0%
盲ベース	143 100.0%	32 22.4%	13 9.1%	15 10.5%	14 9.8%	54 37.8%	6 4.2%	9 6.3%
ろうベース	335 100.0%	57 17.0%	80 23.9%	41 12.2%	21 6.3%	84 25.1%	31 9.3%	21 6.3%
後天性（成人期）	1503 100.0%	263 17.5%	267 17.8%	199 13.2%	150 10.0%	437 29.1%	96 6.4%	91 6.1%
後天性（高齢期）	276 100.0%	28 10.1%	55 19.9%	55 19.9%	39 14.1%	71 25.7%	12 4.3%	16 5.8%
無回答	268 100.0%	56 20.9%	41 15.3%	29 10.8%	23 8.6%	71 26.5%	10 3.7%	38 14.2%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視力の状態のクロス

表 2-2-18e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視力の状態のクロス

	総 数	光 も 感 じ な い	る 明 る い 光 は 見 え	か 目 の 前 で 手 を 動 か せ ば わ か る	数 目 の 前 の 指 れ の 本	め 大 き な 文 字 を 読 める	め 小 さ な 文 字 を 読 める	無 回 答
総数	2744 100.0%	488 17.8%	498 18.1%	355 12.9%	266 9.7%	779 28.4%	172 6.3%	186 6.8%
先天性	219 100.0%	52 23.7%	42 19.2%	16 7.3%	19 8.7%	62 28.3%	17 7.8%	11 5.0%
盲ベース	143 100.0%	32 22.4%	13 9.1%	15 10.5%	14 9.8%	54 37.8%	6 4.2%	9 6.3%
ろうベース	335 100.0%	57 17.0%	80 23.9%	41 12.2%	21 6.3%	84 25.1%	31 9.3%	21 6.3%
後天性（成人期）	1503 100.0%	263 17.5%	267 17.8%	199 13.2%	150 10.0%	437 29.1%	96 6.4%	91 6.1%
後天性（高齢期）	276 100.0%	28 10.1%	55 19.9%	55 19.9%	39 14.1%	71 25.7%	12 4.3%	16 5.8%
無回答	268 100.0%	56 20.9%	41 15.3%	29 10.8%	23 8.6%	71 26.5%	10 3.7%	38 14.2%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視力の状態のクロス

表 2-2-18f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視力の状態のクロス

	総 数	光 も 感 じ な い	る 明 る い 光 は 見 え	か 目 の 前 で か わ か る	目 の 前 の 指 の 本	め 大 き な 文 字 を 読 め	め 小 さ な 文 字 を 読 め	無 回 答
総数	2744 100.0%	488 17.8%	498 18.1%	355 12.9%	266 9.7%	779 28.4%	172 6.3%	186 6.8%
音声（聴覚）	1634 100.0%	288 17.6%	296 18.1%	223 13.6%	183 11.2%	454 27.8%	89 5.4%	101 6.2%
手話を見る	106 100.0%	4 3.8%	7 6.6%	14 13.2%	11 10.4%	49 46.2%	13 12.3%	8 7.5%
手話を触る （触手話）	95 100.0%	18 18.9%	49 51.6%	12 12.6%	1 1.1%	7 7.4%	2 2.1%	6 6.3%
指文字を見る	11 100.0%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%
指文字を触る	11 100.0%	6 54.5%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
手書き文字	132 100.0%	46 34.8%	40 30.3%	15 11.4%	9 6.8%	13 9.8%	0 0.0%	9 6.8%
筆記（筆談）	258 100.0%	6 2.3%	13 5.0%	30 11.6%	24 9.3%	133 51.6%	37 14.3%	15 5.8%
点字・指点字	25 100.0%	18 72.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%
その他	89 100.0%	24 27.0%	21 23.6%	16 18.0%	10 11.2%	11 12.4%	2 2.2%	5 5.6%
特にない	209 100.0%	45 21.5%	37 17.7%	26 12.4%	9 4.3%	58 27.8%	14 6.7%	20 9.6%
無回答	174 100.0%	32 18.4%	29 16.7%	14 8.0%	17 9.8%	48 27.6%	14 8.0%	20 11.5%

#### (4) 視野の状態

##### ■ 年齢階級と視野の状態のクロス

- ・周辺が見えにくいのが平均の割合が最も高く約5割となっている。10歳未満-10歳代は低いが、その他の年齢階層では5-6割の間で推移している。
- ・視野に障害はない、中心が見えにくいでは平均約1割となっている。割合は年齢階層でばらつきがある。

表 2-2-19a 年齢階級と視野の状態のクロス

	総数	は視 な野 いに 障害	に中 く心 いが 見え	に周 く辺 いが 見え	そ の 他	無 回 答
総数	1572 100.0%	144 9.2%	211 13.4%	777 49.4%	332 21.1%	108 6.9%
10歳未満	15 100.0%	1 6.7%	3 20.0%	6 40.0%	5 33.3%	0 0.0%
10歳代	19 100.0%	3 15.8%	1 5.3%	5 26.3%	9 47.4%	1 5.3%
20歳代	27 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 55.6%	12 44.4%	0 0.0%
30歳代	47 100.0%	2 4.3%	4 8.5%	26 55.3%	14 29.8%	1 2.1%
40歳代	85 100.0%	6 7.1%	6 7.1%	51 60.0%	19 22.4%	3 3.5%
50歳代	137 100.0%	14 10.2%	23 16.8%	72 52.6%	21 15.3%	7 5.1%
60歳代	234 100.0%	20 8.5%	34 14.5%	123 52.6%	44 18.8%	13 5.6%
70歳代	387 100.0%	35 9.0%	45 11.6%	189 48.8%	84 21.7%	34 8.8%
80歳代	459 100.0%	51 11.1%	62 13.5%	216 47.1%	93 20.3%	37 8.1%
90歳以上	162 100.0%	12 7.4%	33 20.4%	74 45.7%	31 19.1%	12 7.4%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視野の状態のクロス

表 2-2-19b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視野の状態のクロス

	総数	は視 な野 いに 障害	に中 く心 いが 見え	に周 く辺 いが 見え	そ の 他	無 回 答
総数	1572 100.0%	144 9.2%	211 13.4%	777 49.4%	332 21.1%	108 6.9%
視覚1・2級	411	30	50	230	78	23
聴覚1・2級	100.0%	7.3%	12.2%	56.0%	19.0%	5.6%
視覚1・2級	409	25	58	210	96	20
聴覚3-6級	100.0%	6.1%	14.2%	51.3%	23.5%	4.9%
視覚3-6級	111	13	17	58	20	3
聴覚1・2級	100.0%	11.7%	15.3%	52.3%	18.0%	2.7%
視覚3-6級	474	59	59	199	111	46
聴覚3-6級	100.0%	12.4%	12.4%	42.0%	23.4%	9.7%
無回答	167	17	27	80	27	16
	100.0%	10.2%	16.2%	47.9%	16.2%	9.6%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視野の状態のクロス

表 2-2-19c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視野の状態のクロス

	総数	は視 な野 いに 障害	に中 く心 いが 見え	に周 く辺 いが 見え	そ の 他	無 回 答
総数	1572 100.0%	144 9.2%	211 13.4%	777 49.4%	332 21.1%	108 6.9%
全盲ろう	122	2	19	67	29	5
	100.0%	1.6%	15.6%	54.9%	23.8%	4.1%
全盲難聴	485	26	86	234	104	35
	100.0%	5.4%	17.7%	48.2%	21.4%	7.2%
弱視ろう	211	21	23	112	41	14
	100.0%	10.0%	10.9%	53.1%	19.4%	6.6%
弱視難聴	722	95	76	353	151	47
	100.0%	13.2%	10.5%	48.9%	20.9%	6.5%
無回答	32	0	7	11	7	7
	100.0%	0.0%	21.9%	34.4%	21.9%	21.9%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と視野の状態のクロス

表 2-2-19d 視聴覚障害経緯（5分類）と視野の状態のクロス

	総数	は視 な野 いに 障害	に中 く心 いが 見え	に周 く辺 いが 見え	そ の 他	無 回 答
総数	1572 100.0%	144 9.2%	211 13.4%	777 49.4%	332 21.1%	108 6.9%
先天性	114 100.0%	11 9.6%	13 11.4%	47 41.2%	34 29.8%	9 7.9%
盲ベース	89 100.0%	13 14.6%	9 10.1%	44 49.4%	20 22.5%	3 3.4%
ろうベース	177 100.0%	12 6.8%	21 11.9%	109 61.6%	28 15.8%	7 4.0%
後天性（成人期）	882 100.0%	88 10.0%	122 13.8%	432 49.0%	183 20.7%	57 6.5%
後天性（高齢期）	177 100.0%	11 6.2%	30 16.9%	89 50.3%	38 21.5%	9 5.1%
無回答	133 100.0%	9 6.8%	16 12.0%	56 42.1%	29 21.8%	23 17.3%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視野の状態のクロス

表 2-2-19e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視野の状態のクロス

	総数	は視 な野 いに 障害	に中 く心 いが 見え	に周 く辺 いが 見え	そ の 他	無 回 答
総数	1572 100.0%	144 9.2%	211 13.4%	777 49.4%	332 21.1%	108 6.9%
音声（発話）	1039 100.0%	100 9.6%	155 14.9%	491 47.3%	225 21.7%	68 6.5%
手話	107 100.0%	9 8.4%	9 8.4%	65 60.7%	22 20.6%	2 1.9%
指文字	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	162 100.0%	15 9.3%	15 9.3%	92 56.8%	27 16.7%	13 8.0%
その他	38 100.0%	1 2.6%	4 10.5%	14 36.8%	17 44.7%	2 5.3%
特にない	147 100.0%	15 10.2%	20 13.6%	75 51.0%	25 17.0%	12 8.2%
無回答	72 100.0%	4 5.6%	7 9.7%	36 50.0%	15 20.8%	10 13.9%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視野の状態のクロス

表 2-2-19f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視野の状態のクロス

	総 数	は視 な野 いに 障害	に中 く心 いが 見え	に周 く辺 いが 見え	そ の 他	無 回 答
総数	1572 100.0%	144 9.2%	211 13.4%	777 49.4%	332 21.1%	108 6.9%
音声（聴覚）	949 100.0%	96 10.1%	143 15.1%	445 46.9%	203 21.4%	62 6.5%
手話を見る	87 100.0%	8 9.2%	9 10.3%	52 59.8%	17 19.5%	1 1.1%
手話を触る （触手話）	22 100.0%	0 0.0%	4 18.2%	13 59.1%	4 18.2%	1 4.5%
指文字を見る	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%
指文字を触る	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
手書き文字	37 100.0%	1 2.7%	6 16.2%	23 62.2%	6 16.2%	1 2.7%
筆記（筆談）	224 100.0%	18 8.0%	19 8.5%	128 57.1%	43 19.2%	16 7.1%
点字・指点字	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
その他	39 100.0%	2 5.1%	5 12.8%	17 43.6%	12 30.8%	3 7.7%
特にない	107 100.0%	13 12.1%	12 11.2%	47 43.9%	22 20.6%	13 12.1%
無回答	93 100.0%	5 5.4%	10 10.8%	46 49.5%	22 23.7%	10 10.8%

## (5) 視覚障害等級

### ■ 年齢階級と視覚障害等級のクロス

- ・10歳未満-30歳代は視覚障害総数は2桁にとどまっているが、30歳代以降になると3桁になり、年齢階層が上がるにつれ総数も高くなる。90歳代になると総数は低くなる。
- ・1級の割合が平均で4割弱、2級の割合が3割弱と高い割合となっている。全年齢階層で割合の推移は小さい。
- ・3-6級では平均が1割を切っている。5級では10歳未満の割合が高くなっている。

表 2-2-20a 年齢階級と視覚障害等級のクロス

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
総数	2744	1013	785	226	174	241	120	185
	100.0%	36.9%	28.6%	8.2%	6.3%	8.8%	4.4%	6.7%
10歳未満	24	11	4	0	1	7	0	1
	100.0%	45.8%	16.7%	0.0%	4.2%	29.2%	0.0%	4.2%
10歳代	30	12	9	4	1	3	1	0
	100.0%	40.0%	30.0%	13.3%	3.3%	10.0%	3.3%	0.0%
20歳代	51	24	14	3	3	5	1	1
	100.0%	47.1%	27.5%	5.9%	5.9%	9.8%	2.0%	2.0%
30歳代	76	32	26	7	3	6	1	1
	100.0%	42.1%	34.2%	9.2%	3.9%	7.9%	1.3%	1.3%
40歳代	126	39	49	11	4	12	3	8
	100.0%	31.0%	38.9%	8.7%	3.2%	9.5%	2.4%	6.3%
50歳代	226	100	74	14	9	14	3	12
	100.0%	44.2%	32.7%	6.2%	4.0%	6.2%	1.3%	5.3%
60歳代	426	179	112	32	26	31	16	30
	100.0%	42.0%	26.3%	7.5%	6.1%	7.3%	3.8%	7.0%
70歳代	724	290	180	59	41	58	37	59
	100.0%	40.1%	24.9%	8.1%	5.7%	8.0%	5.1%	8.1%
80歳代	779	239	234	71	64	83	42	46
	100.0%	30.7%	30.0%	9.1%	8.2%	10.7%	5.4%	5.9%
90歳以上	282	87	83	25	22	22	16	27
	100.0%	30.9%	29.4%	8.9%	7.8%	7.8%	5.7%	9.6%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害等級のクロス

表 2-2-20b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と視覚障害等級のクロス

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
総数	2744	1013	785	226	174	241	120	185
	100.0%	36.9%	28.6%	8.2%	6.3%	8.8%	4.4%	6.7%
視覚1・2級 聴覚1・2級	860	498	362	0	0	0	0	0
	100.0%	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762	376	386	0	0	0	0	0
	100.0%	49.3%	50.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141	0	0	54	30	39	18	0
	100.0%	0.0%	0.0%	38.3%	21.3%	27.7%	12.8%	0.0%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602	0	0	167	139	195	101	0
	100.0%	0.0%	0.0%	27.7%	23.1%	32.4%	16.8%	0.0%
無回答	379	139	37	5	5	7	1	185
	100.0%	36.7%	9.8%	1.3%	1.3%	1.8%	0.3%	48.8%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視覚障害等級のクロス

表 2-2-20c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と視覚障害等級のクロス

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
総数	2744	1013	785	226	174	241	120	185
	100.0%	36.9%	28.6%	8.2%	6.3%	8.8%	4.4%	6.7%
全盲ろう	437	273	89	21	12	15	6	21
	100.0%	62.5%	20.4%	4.8%	2.7%	3.4%	1.4%	4.8%
全盲難聴	1130	550	309	78	60	43	27	63
	100.0%	48.7%	27.3%	6.9%	5.3%	3.8%	2.4%	5.6%
弱視ろう	211	57	64	35	12	19	12	12
	100.0%	27.0%	30.3%	16.6%	5.7%	9.0%	5.7%	5.7%
弱視難聴	722	80	259	62	75	142	64	40
	100.0%	11.1%	35.9%	8.6%	10.4%	19.7%	8.9%	5.5%
無回答	244	53	64	30	15	22	11	49
	100.0%	21.7%	26.2%	12.3%	6.1%	9.0%	4.5%	20.1%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と視覚障害等級のクロス

表 2-2-20d 視聴覚障害経緯（5分類）と視覚障害等級のクロス

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
総数	2744	1013	785	226	174	241	120	185
	100.0%	36.9%	28.6%	8.2%	6.3%	8.8%	4.4%	6.7%
先天性	219	97	45	22	9	24	10	12
	100.0%	44.3%	20.5%	10.0%	4.1%	11.0%	4.6%	5.5%
盲ベース	143	64	31	16	6	11	10	5
	100.0%	44.8%	21.7%	11.2%	4.2%	7.7%	7.0%	3.5%
ろうベース	335	157	102	16	21	21	3	15
	100.0%	46.9%	30.4%	4.8%	6.3%	6.3%	0.9%	4.5%
後天性（成人期）	1503	553	443	121	104	132	73	77
	100.0%	36.8%	29.5%	8.1%	6.9%	8.8%	4.9%	5.1%
後天性（高齢期）	276	66	93	26	19	34	16	22
	100.0%	23.9%	33.7%	9.4%	6.9%	12.3%	5.8%	8.0%
無回答	268	76	71	25	15	19	8	54
	100.0%	28.4%	26.5%	9.3%	5.6%	7.1%	3.0%	20.1%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視覚障害等級のクロス

表 2-2-20e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と視覚障害等級のクロス

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
総数	2744	1013	785	226	174	241	120	185
	100.0%	36.9%	28.6%	8.2%	6.3%	8.8%	4.4%	6.7%
音声（発話）	1795	632	544	150	115	157	80	117
	100.0%	35.2%	30.3%	8.4%	6.4%	8.7%	4.5%	6.5%
手話	198	97	54	17	7	12	5	6
	100.0%	49.0%	27.3%	8.6%	3.5%	6.1%	2.5%	3.0%
指文字	25	14	6	0	2	0	0	3
	100.0%	56.0%	24.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	12.0%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	248	89	68	18	18	21	9	25
	100.0%	35.9%	27.4%	7.3%	7.3%	8.5%	3.6%	10.1%
その他	95	51	17	5	5	7	4	6
	100.0%	53.7%	17.9%	5.3%	5.3%	7.4%	4.2%	6.3%
特にない	258	83	66	22	19	31	19	18
	100.0%	32.2%	25.6%	8.5%	7.4%	12.0%	7.4%	7.0%
無回答	125	47	30	14	8	13	3	10
	100.0%	37.6%	24.0%	11.2%	6.4%	10.4%	2.4%	8.0%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視覚障害等級のクロス

表 2-2-20f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と視覚障害等級のクロス

	総 数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	無 回 答
総数	2744	1013	785	226	174	241	120	185
	100.0%	36.9%	28.6%	8.2%	6.3%	8.8%	4.4%	6.7%
音声（聴覚）	1634	569	488	133	110	153	75	106
	100.0%	34.8%	29.9%	8.1%	6.7%	9.4%	4.6%	6.5%
手話を見る	106	33	33	14	5	11	6	4
	100.0%	31.1%	31.1%	13.2%	4.7%	10.4%	5.7%	3.8%
手話を触る （触手話）	95	66	19	4	1	2	1	2
	100.0%	69.5%	20.0%	4.2%	1.1%	2.1%	1.1%	2.1%
指文字を見る	11	3	3	2	0	1	0	2
	100.0%	27.3%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%
指文字を触る	11	10	1	0	0	0	0	0
	100.0%	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手書き文字	132	80	29	5	4	2	0	12
	100.0%	60.6%	22.0%	3.8%	3.0%	1.5%	0.0%	9.1%
筆記（筆談）	258	47	84	36	26	32	13	20
	100.0%	18.2%	32.6%	14.0%	10.1%	12.4%	5.0%	7.8%
点字・指点字	25	20	3	1	0	0	0	1
	100.0%	80.0%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
その他	89	42	21	7	3	5	3	8
	100.0%	47.2%	23.6%	7.9%	3.4%	5.6%	3.4%	9.0%
特にない	209	70	52	16	19	22	14	16
	100.0%	33.5%	24.9%	7.7%	9.1%	10.5%	6.7%	7.7%
無回答	174	73	52	8	6	13	8	14
	100.0%	42.0%	29.9%	4.6%	3.4%	7.5%	4.6%	8.0%

## 6. 聴覚障害

### (1) 聴覚障害の発症年齢（階級・平均）

#### ■ 年齢階級と聴覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-21a 年齢階級と聴覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	聴覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744 100.0%	774 28.2%	250 9.1%	138 5.0%	171 6.2%	208 7.6%	255 9.3%	332 12.1%	303 11.0%	116 4.2%	14 0.5%	183 6.7%
10歳未満	24 100.0%	22 91.7%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	27 90.0%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
20歳代	51 100.0%	41 80.4%	7 13.7%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 2.0%
30歳代	76 100.0%	50 65.8%	13 17.1%	6 7.9%	3 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.3%
40歳代	126 100.0%	81 64.3%	14 11.1%	15 11.9%	6 4.8%	7 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.4%
50歳代	226 100.0%	132 58.4%	27 11.9%	13 5.8%	21 9.3%	12 5.3%	9 4.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 4.9%
60歳代	426 100.0%	174 40.8%	51 12.0%	21 4.9%	33 7.7%	43 10.1%	49 11.5%	23 5.4%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	31 7.3%
70歳代	724 100.0%	169 23.3%	73 10.1%	36 5.0%	55 7.6%	72 9.9%	92 12.7%	137 18.9%	48 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	42 5.8%
80歳代	779 100.0%	68 8.7%	53 6.8%	38 4.9%	45 5.8%	55 7.1%	88 11.3%	137 17.6%	194 24.9%	46 5.9%	0 0.0%	55 7.1%
90歳以上	282 100.0%	10 3.5%	9 3.2%	8 2.8%	8 2.8%	18 6.4%	17 6.0%	34 12.1%	60 21.3%	69 24.5%	14 5.0%	35 12.4%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-21b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と聴覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	聴覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744	774	250	138	171	208	255	332	303	116	14	183
	100.0%	28.2%	9.1%	5.0%	6.2%	7.6%	9.3%	12.1%	11.0%	4.2%	0.5%	6.7%
視覚1・2級	860	373	90	58	48	61	52	57	57	20	3	41
聴覚1・2級	100.0%	43.4%	10.5%	6.7%	5.6%	7.1%	6.0%	6.6%	6.6%	2.3%	0.3%	4.8%
視覚1・2級	762	144	66	32	57	66	80	120	108	46	3	40
聴覚3-6級	100.0%	18.9%	8.7%	4.2%	7.5%	8.7%	10.5%	15.7%	14.2%	6.0%	0.4%	5.2%
視覚3-6級	141	73	13	8	4	14	13	4	3	2	0	7
聴覚1・2級	100.0%	51.8%	9.2%	5.7%	2.8%	9.9%	9.2%	2.8%	2.1%	1.4%	0.0%	5.0%
視覚3-6級	602	101	50	34	35	49	69	104	94	31	5	30
聴覚3-6級	100.0%	16.8%	8.3%	5.6%	5.8%	8.1%	11.5%	17.3%	15.6%	5.1%	0.8%	5.0%
無回答	379	83	31	6	27	18	41	47	41	17	3	65
	100.0%	21.9%	8.2%	1.6%	7.1%	4.7%	10.8%	12.4%	10.8%	4.5%	0.8%	17.2%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と聴覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-21c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と聴覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	聴覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744	774	250	138	171	208	255	332	303	116	14	183
	100.0%	28.2%	9.1%	5.0%	6.2%	7.6%	9.3%	12.1%	11.0%	4.2%	0.5%	6.7%
全盲ろう	437	250	35	18	25	20	27	20	18	5	0	19
	100.0%	57.2%	8.0%	4.1%	5.7%	4.6%	6.2%	4.6%	4.1%	1.1%	0.0%	4.3%
全盲難聴	1130	193	90	54	77	102	119	161	174	69	12	79
	100.0%	17.1%	8.0%	4.8%	6.8%	9.0%	10.5%	14.2%	15.4%	6.1%	1.1%	7.0%
弱視ろう	211	110	23	12	15	11	10	15	3	4	1	7
	100.0%	52.1%	10.9%	5.7%	7.1%	5.2%	4.7%	7.1%	1.4%	1.9%	0.5%	3.3%
弱視難聴	722	155	76	40	39	62	75	116	87	30	0	42
	100.0%	21.5%	10.5%	5.5%	5.4%	8.6%	10.4%	16.1%	12.0%	4.2%	0.0%	5.8%
無回答	244	66	26	14	15	13	24	20	21	8	1	36
	100.0%	27.0%	10.7%	5.7%	6.1%	5.3%	9.8%	8.2%	8.6%	3.3%	0.4%	14.8%

■ 視聴覚障害経緯（5分類）と聴覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-21d 視聴覚障害経緯（5分類）と聴覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	聴覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744 100.0%	774 28.2%	250 9.1%	138 5.0%	171 6.2%	208 7.6%	255 9.3%	332 12.1%	303 11.0%	116 4.2%	14 0.5%	183 6.7%
先天性	219 100.0%	219 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
盲ベース	143 100.0%	20 14.0%	39 27.3%	11 7.7%	11 7.7%	14 9.8%	19 13.3%	12 8.4%	12 8.4%	5 3.5%	0 0.0%	0 0.0%
ろうベース	335 100.0%	335 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
後天性（成人期）	1503 100.0%	175 11.6%	205 13.6%	123 8.2%	155 10.3%	190 12.6%	224 14.9%	265 17.6%	124 8.3%	40 2.7%	2 0.1%	0 0.0%
後天性（高齢期）	276 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	46 16.7%	154 55.8%	64 23.2%	12 4.3%	0 0.0%
無回答	268 100.0%	25 9.3%	6 2.2%	4 1.5%	5 1.9%	4 1.5%	12 4.5%	9 3.4%	13 4.9%	7 2.6%	0 0.0%	183 68.3%

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法と聴覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-21e 最も円滑な発信コミュニケーション方法と聴覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	聴覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744 100.0%	774 28.2%	250 9.1%	138 5.0%	171 6.2%	208 7.6%	255 9.3%	332 12.1%	303 11.0%	116 4.2%	14 0.5%	183 6.7%
音声（発話）	1795 100.0%	291 16.2%	168 9.4%	98 5.5%	128 7.1%	165 9.2%	191 10.6%	263 14.7%	252 14.0%	94 5.2%	13 0.7%	132 7.4%
手話	198 100.0%	187 94.4%	5 2.5%	1 0.5%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.5%
指文字	25 100.0%	14 56.0%	1 4.0%	1 4.0%	3 12.0%	1 4.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
文字（筆談・空書き・てのひら書き）	248 100.0%	100 40.3%	32 12.9%	8 3.2%	18 7.3%	13 5.2%	27 10.9%	19 7.7%	10 4.0%	8 3.2%	1 0.4%	12 4.8%
その他	95 100.0%	55 57.9%	9 9.5%	4 4.2%	4 4.2%	2 2.1%	4 4.2%	5 5.3%	5 5.3%	2 2.1%	0 0.0%	5 5.3%
特にない	258 100.0%	79 30.6%	20 7.8%	19 7.4%	10 3.9%	18 7.0%	22 8.5%	27 10.5%	30 11.6%	10 3.9%	0 0.0%	23 8.9%
無回答	125 100.0%	48 38.4%	15 12.0%	7 5.6%	7 5.6%	9 7.2%	7 5.6%	16 12.8%	6 4.8%	2 1.6%	0 0.0%	8 6.4%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と聴覚障害受障年齢階級のクロス

表 2-2-21f 最も円滑な受信コミュニケーション方法と聴覚障害受障年齢階級のクロス

	総計	聴覚障害受障年齢階級										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
総計	2744	774	250	138	171	208	255	332	303	116	14	183
	100.0%	28.2%	9.1%	5.0%	6.2%	7.6%	9.3%	12.1%	11.0%	4.2%	0.5%	6.7%
音声（聴覚）	1634	256	136	82	110	145	182	252	241	93	11	126
	100.0%	15.7%	8.3%	5.0%	6.7%	8.9%	11.1%	15.4%	14.7%	5.7%	0.7%	7.7%
手話を見る	106	93	8	0	2	1	1	0	0	1	0	0
	100.0%	87.7%	7.5%	0.0%	1.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
手話を触る（触手話）	95	83	2	2	0	0	1	0	2	0	1	4
	100.0%	87.4%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	2.1%	0.0%	1.1%	4.2%
指文字を見る	11	4	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0
	100.0%	36.4%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
指文字を触る	11	7	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0
	100.0%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
手書き文字	132	80	13	4	9	8	7	4	3	0	0	4
	100.0%	60.6%	9.8%	3.0%	6.8%	6.1%	5.3%	3.0%	2.3%	0.0%	0.0%	3.0%
筆記（筆談）	258	64	45	18	18	17	32	27	14	9	1	13
	100.0%	24.8%	17.4%	7.0%	7.0%	6.6%	12.4%	10.5%	5.4%	3.5%	0.4%	5.0%
点字・指点字	25	6	5	2	3	2	1	0	1	2	0	3
	100.0%	24.0%	20.0%	8.0%	12.0%	8.0%	4.0%	0.0%	4.0%	8.0%	0.0%	12.0%
その他	89	55	4	5	2	3	2	9	3	2	0	4
	100.0%	61.8%	4.5%	5.6%	2.2%	3.4%	2.2%	10.1%	3.4%	2.2%	0.0%	4.5%
特にない	209	62	16	17	12	16	13	19	26	8	1	19
	100.0%	29.7%	7.7%	8.1%	5.7%	7.7%	6.2%	9.1%	12.4%	3.8%	0.5%	9.1%
無回答	174	64	17	6	15	14	15	20	12	1	0	10
	100.0%	36.8%	9.8%	3.4%	8.6%	8.0%	8.6%	11.5%	6.9%	0.6%	0.0%	5.7%